

平成 29 年度老人保健事業推進費等補助金(老人保健健康増進等事業)

介護老人保健施設における在宅復帰・
在宅療養支援機能の強化へ向けて
～在宅復帰阻害要因の検討と在宅復帰機能の強化策～

平成 30 年 3 月

公益社団法人 全国老人保健施設協会

はじめに

平成 29 年 5 月の介護保険法改正により、介護老人保健施設(以下、老健施設)の在宅復帰・在宅療養支援機能が明示されました。これを受けての平成 30 年度介護報酬改定では、老健施設が、「包括的ケアサービス施設」、「リハビリテーション施設」、「在宅復帰施設」、「在宅生活支援施設」、「地域に根ざした施設」という本来の役割をバランスよく発揮することにより、新たな一歩が踏み出せるような改定が示されたところです。

老健施設は当初から、医療と介護の機能を併せ持つ、多職種協働による多機能施設として誕生しました。住み慣れた地域で暮らし続けることが出来る社会を目指す「地域包括ケアシステム」で、老健施設が在宅生活支援拠点として本来の機能を発揮し、それぞれの地域でその社会的責任を果たしていくことが、一層求められています。

当協会では、平成 29 年度老人保健事業推進費等補助金(老人保健健康増進等事業)として、「介護老人保健施設における IoT 等の活用の可能性に関する研究事業」、「介護老人保健施設における在宅復帰・在宅療養支援機能の強化へ向けて～在宅復帰阻害要因の検討と在宅復帰機能の強化策～」の 2 事業を実施しました。

当協会が取り組むこれらの調査研究事業の目的の根底にあるのは、地域包括ケアシステムに貢献し得る老健施設についての検証と提言です。これらの調査研究事業の成果が広く活用され、わが国の介護サービスの発展に寄与することを祈念いたします。

平成 30 年 3 月
公益社団法人全国老人保健施設協会
会長 東 憲太郎

<目 次>

I	事業の概要	1
1.	背景	1
2.	目的	1
3.	調査の実施要領	2
4.	調査の回収数	3
5.	事業班員一覧	4
II	調査結果（施設票）	5
1.	調査回答施設の基本情報	5
(1)	施設の基本情報	5
①	施設類型	5
②	開設年	5
③	開設主体	6
④	入所定員	7
⑤	施設で実施しているサービス（複数回答）	7
⑥	通所リハビリテーションにおける「リハビリテーションマネジメント加算（Ⅱ）」の算定人数	10
⑦	病院または診療所の併設状況	11
⑧	併設の医療機関で実施しているサービス	12
(2)	管理医師について	13
①	管理医師の専門科（複数回答）	13
②	管理医師の研修会等の受講実績（複数回答）	14
(3)	届出上の職員数について	15
(4)	新規入所者・退所者・入所延べ日数等の過去1年間の実績	17
①	入退所者等の過去1年間の実績	17
②	新規入所者に占める病院等からの再入所者の割合	20
③	新規入所者に占める自宅等からの再入所者の割合	21
④	退所者に占める死亡退所者の割合	22
⑤	在宅復帰率	23
⑥	重症者割合	24
⑦	喀痰吸引実施者の割合	25
⑧	経管栄養実施者の割合	26
⑨	ベッド稼働率	27
⑩	ベッド回転率	28
2.	過去1年間の新規入所者	29
(1)	入所前の居所別入所者数	29
3.	過去1年間の退所者	32
(1)	退所者	32
①	退所後の居所別退所者数	32
②	入所期間別退所者数	34
③	入所期間1月以内の退所者の入所当初の主たる利用目的	35
(2)	医療機関への退所者	36

①	医療機関への退所者のうち主たる傷病名が肺炎であった者	36
②	医療機関への退所者のうち主たる傷病名が骨折であった者	37
③	医療機関への退所者のうち1週間以内の短期入院ののちに再入所した者	38
(3)	自宅等への退所者の入所前の居所別人数	39
4.	現在の入所者	40
(1)	平成29年6月30日24時時点の利用者数とその内訳	40
①	利用者数(実人数)	40
②	入所者の要介護度別人数	41
③	入所者の認知症高齢者の日常生活自立度別人数	42
④	入所時の主病名別割合	43
⑤	医療処置を実施している者の割合	45
(2)	1年以上の長期入所者	47
①	1年以上の長期入所者数と在宅介護力	47
②	1年以上の長期入所者における退所の困難理由	48
③	1年以上の長期入所者の割合の分布	49
④	在宅復帰の見込みが立たない事例や阻害する要因の具体例	50
⑤	在宅強化型の届出や在宅復帰・療養支援機能加算の算定が困難となる具体的理由	51
5.	施設における取り組み	52
(1)	利用者の入所前後の関係者との連携状況	52
①	利用者の入所前後の入所前居所との連携状況	52
②	入所前後訪問指導加算の算定状況	53
(2)	利用者の退所前後の関係者との連携状況	54
①	退所時指導等加算の算定状況(平成29年6月の実績)	54
②	退所時指導等加算の算定要件に該当しない訪問・指導状況	56
(3)	認知症のある利用者の受け入れ状況	57
①	認知症専門棟の有無	57
②	認知症専門ケア加算、認知症行動・心理症状緊急対応加算の算定状況	58
③	認知症のある利用者の周辺症状の状況	59
(4)	人生の最終段階における医療・介護への取り組み	60
①	施設での看取り対応	60
②	看取りの取組実績	61
(5)	地域への貢献活動実施状況	62
(6)	平成28年度の経営状況	64
Ⅲ	調査結果(退所者票)	65
1.	平成29年6月の退所者(全員)の基本情報	65
(1)	入所期間	66
(2)	入所前の居所	67
(3)	前回退所してから今回入所するまでの期間	68
(4)	医療機関からの入所回数	69
(5)	主たる入所理由	70
(6)	要介護度	71
(7)	認知症高齢者の日常生活自立度	72
(8)	入所時の傷病名	73

(9) 退所時に実施していた医療的ケア	75
(10) 退所先	76
2. 退所先が施設・自宅等の入所者について	78
(1) 退所時の在宅介護力の状況	78
(2) 退所に向けた加算算定の有無	79
(3) 退所後に利用を予定したリハビリ	80
(4) かかりつけ医との連携状況	81
3. 退所先が医療機関の入所者について	82
(1) 入院退所の理由となった主たる傷病名	82
(2) 施設内で対応出来なかった理由	85
IV 考察（老健施設の将来像 —在宅復帰機能と在宅療養支援機能の強化—）	86
1. 本事業の結果の概要	86
2. 老健施設の将来像	88
V 資料編	93

報告書内での用語について、本報告書においては、以下の通り略記を用いる場合がある。

- ・ 公益社団法人全国老人保健施設協会：全老健
- ・ 介護老人保健施設：老健施設ないし老健
- ・ 基本サービス費の在宅強化型を算定する介護老人保健施設：在宅強化型老健ないし在宅強化型
- ・ 在宅復帰・在宅療養 支援機能加算を算定する介護老人保健施設：加算型
- ・ 介護療養型老人保健施設：療養型
- ・ 基本サービス費の療養強化型を算定する介護療養型老人保健施設：療養強化型
- ・ 上記以外の介護老人保健施設：従来型老健ないし従来型
- ・ 特別養護老人ホーム：特養
- ・ リハビリテーション：リハビリないしリハ
- ・ 訪問看護ステーション：訪看
- ・ 通所リハビリテーション：通所リハビリ、通所リハないしデイケア
- ・ 通所介護：デイサービス

I 事業の概要

1. 背景

介護老人保健施設（以下、老健施設）は、わが国独自のモデルとして創設された介護保険施設であり、発足から30年が経過した。

平成29年6月2日介護保険法が改正され、老健施設は、従前の「在宅復帰」に加えて、「在宅療養支援」を担う施設である定義が明確化された。従来から介護老人保健施設の人員、施設及び設備並びに運営に関する基準省令（厚生省令第40号：平成11年3月31日）の基本方針の第一条には、「その者の居宅における生活への復帰を目指すものでなければならない」と記されていたが、この度の介護保険法改正により、第8条における老健施設の定義において、従前の「要介護者に対し」から「要介護者であって、主としてその心身の機能の維持回復を図り、居宅における生活を営むための支援を必要とする者に対し」と省令より上位に定義が示されたのである。

平成29年3月13日に開催された第13回介護給付費分科会介護報酬改定検証・研究委員会の老健施設に対する調査結果において、回答した1874施設における強化型（介護報酬上の届出が在宅強化型）、加算型（介護報酬上の届出が従来型かつ在宅復帰・在宅療養支援機能加算届出有り）、従来型（介護報酬上の届出が従来型かつ在宅復帰・在宅療養支援機能加算届出無し）、介護療養型（介護報酬上の届出が療養型または療養強化型）の施設類型の割合は、13.1%、28.3%、51.4%、3.7%であった。

当協会における既存の調査では、強化型、加算型、従来型の3類型において、入所者の要介護度分布、日常生活自立度等による利用者の生活機能に大きな差は認められなかった。同時に従来型老健施設であっても、在宅復帰（自宅復帰）を希望した個々の利用者の目的が実現していることも確認された。

2. 目的

上記の背景を踏まえて、本年度の調査研究では、次の3点を目的として事業を実施した。

- 1) 在宅強化型・加算型の老健施設が有する機能（特徴的な取組）を明らかにする。
- 2) 老健施設における在宅復帰の阻害要因を確認する。
- 3) 上記で把握した実態・課題を踏まえ、老健施設の在宅復帰・在宅療養支援機能を強化する方策を検討する。

3. 調査の実施要領

平成 29 年 7 月現在の全老健の正会員施設 3,613 施設を対象として以下の調査を実施した（悉皆調査）。調査票は会員施設あてに郵送により配布、回収した。

本調査では老健施設の在宅強化型・加算型の老健施設が有する機能（特徴的な取組）を明らかにし、老健施設における在宅復帰の阻害要因を確認するために、①施設票、②退所者票の 2 種類の調査票を用いて調査を実施した。以下に主な調査項目を示す。

なお、調査票については、V. 資料編を参照されたい。

主な調査項目

施設票	
問 1	施設の基本情報 (開設主体、入所定員、実施している居宅サービス、併設の医療機関等)
問 2	施設の管理医師について (専門科、研修等の受講実績)
問 3	届出上の職種別職員数 (常勤換算数)
問 4	過去 1 年間の入退所者数の実績 (新規入所者数、退所者数、入所延べ日数等)
問 5	過去 1 年間の新規入所者について
問 6	過去 1 年間の退所者について
問 7	過去 1 年間の医療機関への退所者について
問 8	過去 1 年間の自宅等への退所者について
問 9	現在の入所者について
問 10	1 年以上の長期入所者について
問 11	利用者の入所前後の関係者との連携について
問 12	利用者の退所前後の関係者との連携について
問 13	認知症のある方の受け入れについて
問 14	人生の最終段階における医療・介護への取り組みについて
問 15	平成 28 年度の地域への貢献活動の取り組み
問 16	平成 28 年度の経営状況

退所者票	
問 1	入所期間
問 2	入所前の居所
問 3	前回退所してから今回入所するまでの期間
問 4	医療機関からの入所回数
問 5	主たる入所理由
問 6	要介護度（退所時）
問 7	認知症高齢者の日常生活自立度（退所時）
問 8	入所時の傷病名
問 9	退所時の医療的ケアの実施状況
問 10	退所先
問 11	【退所先が施設・自宅等の場合】退所時の在宅介護力
問 12	【退所先が施設・自宅等の場合】退所に向けた加算算定の有無
問 13	【退所先が施設・自宅等の場合】退所後に利用を予定したりハビリ
問 14	【退所先が施設・自宅等の場合】かかりつけ医との連携
問 15-1	【退所先が医療機関の場合】入院退所の理由となった主たる傷病名
問 15-2	【退所先が医療機関の場合】感染症が原因の場合、具体的な疾患名
問 16	【退所先が医療機関の場合】施設内で対応できなかった理由

4. 調査の回収数

回収数は以下のとおり。

調査票の種類	調査対象母数	回収数	回収率
施設票	3,613	1,529	42.3%
退所者票（レコード数）	—	11,280	—

※退所者票は施設票に綴じ込んで配布し、平成 29 年 6 月中に施設を退所した入所利用者全員についての記入を依頼した。

テンプレートでは最大 20 名分の記載ができる用紙を配布したが、不足する場合には調査票をコピーして回答するよう依頼しており、対象となる人数の母数がわからないことから、回収率は算出していない。

※設間によって有効回答数が異なる場合があるため、各集計表の集計対象数を確認願いたい。

5. 事業班員一覧

本事業の実施にあたり、調査の基本設計、データ集計・分析、報告の取りまとめ等に関して検討を行うことを目的として、全国老人保健施設協会の理事、医療・介護分野の研究者及び有識者からなる検討班を設置した。

[班員名簿]

研究班長

江澤 和彦 介護老人保健施設和光園 理事長
介護老人保健施設ぺあれんと 理事長
介護老人保健施設寿光園 理事長

担当副会長

折茂 賢一郎 中之条町介護老人保健施設「六合つつじ荘」常務理事

班員

漆間 伸之 医療法人財団青山会本部 事務局次長
大河内 二郎 介護老人保健施設竜間之郷 施設長
酒井 麻由美 株式会社 M&C パートナーコンサルティング 取締役
土井 勝幸 介護老人保健施設せんだんの丘 施設長
松田 晋哉 産業医科大学 公衆衛生学教室 教授

(班員は五十音順)

[オブザーバー]

厚生労働省

西嶋 康浩 老健局老人保健課 介護保険データ分析室長
佐藤 理 老健局老人保健課 老人保健施設係長

[調査支援]

みずほ情報総研株式会社

小松 紗代子 社会政策コンサルティング部 コンサルタント
村井 昂志 社会政策コンサルティング部 コンサルタント
山崎 学 社会政策コンサルティング部 シニアコンサルタント

Ⅱ 調査結果（施設票）

※以下では、施設票の集計結果を示す。なお、入所定員 100 人あたりとして集計している項目、構成割合、平均値等は小数第 2 位を四捨五入しているため表内の計算と合わない場合（合計が 100%にならない等）がある。

1. 調査回答施設の基本情報

（1）施設の基本情報

① 施設類型

本調査での回収数 1,529 件のうち、施設類型別の回収数は以下のようにになっていた。

図表 1 施設類型別の回収数・割合

	回収数	割合	3 類型の比率
全体	1,529	-	-
在宅強化型	239	15.6%	16.7%
従来型（加算有り）	450	29.4%	31.4%
従来型（加算無し）	745	48.7%	52.0%
療養型・療養強化型	62	4.1%	-
無回答	33	2.2%	-

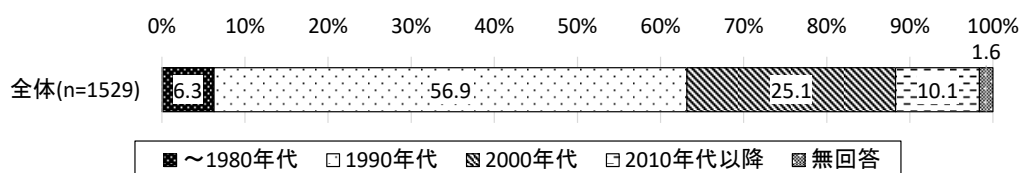
※無回答には、従来型と回答があったものの、在宅復帰・在宅療養支援機能加算の届出の有無が無回答であった施設を含む

※従来型の分類は問 1 の 3) で「在宅強化型、療養型・療養強化型」以外を選択した施設について、問 1 の 4) で在宅復帰・在宅療養支援機能加算の届出「有」と回答した施設を「従来型（加算有り）」、届出「無」と回答した施設を「従来型（加算無し）」としている。

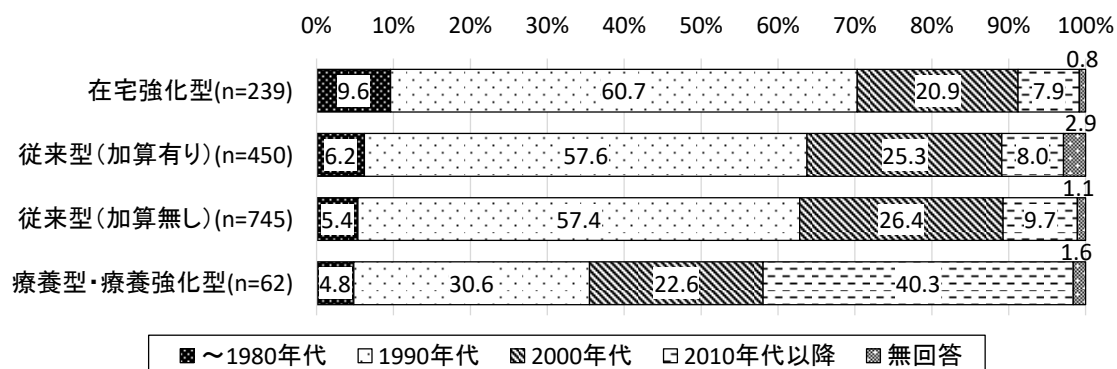
② 開設年

開設年は「1990 年代」56.9%が最も多く、次いで「2000 年代」25.1%となっていた。施設類型別には、在宅強化型で 1980 年代以前の開設がやや多くなっていた。

図表 2 開設年【施設票 問 1】



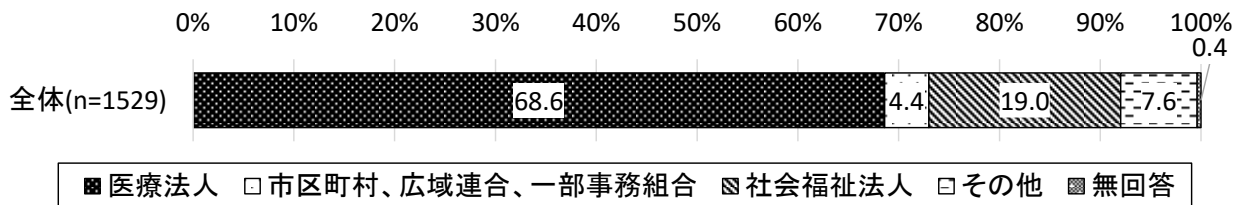
図表 3 施設類型別 開設年【施設票 問 1】



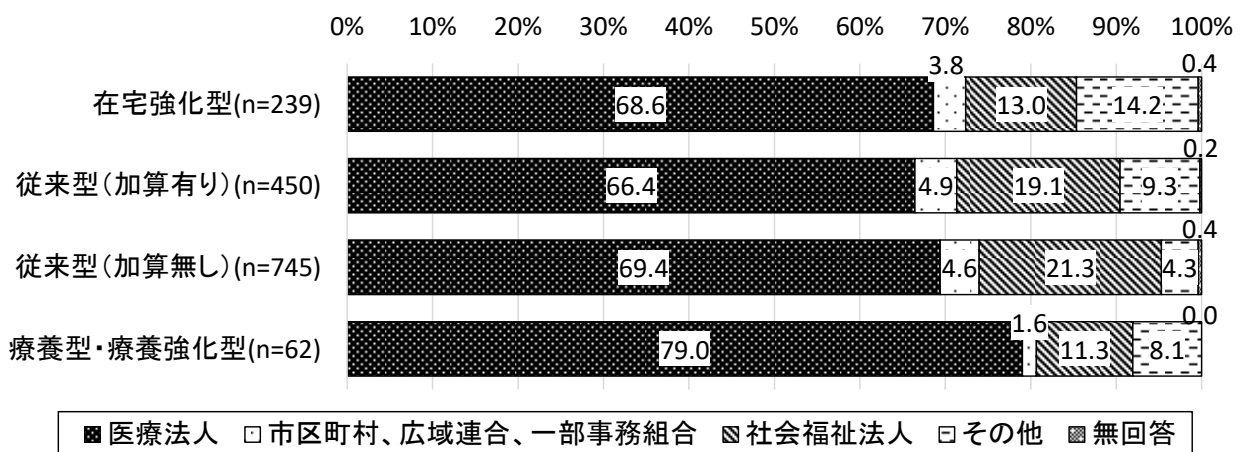
③ 開設主体

開設主体は「医療法人」68.6%が最も多く、次いで「社会福祉法人」19.0%となっていた。施設類型別には、在宅強化型でその他（一般財団法人、社会医療法人、等）が多く、従来型（加算なし）で社会福祉法人がやや多い結果であった。

図表 4 開設主体【施設票 問1】



図表 5 施設類型別 開設主体【施設票 問1】



④ 入所定員

入所定員は平均値が 91.3 人、中央値が 100 人となっていた。

図表 6 入所定員【施設票 問 1】

	施設数	(入所定員平均値)	(入所定員中央値)	(入所定員最大値)	(入所定員最小値)
全体	1,529	91.3	100	300	15
在宅強化型	239	88.5	98	198	18
従来型(加算有り)	450	91.2	100	200	20
従来型(加算無し)	745	93.3	100	300	15
療養型・療養強化型	62	80.3	85	183	15

⑤ 施設で実施しているサービス（複数回答）

施設で実施しているサービスは「通所リハビリテーション」が最も高く 93.2%、次いで「短期入所療養介護」が 88.4%であった。

「訪問リハビリテーション」は在宅強化型、従来型（加算有り）の施設で実施割合が高く、それぞれ 39.3%、32.9%となっていた。

図表 7 施設で実施しているサービス（複数回答）【施設票 問 1】

	施設数	短期入所療養介護	通所リハビリテーション	訪問リハビリテーション	153はいずれもなし	無回答
全体	1529	1351 88.4%	1425 93.2%	434 28.4%	24 1.6%	4 0.3%
在宅強化型	239	220 92.1%	233 97.5%	94 39.3%	0 0.0%	0 0.0%
従来型(加算有り)	450	407 90.4%	435 96.7%	148 32.9%	1 0.2%	1 0.2%
従来型(加算無し)	745	651 87.4%	684 91.8%	164 22.0%	13 1.7%	2 0.3%
療養型・療養強化型	62	47 75.8%	43 69.4%	14 22.6%	9 14.5%	0 0.0%

通所リハビリテーションを実施している施設における、平成 29 年 6 月の通所リハビリテーションの平均定員数は 41.6 人、平均利用者実人数は 93.2 人、平均延べ利用者数利用者は 729.1 人であった。

在宅強化型、従来型（加算あり）、従来型（加算なし）の 3 施設類型別に平均定員数、平均利用者実人数、平均延べ利用者数を比較してみると、いずれの項目においても在宅強化型が多く、次いで従来型（加算あり）となっていた。

図表 8 通所リハビリテーションの定員・利用者数（平成 29 年 6 月）【施設票 問 1】

	施設数	定員 (平均値)	利用者実人数 (平均値)	延べ利用者数 (平均値)
全体	1299	41.6	93.2	729.1
在宅強化型	219	53.5	130.3	1013.7
従来型(加算有り)	398	43.8	100.8	784.9
従来型(加算無し)	614	35.8	73.5	590.5
療養型・療養強化型	40	40.5	117.9	715.2

※通所リハビリテーションを実施していると回答し、定員・利用者実人数・延べ利用者数に漏れなく回答できているものを集計対象とした。

訪問リハビリテーションを実施している施設における、平成 29 年 6 月の訪問リハビリテーション平均利用者実人数は 15.3 人、平均延べ利用者数は 109.9 人であった。

在宅強化型、従来型（加算あり）、従来型（加算なし）の 3 施設類型別に平均利用者実人数、平均延べ利用者数を比較してみると、いずれの項目においても在宅強化型が多く、次いで従来型（加算あり）となっていた。

図表 9 訪問リハビリテーションの利用者数（平成 29 年 6 月）【施設票 問 1】

	施設数	利用者実人数 (平均値)	延べ利用者数 (平均値)
全体	406	15.3	109.9
在宅強化型	84	18.9	132.2
従来型(加算有り)	137	17.3	119.2
従来型(加算無し)	157	12.4	93.3
療養型・療養強化型	14	11.0	78.4

※訪問リハビリテーションを実施していると回答し、利用者実人数・延べ利用者数に漏れなく回答できているものを集計対象とした。

⑥ 通所リハビリテーションにおける「リハビリテーションマネジメント加算（Ⅱ）」の算定人数

通所リハビリテーションを実施している施設における、平成 29 年 6 月の「リハビリテーションマネジメント加算（Ⅱ）（以下、リハマネⅡ）」の算定人数の平均値は 12.3 人で、算定割合は 13%であった。

リハマネⅡの算定割合は、在宅強化型では 19.1%、従来型（加算あり）では 12.9%、従来型（加算なし）では 9.7%であった。

図表 10 通所リハビリテーションにおける「リハビリテーションマネジメント加算（Ⅱ）」の算定人数・割合（平成 29 年 6 月）【施設票 問 1】

	施設数	通所リハビリテーションの実人数（平均値）	リハマネⅡの算定人数（平均値）	リハマネⅡの算定割合
全体	1,232	94.5	12.3	13.0%
在宅強化型	209	131.3	25.1	19.1%
従来型（加算有り）	375	102.6	13.2	12.9%
従来型（加算無し）	582	74.3	7.2	9.7%
療養型・療養強化型	38	122.0	12.3	10.1%

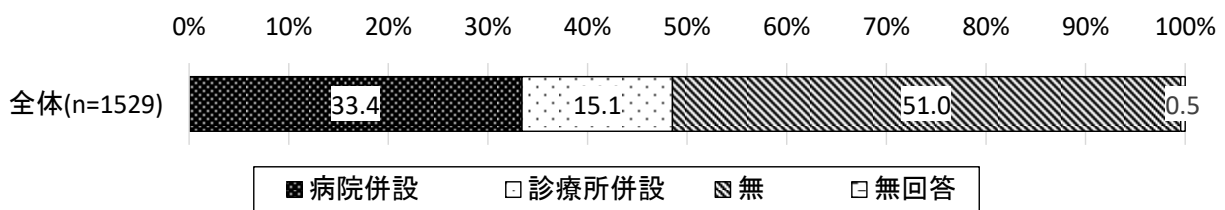
※通所リハビリテーションを実施していると回答し、利用者実人数・リハマネⅡの算定人数に漏れなく回答できているものを集計対象とした。

⑦ 病院または診療所の併設状況

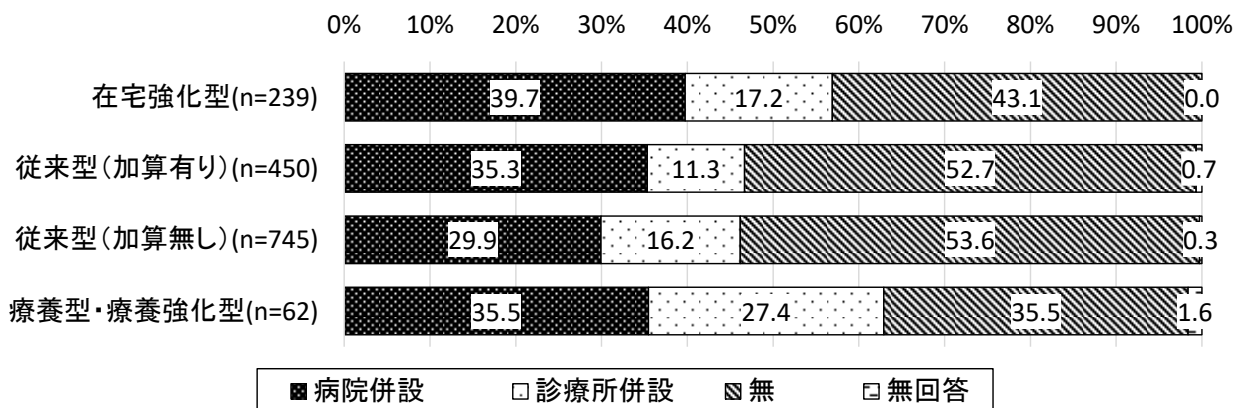
病院または診療所の併設が「ない」施設が51.0%と最も高く、次いで「病院併設」が33.4%であった。

病院と診療所のいずれかを併設している「医療機関併設」施設の割合は、在宅強化型では56.9%、従来型（加算あり）は46.6%、従来型（加算なし）は46.1%であり、在宅強化型に医療機関併設が多い結果であった。

図表 11 病院または診療所の併設状況【施設票 問1】



図表 12 施設類型別 病院または診療所の併設状況【施設票 問1】



⑧ 併設の医療機関で実施しているサービス

併設の医療機関で実施しているサービスをみると、「医療機関でのリハビリテーション」66.0%、「訪問リハビリテーション」32.6%、「訪問看護」42.7%であった。

在宅強化型、従来型（加算あり）、従来型（加算なし）の3施設類型別に実施状況を比較してみると、従来型（加算なし）の場合に「いずれもなし」の回答が29.9%と高くなっていた。

図表 13 【医療機関併設の場合】併設の医療機関で実施しているサービス【施設票 問1】

	施設数	医療機関でのリハビリテーション			訪問リハビリテーション		
		介護保険	医療保険		介護保険	医療保険	
全体	742	490 66.0%	106 14.3%	429 57.8%	242 32.6%	188 25.3%	111 15.0%
在宅強化型	136	108 79.4%	23 16.9%	98 72.1%	68 50.0%	54 39.7%	38 27.9%
従来型(加算有り)	210	153 72.9%	31 14.8%	130 61.9%	74 35.2%	60 28.6%	27 12.9%
従来型(加算無し)	344	195 56.7%	39 11.3%	172 50.0%	80 23.3%	58 16.9%	33 9.6%
療養型・療養強化型	39	25 64.1%	11 28.2%	21 53.8%	18 46.2%	15 38.5%	11 28.2%

	施設数	訪問看護			いずれもなし	無回答
		介護保険	医療保険			
全体	742	317 42.7%	216 29.1%	261 35.2%	148 19.9%	14 1.9%
在宅強化型	136	62 45.6%	51 37.5%	51 37.5%	12 8.8%	3 2.2%
従来型(加算有り)	210	104 49.5%	71 33.8%	88 41.9%	20 9.5%	2 1.0%
従来型(加算無し)	344	132 38.4%	78 22.7%	109 31.7%	103 29.9%	7 2.0%
療養型・療養強化型	39	17 43.6%	14 35.9%	11 28.2%	9 23.1%	2 5.1%

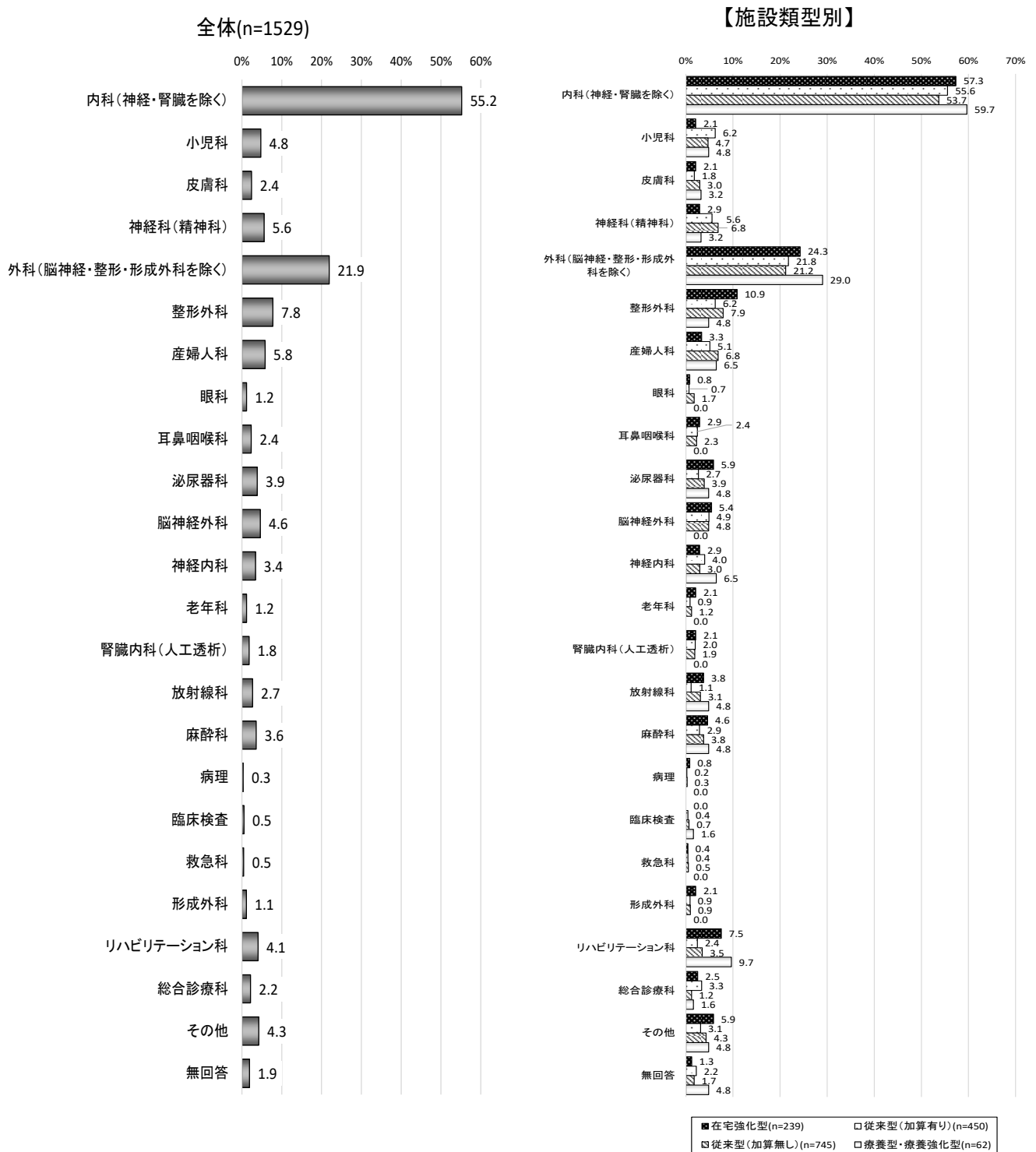
※図表 10・11 で「病院併設」もしくは「診療所併設」と回答した施設を集計対象としている

(2) 管理医師について

① 管理医師の専門科（複数回答）

管理医師の専門科は「内科」が55.2%と最も高く、次いで「外科」が21.9%であった。施設類型別の結果をみても、大きな違いはみられなかった。

図表 14 管理医師の専門科【施設票 問2】

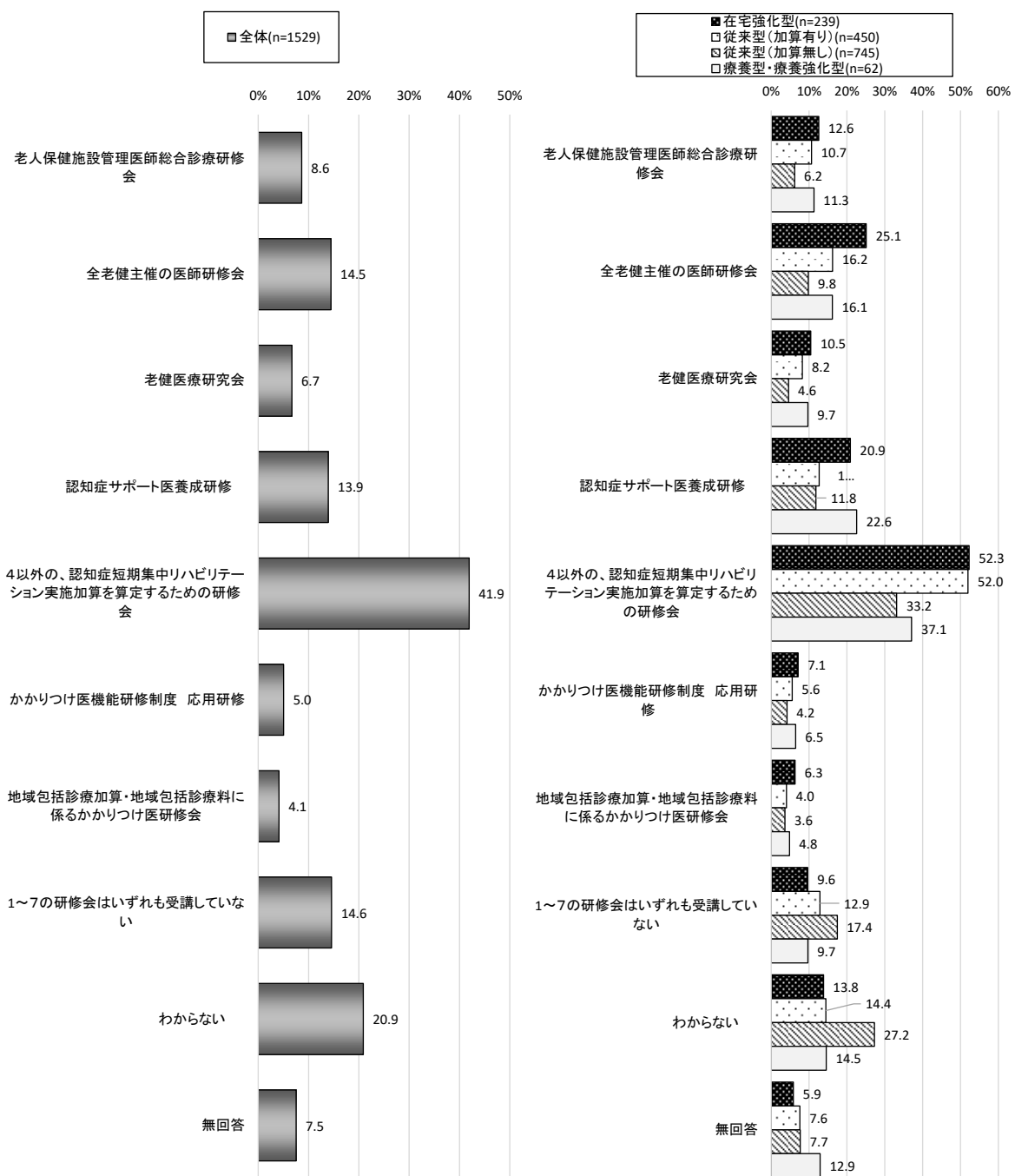


② 管理医師の研修会等の受講実績（複数回答）

管理医師の受講実績は「認知症サポート医養成研修以外の、認知症短期集中リハビリテーション実施加算を算定するための研究会」が41.9%と最も高く、選択肢として掲げた研修を「いずれも受講していない」管理医師が14.6%いた。

在宅強化型、従来型（加算あり）、従来型（加算なし）の3施設類型別に施設管理医師の受講実績の割合を比較すると、選択肢として掲げたいずれの研修についても、在宅強化型、従来型（加算あり）、従来型（加算なし）の順に高くなっていた。

図表 15 管理医師の研修会等の受講実績（複数回答）【施設票 問2】



(3) 届出上の職員数について

届出上の職員数を入所定員 100 人あたりの人数として換算した結果を以下に示す。

在宅強化型、従来型（加算あり）、従来型（加算なし）の3施設類型別に、リハビリ専門職（理学療法士（PT）、作業療法士（OT）、言語聴覚士（ST））の合計人数を比較してみると、「在宅強化型」4.9人、「従来型（加算有り）」4.6人、「従来型（加算無し）」3.8人となっていた。

看護職員・介護職員の合計人数は、「在宅強化型」45.7人、「従来型（加算有り）」44.2人、「従来型（加算無し）」42.7人となっていた。

支援相談員の人数は、「在宅強化型」2.3人、「従来型（加算有り）」2.0人、「従来型（加算無し）」1.7人となっていた。

図表 16 届出上の職員数（入所定員 100 人あたり）（平成 29 年 6 月 30 日現在）【施設票 問 3】

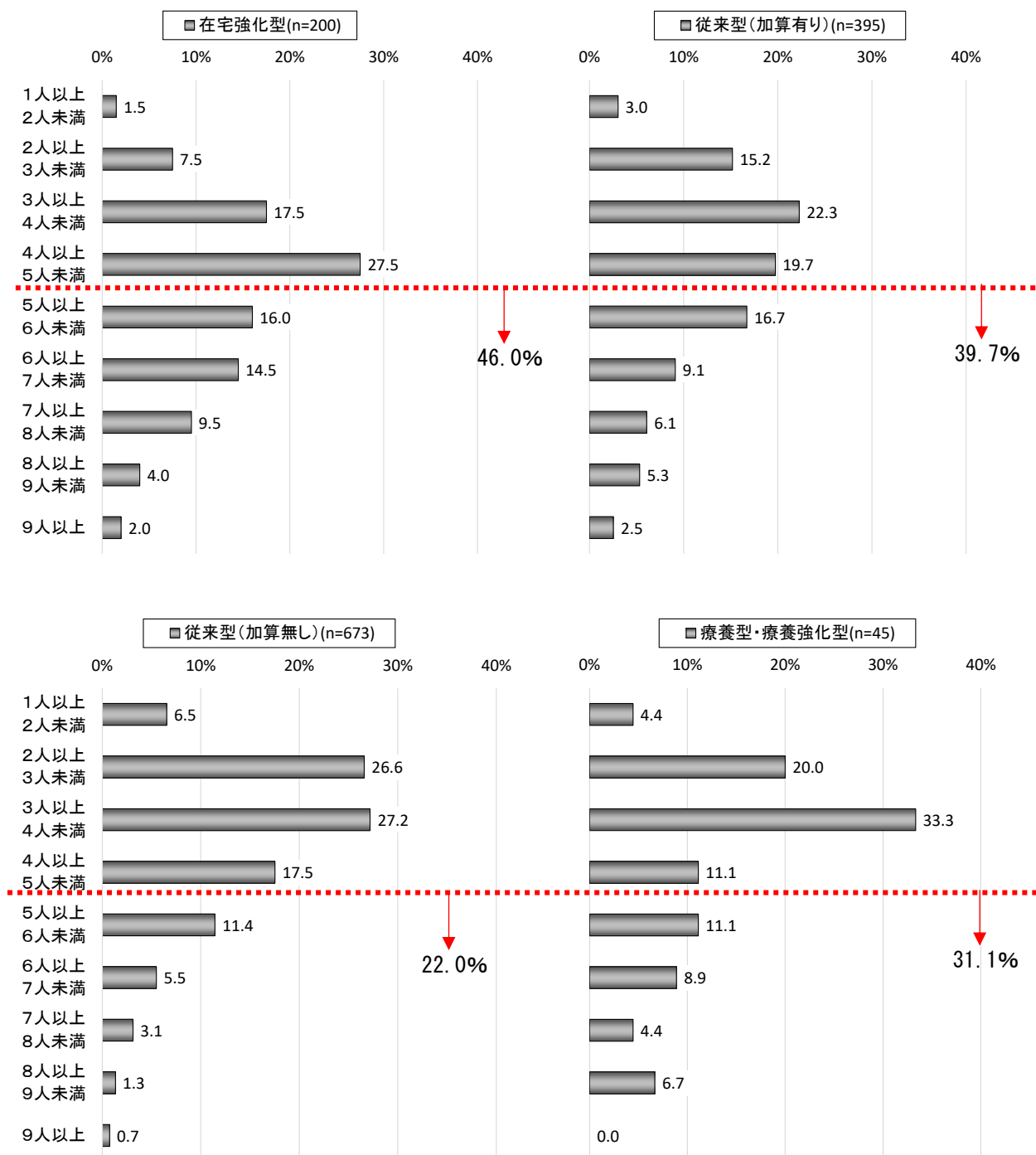
	定員100人あたり人数				
	全体	在宅強化型	（従来型 加算有り）	（従来型 加算無し）	療養強化型・ 療養型
施設数	1,341	200	395	673	45
理学療法士（人）	2.3	2.7	2.5	2.0	2.4
作業療法士（人）	1.6	1.8	1.8	1.5	1.5
言語聴覚士（人）	0.3	0.4	0.4	0.2	0.3
看護職員（人）	11.3	11.7	11.4	11.0	14.5
介護職員（人）	32.3	34.0	32.8	31.7	31.1
介護支援専門員（人）	1.9	2.0	2.0	1.8	1.7
支援相談員（人）	1.9	2.3	2.0	1.7	1.8
【再掲】PT・OT・ST（人）	4.2	4.9	4.6	3.8	4.2
【再掲】看護・介護（人）	43.7	45.7	44.2	42.7	45.6

※すべての職種欄に回答がある調査票を集計対象とした。なおリハビリ専門職については、PT・OT・STのいずれかの回答があれば、他の回答欄が空欄の場合であっても0人と補記して集計対象としている。

※【再掲】PT・OT・STや【再掲】看護・介護の人数は、再計算ののちに小数点第2位を四捨五入しているため、個別の職員数を合計しても一致しない箇所がある。

入所定員 100 人あたりのリハビリ専門職（PT、OT、ST）の人数を施設類型別の分布として集計した。リハビリ専門職を定員 100 人あたり 5 人以上配置している施設は、「在宅強化型」46.0%、「従来型（加算あり）」39.7%、「従来型（加算なし）」22.0%となっていた。

図表 17 入所定員 100 人あたりのリハビリ専門職（PT、OT、ST）人数【施設票 問 3】



(4) 新規入所者・退所者・入所延べ日数等の過去1年間の実績

① 入退所者等の過去1年間の実績

施設の新規入所者数、退所者数、入所延べ日数等の実績（平成28年7月～平成29年6月までの1年間分、ショートステイを除く）を入所定員100名あたりの各月ごとのデータとして収集した。

1か月あたりの平均の新規入所者数は8.7人で、そのうち病院等からの再入所は2.4人、自宅等からの再入所は1.7人であった。平均退所者数は8.7人で、そのうち、死亡退所は0.7人、自宅等へ退所は3.1人、自宅へ退所したのち、入所期間が1か月超で、在宅生活の継続見込みを確認できているものは2.7人であった。また、平均入所延べ日数は2,709.1日で、そのうち要介護4・5の入所者の入所延べ日数は1,212.2日、喀痰吸引実施者の延べ日数は123.1日、経管栄養実施者の入所延べ日数は171.0日だった。

続いて在宅強化型、従来型（加算あり）、従来型（加算なし）の3施設類型別に比較していく。

平均新規入所者数は、「在宅強化型」14.2人、従来型（加算有り）「9.7人」、「従来型（加算なし）」6.5人であった。新規入所者のうち病院等からの再入所者は、「在宅強化型」2.3人、「従来型（加算有り）」2.4人、「従来型（加算無し）」2.4人だった。新規入所者のうち自宅等からの再入所は、「在宅強化型」4.8人、「従来型（加算有り）」2.0人、「従来型（加算なし）」0.6人であった。

平均退所者数は、「在宅強化型」14.5人、「従来型（加算有り）」9.7人、「従来型（加算なし）」6.5人であった。退所者のうち死亡退所は、「在宅強化型」、1.0人、「従来型（加算有り）」0.7人、「従来型（加算無し）」0.7人であった。退所者のうち自宅等へ退所した人は、「在宅強化型」8.7人、「従来型（加算有り）」3.9人、「従来型（加算なし）」1.1人であった。自宅へ退所した人のうち、入所期間が1か月超で在宅生活の継続の見込みを確認できている者は、「在宅強化型」8.2人、「従来型（加算有り）」3.7人、「従来型（加算無し）」0.7人であった。

平均入所延べ日数は、「在宅強化型」2,604.3日、「従来型（加算有り）」2,682.1日、「従来型（加算無し）」2,750.3日であった。このうち、要介護4・5の入所者の入所延べ日数は、「在宅強化型」1,250.2日、「従来型（加算有り）」1,152.1日、「従来型（加算無し）」1,211.8日であった。喀痰吸引実施者の入所延べ日数は、「在宅強化型」124.6日、「従来型（加算有り）」108.1日、「従来型（加算無し）」119.9日であった。経管栄養実施者の入所延べ日数は、「在宅強化型」174.7日、「従来型（加算有り）」144.8日、「従来型（加算無し）」154.4日であった。

図表 18 新規入所者・退所者・入所延べ日数等の過去1年間の実績 平均人数及び平均日数
(入所定員 100 人あたり) (ショートステイを除く) (平成 28 年 7～12 月) 【施設票 問 4】

		単位	施設数	平成28年					
				7月	8月	9月	10月	11月	12月
全体	① 新規入所者数	(人)	918	8.9	8.6	8.2	8.7	8.7	9.4
	② ①のうち再入所者(病院等からの再入所)	(人)		2.4	2.5	2.5	2.5	2.4	2.5
	③ ①のうち再入所者(自宅等からの再入所)	(人)		2.2	1.6	1.3	1.6	1.8	2.2
	④ 退所者数(死亡退所者を含む)	(人)		8.4	8.4	8.9	9.1	8.3	8.6
	⑤ ④のうち死亡退所	(人)		0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.8
	⑥ ④のうち自宅等へ退所した人数	(人)		2.9	2.8	3.5	3.5	2.8	2.8
	⑦ ⑥のうち入所期間が1か月超で、在宅生活の継続見込を確認できている者	(人)		2.5	2.4	3.1	3.1	2.5	2.4
	⑧ 入所延べ日数	(日)		2,752.4	2,767.5	2,674.1	2,739.2	2,658.1	2,766.6
	⑨ ⑧のうち要介護4・5の入所者の入所延べ日数口	(日)		1,240.6	1,245.5	1,210.2	1,244.7	1,202.9	1,238.3
	⑩ ⑧のうち喀痰吸引実施者の入所延べ日数	(日)		128.7	130.1	124.3	128.0	124.2	129.5
	⑪ ⑧のうち経管栄養実施者の入所延べ日数	(日)		176.0	176.3	171.3	175.9	170.4	174.6
在宅強化型	① 新規入所者数	(人)	132	15.4	13.7	13.1	14.3	14.0	15.7
	② ①のうち再入所者(病院等からの再入所)	(人)		2.1	2.5	2.5	2.5	2.2	2.3
	③ ①のうち再入所者(自宅等からの再入所)	(人)		6.6	4.4	3.6	4.6	4.9	6.4
	④ 退所者数(死亡退所者を含む)	(人)		13.9	13.4	15.4	15.1	13.3	14.4
	⑤ ④のうち死亡退所	(人)		1.0	0.7	0.9	0.9	0.9	1.1
	⑥ ④のうち自宅等へ退所した人数	(人)		8.0	7.6	9.7	9.7	7.8	8.1
	⑦ ⑥のうち入所期間が1か月超で、在宅生活の継続見込を確認できている者	(人)		7.5	7.1	9.3	9.1	7.3	7.6
	⑧ 入所延べ日数	(日)		2,670.9	2,705.4	2,583.7	2,613.7	2,537.2	2,672.2
	⑨ ⑧のうち要介護4・5の入所者の入所延べ日数口	(日)		1,284.7	1,295.7	1,244.3	1,283.6	1,242.8	1,282.6
	⑩ ⑧のうち喀痰吸引実施者の入所延べ日数	(日)		132.4	129.4	124.8	132.1	126.0	130.9
	⑪ ⑧のうち経管栄養実施者の入所延べ日数	(日)		177.6	174.6	172.6	178.9	171.4	179.6
従来型 (加算有り)	① 新規入所者数	(人)	280	10.1	9.5	8.8	9.6	9.8	10.6
	② ①のうち再入所者(病院等からの再入所)	(人)		2.4	2.4	2.5	2.6	2.5	2.6
	③ ①のうち再入所者(自宅等からの再入所)	(人)		2.7	1.9	1.5	1.9	2.3	2.8
	④ 退所者数(死亡退所者を含む)	(人)		9.0	9.3	9.9	10.2	9.2	9.5
	⑤ ④のうち死亡退所	(人)		0.6	0.6	0.7	0.7	0.7	0.7
	⑥ ④のうち自宅等へ退所した人数	(人)		3.6	3.4	4.3	4.5	3.4	3.4
	⑦ ⑥のうち入所期間が1か月超で、在宅生活の継続見込を確認できている者	(人)		3.3	3.2	4.0	4.2	3.3	3.2
	⑧ 入所延べ日数	(日)		2,720.9	2,741.0	2,644.4	2,693.3	2,617.3	2,740.7
	⑨ ⑧のうち要介護4・5の入所者の入所延べ日数口	(日)		1,173.5	1,180.1	1,148.4	1,178.8	1,138.3	1,174.8
	⑩ ⑧のうち喀痰吸引実施者の入所延べ日数	(日)		111.1	112.6	111.4	112.8	111.0	110.9
	⑪ ⑧のうち経管栄養実施者の入所延べ日数	(日)		145.2	146.2	143.9	148.9	144.9	148.9
従来型 (加算無し)	① 新規入所者数	(人)	444	6.4	6.6	6.4	6.5	6.4	6.9
	② ①のうち再入所者(病院等からの再入所)	(人)		2.5	2.6	2.5	2.5	2.3	2.5
	③ ①のうち再入所者(自宅等からの再入所)	(人)		0.7	0.6	0.5	0.6	0.7	0.7
	④ 退所者数(死亡退所者を含む)	(人)		6.3	6.5	6.4	6.7	6.3	6.5
	⑤ ④のうち死亡退所	(人)		0.6	0.7	0.6	0.7	0.6	0.7
	⑥ ④のうち自宅等へ退所した人数	(人)		1.1	1.0	1.2	1.3	1.0	1.0
	⑦ ⑥のうち入所期間が1か月超で、在宅生活の継続見込を確認できている者	(人)		0.7	0.6	0.8	0.8	0.6	0.6
	⑧ 入所延べ日数	(日)		2,786.8	2,794.5	2,712.4	2,795.1	2,711.7	2,803.6
	⑨ ⑧のうち要介護4・5の入所者の入所延べ日数口	(日)		1,241.2	1,245.2	1,211.6	1,246.5	1,204.0	1,236.6
	⑩ ⑧のうち喀痰吸引実施者の入所延べ日数	(日)		126.9	130.0	121.4	125.3	120.1	128.7
	⑪ ⑧のうち経管栄養実施者の入所延べ日数	(日)		161.9	162.1	156.6	160.0	154.6	156.8
療養型・療養強化型	① 新規入所者数	(人)	34	9.8	8.4	9.3	8.4	10.3	9.2
	② ①のうち再入所者(病院等からの再入所)	(人)		1.8	2.4	2.3	2.0	2.6	2.2
	③ ①のうち再入所者(自宅等からの再入所)	(人)		2.3	1.5	1.2	1.2	2.1	2.4
	④ 退所者数(死亡退所者を含む)	(人)		8.5	8.3	10.1	9.3	9.9	7.9
	⑤ ④のうち死亡退所	(人)		1.3	1.1	1.1	1.2	1.1	1.3
	⑥ ④のうち自宅等へ退所した人数	(人)		2.4	2.6	3.7	3.4	2.6	2.1
	⑦ ⑥のうち入所期間が1か月超で、在宅生活の継続見込を確認できている者	(人)		2.2	2.6	3.5	3.3	2.4	1.8
	⑧ 入所延べ日数	(日)		2,800.6	2,814.5	2,706.2	2,783.3	2,678.4	2,797.7
	⑨ ⑧のうち要介護4・5の入所者の入所延べ日数口	(日)		1,685.0	1,674.8	1,628.9	1,671.7	1,617.2	1,669.8
	⑩ ⑧のうち喀痰吸引実施者の入所延べ日数	(日)		310.6	311.2	290.3	301.8	304.7	315.9
	⑪ ⑧のうち経管栄養実施者の入所延べ日数	(日)		670.4	674.5	643.8	660.0	646.7	668.5

※①～⑪までの 11 項目・12 か月分のすべての回答欄が埋められていた調査票を集計対象とした。

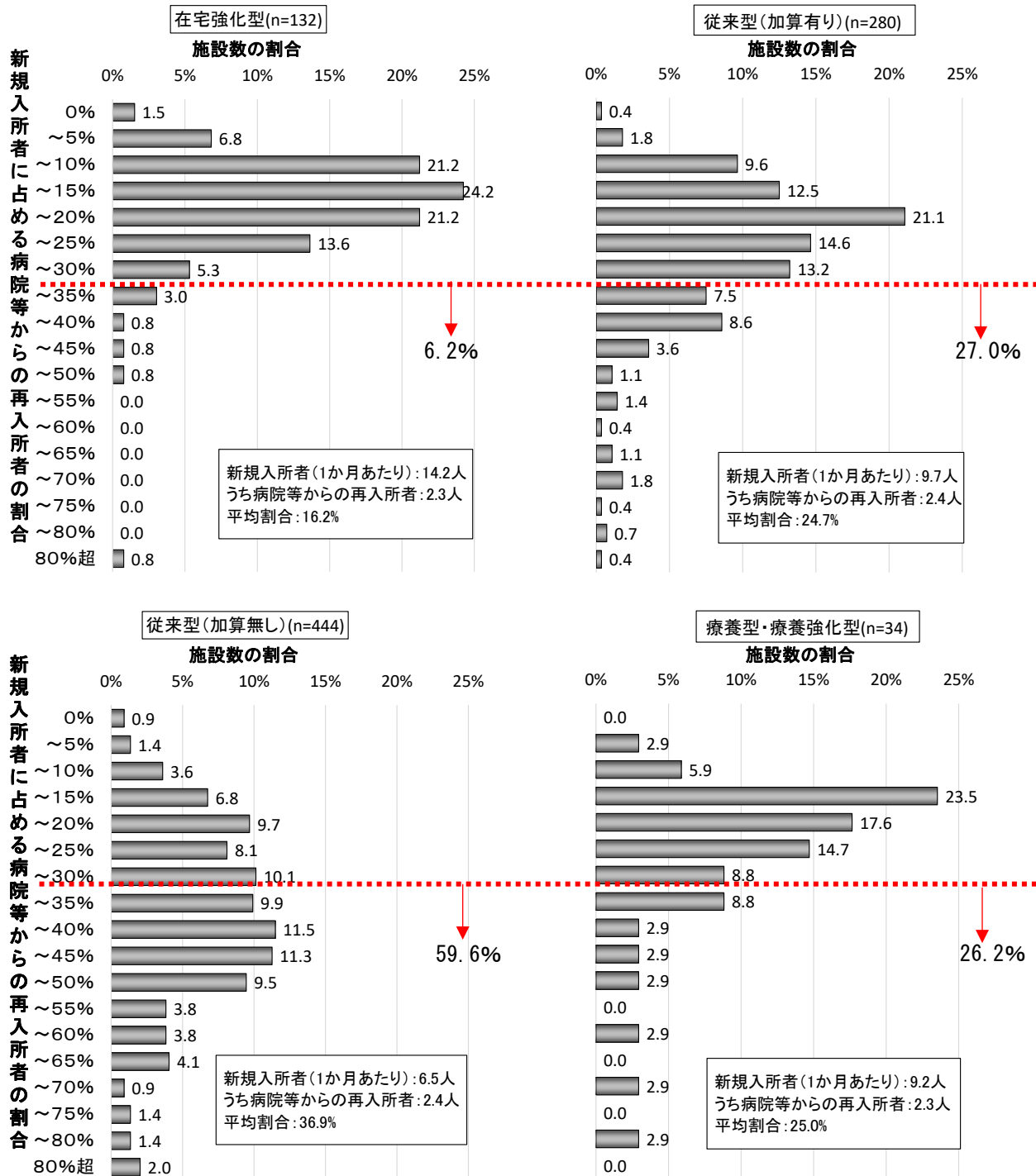
(つづき) 新規入所者・退所者・入所延べ日数等の過去1年間の実績 平均人数及び平均日数
(入所定員100人あたり)(ショートステイを除く)(平成29年1~6月)【施設票 問4】

	単位	施設数	平成29年						12か月間合計	1か月あたり平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月		
全体	① 新規入所者数 (人)	918	8.1	8.0	9.1	8.6	8.9	9.2	104.3	8.7
	② ①のうち再入所者(病院等からの再入所) (人)		2.3	2.4	2.5	2.2	2.4	2.5	29.1	2.4
	③ ①のうち再入所者(自宅等からの再入所) (人)		1.8	1.2	1.4	1.4	1.5	1.8	19.9	1.7
	④ 退所者数(死亡退所者を含む) (人)		8.0	7.9	9.4	9.5	9.3	8.7	104.6	8.7
	⑤ ④のうち死亡退所 (人)		0.9	0.8	0.8	0.7	0.7	0.7	9.0	0.7
	⑥ ④のうち自宅等へ退所した人数 (人)		2.2	2.4	3.6	3.9	3.6	3.2	37.1	3.1
	⑦ ⑥のうち入所期間が1か月超で、在宅生活の継続見込を確認できている者 (人)		1.9	2.1	3.2	3.5	3.2	2.8	32.9	2.7
	⑧ 入所延べ日数 (日)		2,771.3	2,520.7	2,784.3	2,671.9	2,743.0	2,660.7	32,509.6	2,709.1
	⑨ ⑧のうち要介護4・5の入所者の入所延べ日数口 (日)		1,230.6	1,111.8	1,229.9	1,184.3	1,218.0	1,189.6	14,546.5	1,212.2
	⑩ ⑧のうち喀痰吸引実施者の入所延べ日数 (日)		126.0	113.6	120.2	119.8	118.1	115.3	1,477.8	123.1
	⑪ ⑧のうち経管栄養実施者の入所延べ日数 (日)		173.9	157.9	173.1	167.0	170.1	165.9	2,052.6	171.0
在宅強化型	① 新規入所者数 (人)	132	13.4	12.1	14.9	14.4	14.5	15.1	170.4	14.2
	② ①のうち再入所者(病院等からの再入所) (人)		2.4	1.9	2.7	2.1	2.3	2.2	27.6	2.3
	③ ①のうち再入所者(自宅等からの再入所) (人)		5.1	3.8	4.4	4.2	4.3	5.4	58.0	4.8
	④ 退所者数(死亡退所者を含む) (人)		12.5	12.7	16.5	16.4	15.4	14.3	173.5	14.5
	⑤ ④のうち死亡退所 (人)		1.2	1.0	1.3	0.9	0.9	1.1	11.8	1.0
	⑥ ④のうち自宅等へ退所した人数 (人)		6.7	7.1	10.4	10.6	9.5	8.6	103.8	8.7
	⑦ ⑥のうち入所期間が1か月超で、在宅生活の継続見込を確認できている者 (人)		6.2	6.6	9.8	10.2	9.0	8.1	98.0	8.2
	⑧ 入所延べ日数 (日)		2,700.4	2,455.3	2,695.8	2,535.7	2,585.3	2,496.0	31,251.7	2,604.3
	⑨ ⑧のうち要介護4・5の入所者の入所延べ日数口 (日)		1,274.7	1,152.7	1,265.7	1,212.3	1,246.2	1,217.1	15,002.3	1,250.2
	⑩ ⑧のうち喀痰吸引実施者の入所延べ日数 (日)		130.1	115.9	122.5	117.3	118.0	115.5	1,495.0	124.6
	⑪ ⑧のうち経管栄養実施者の入所延べ日数 (日)		180.9	166.0	183.2	171.6	172.6	167.0	2,095.9	174.7
従来型(加算有り)	① 新規入所者数 (人)	280	9.2	8.6	10.0	9.4	10.0	10.4	115.8	9.7
	② ①のうち再入所者(病院等からの再入所) (人)		2.4	2.4	2.5	2.2	2.3	2.5	29.2	2.4
	③ ①のうち再入所者(自宅等からの再入所) (人)		2.2	1.2	1.6	1.5	1.9	2.2	23.7	2.0
	④ 退所者数(死亡退所者を含む) (人)		8.7	8.6	10.4	10.9	10.6	9.7	115.8	9.7
	⑤ ④のうち死亡退所 (人)		0.9	0.7	0.8	0.7	0.7	0.6	8.4	0.7
	⑥ ④のうち自宅等へ退所した人数 (人)		2.6	3.0	4.4	5.1	4.7	4.2	46.7	3.9
	⑦ ⑥のうち入所期間が1か月超で、在宅生活の継続見込を確認できている者 (人)		2.5	2.8	4.3	4.8	4.5	3.9	44.0	3.7
	⑧ 入所延べ日数 (日)		2,753.5	2,509.5	2,768.3	2,653.4	2,710.8	2,631.9	32,185.1	2,682.1
	⑨ ⑧のうち要介護4・5の入所者の入所延べ日数口 (日)		1,172.4	1,058.4	1,172.5	1,129.8	1,159.4	1,139.1	13,825.4	1,152.1
	⑩ ⑧のうち喀痰吸引実施者の入所延べ日数 (日)		110.5	100.1	107.5	103.2	103.8	102.6	1,297.6	108.1
	⑪ ⑧のうち経管栄養実施者の入所延べ日数 (日)		149.1	135.5	147.6	141.6	143.8	141.9	1,737.6	144.8
従来型(加算無し)	① 新規入所者数 (人)	444	5.9	6.5	6.9	6.5	6.6	6.7	78.1	6.5
	② ①のうち再入所者(病院等からの再入所) (人)		2.2	2.4	2.5	2.3	2.4	2.4	29.2	2.4
	③ ①のうち再入所者(自宅等からの再入所) (人)		0.6	0.4	0.5	0.5	0.5	0.6	7.0	0.6
	④ 退所者数(死亡退所者を含む) (人)		6.2	6.1	6.8	6.8	6.8	6.4	77.8	6.5
	⑤ ④のうち死亡退所 (人)		0.8	0.8	0.7	0.7	0.6	0.6	8.1	0.7
	⑥ ④のうち自宅等へ退所した人数 (人)		0.7	0.8	1.2	1.4	1.3	1.2	13.1	1.1
	⑦ ⑥のうち入所期間が1か月超で、在宅生活の継続見込を確認できている者 (人)		0.4	0.5	0.8	1.0	0.9	0.8	8.6	0.7
	⑧ 入所延べ日数 (日)		2,798.2	2,544.6	2,816.1	2,718.3	2,803.6	2,718.7	33,003.7	2,750.3
	⑨ ⑧のうち要介護4・5の入所者の入所延べ日数口 (日)		1,225.7	1,109.0	1,229.7	1,185.4	1,220.2	1,186.4	14,541.5	1,211.8
	⑩ ⑧のうち喀痰吸引実施者の入所延べ日数 (日)		121.3	109.0	114.5	118.1	113.0	110.8	1,439.2	119.9
	⑪ ⑧のうち経管栄養実施者の入所延べ日数 (日)		155.5	139.0	153.9	150.4	153.5	149.0	1,853.2	154.4
療養型・療養強化型	① 新規入所者数 (人)	34	7.9	7.8	10.0	9.6	9.4	9.8	109.8	9.2
	② ①のうち再入所者(病院等からの再入所) (人)		1.7	2.3	2.8	2.2	2.2	2.6	27.2	2.3
	③ ①のうち再入所者(自宅等からの再入所) (人)		1.7	1.0	1.3	1.3	1.8	1.7	19.4	1.6
	④ 退所者数(死亡退所者を含む) (人)		8.0	8.7	10.2	9.2	10.4	9.4	109.8	9.1
	⑤ ④のうち死亡退所 (人)		1.7	1.2	1.5	1.2	1.6	1.3	15.6	1.3
	⑥ ④のうち自宅等へ退所した人数 (人)		1.8	2.4	3.3	3.6	3.6	3.1	34.5	2.9
	⑦ ⑥のうち入所期間が1か月超で、在宅生活の継続見込を確認できている者 (人)		1.7	2.2	3.2	3.2	3.4	2.8	32.3	2.7
	⑧ 入所延べ日数 (日)		2,806.1	2,542.7	2,795.1	2,698.2	2,755.4	2,683.6	32,861.7	2,738.5
	⑨ ⑧のうち要介護4・5の入所者の入所延べ日数口 (日)		1,683.8	1,521.4	1,653.1	1,600.6	1,655.6	1,614.7	19,676.7	1,639.7
	⑩ ⑧のうち喀痰吸引実施者の入所延べ日数 (日)		325.9	299.5	321.6	317.1	326.1	309.9	3,734.8	311.2
	⑪ ⑧のうち経管栄養実施者の入所延べ日数 (日)		665.5	621.2	667.5	642.3	659.5	642.2	7,862.2	655.2

② 新規入所者に占める病院等からの再入所者の割合

新規入所者に占める病院等からの再入所割合を施設類型別の分布として集計した。病院からの再入所者が30%を超えている施設は、「在宅強化型」の6.2%、「従来型(加算有り)」の27.0%、「従来型(加算無し)」の59.6%に該当した。

図表 19 新規入所者に占める病院等からの再入所者の割合（年間平均値）【施設票 問4】

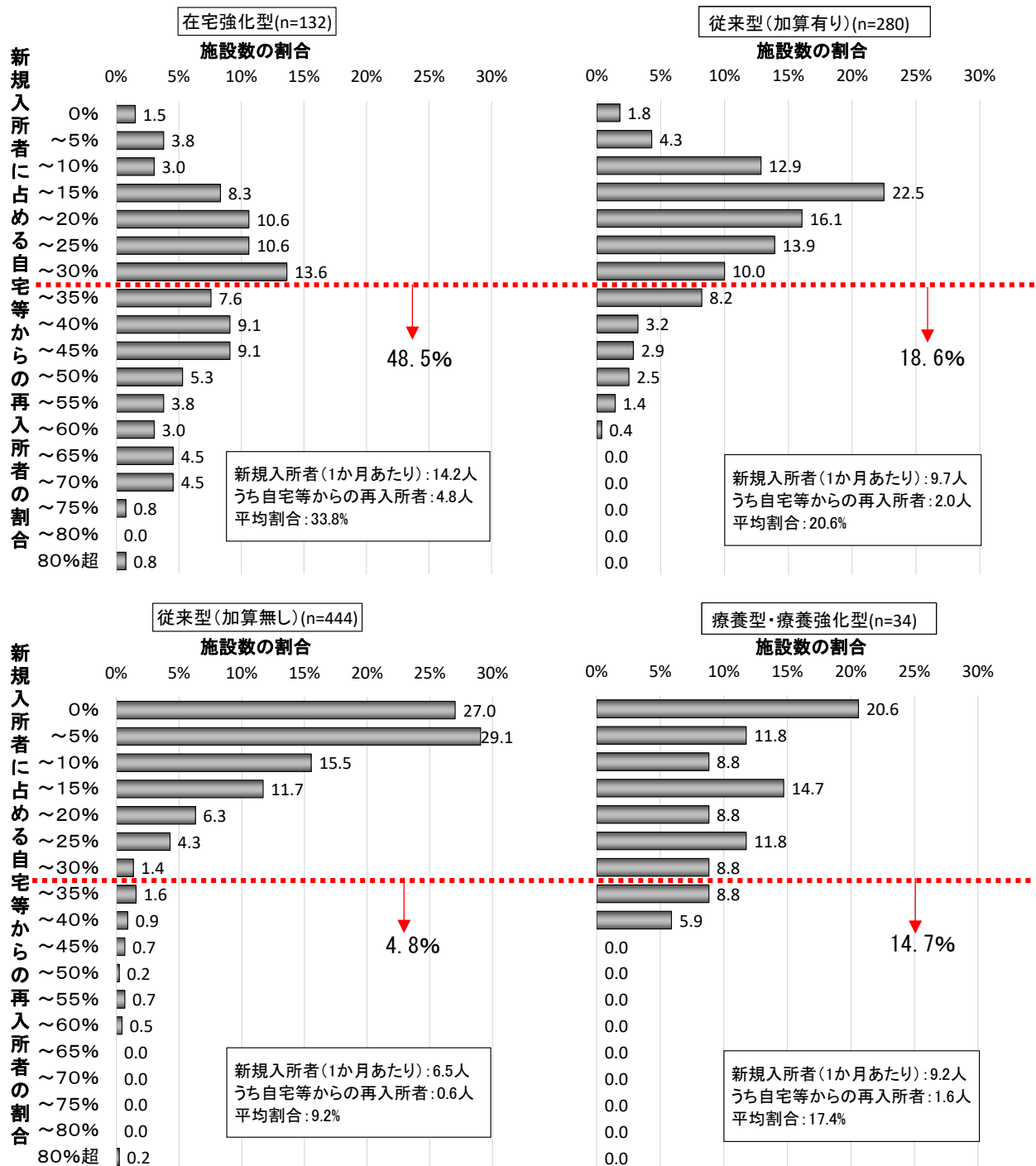


※図内の平均割合は図表17の「1か月あたり平均」の人数により算出。図表19～図表24も同様。

③ 新規入所者に占める自宅等からの再入所者の割合

新規入所者に占める自宅等からの再入所割合を施設類型別の分布として集計した。自宅等からの再入所者が30%を超えている施設は、「在宅強化型」の48.5%、「従来型（加算有り）」の18.6%、「従来型（加算無し）」の4.8%に該当した。

図表 20 新規入所者に占める自宅等からの再入所者の割合（年間平均値）【施設票 問4】

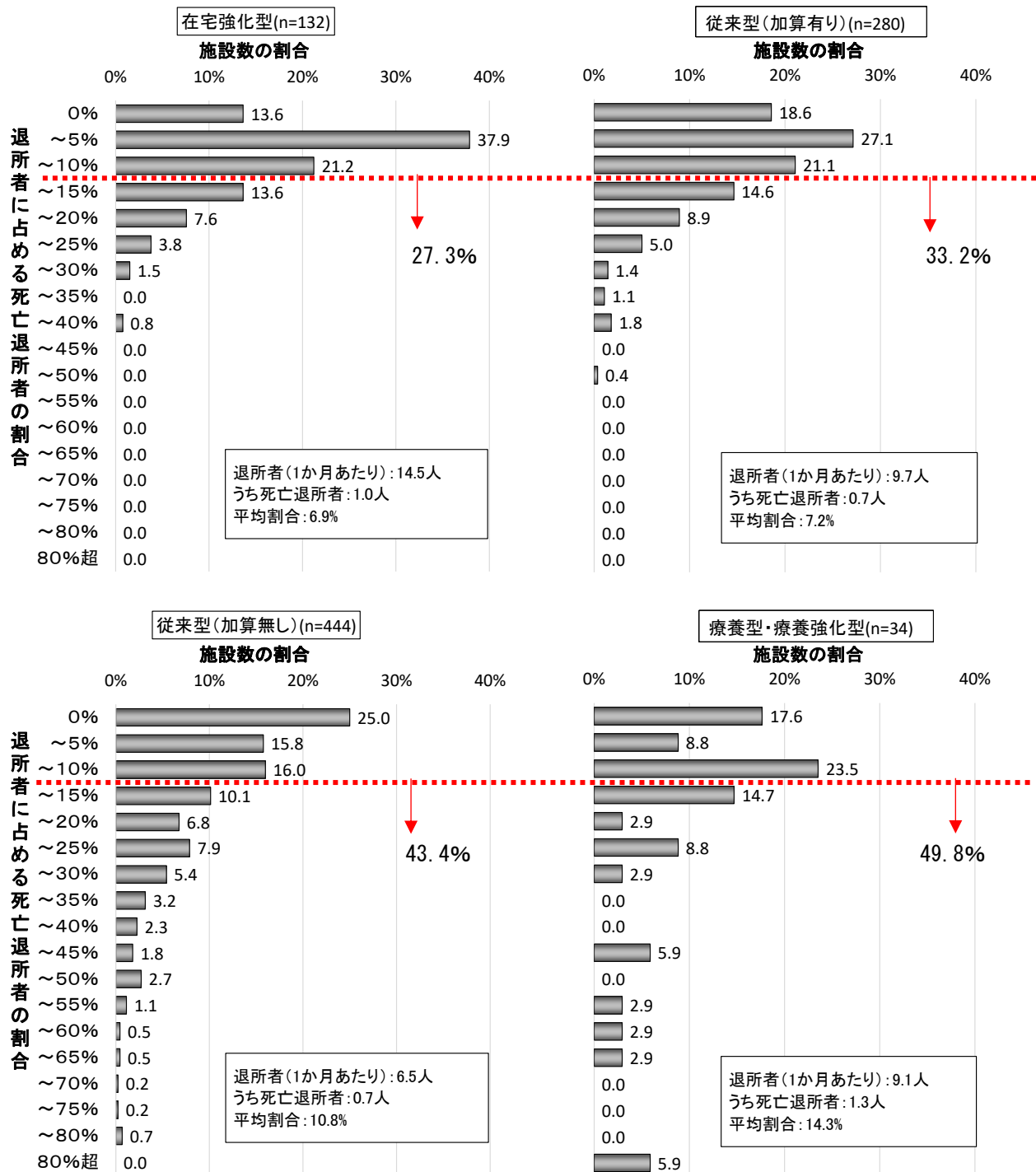


④ 退所者に占める死亡退所者の割合

退所者に占める死亡退所者の割合を施設類型別の分布として集計した。死亡退所者割合が10%を超えている施設は、「在宅強化型」の27.3%、「従来型（加算有り）」の33.2%、「従来型（加算無し）」の43.4%に該当した。

※ただし、死亡退所者の1か月あたり人数はいずれの施設類型でも1人弱であり、退所者数の多少によって割合が異なっていることには留意が必要である。

図表 21 退所者に占める死亡退所者の割合（年間平均値）【施設票 問4】

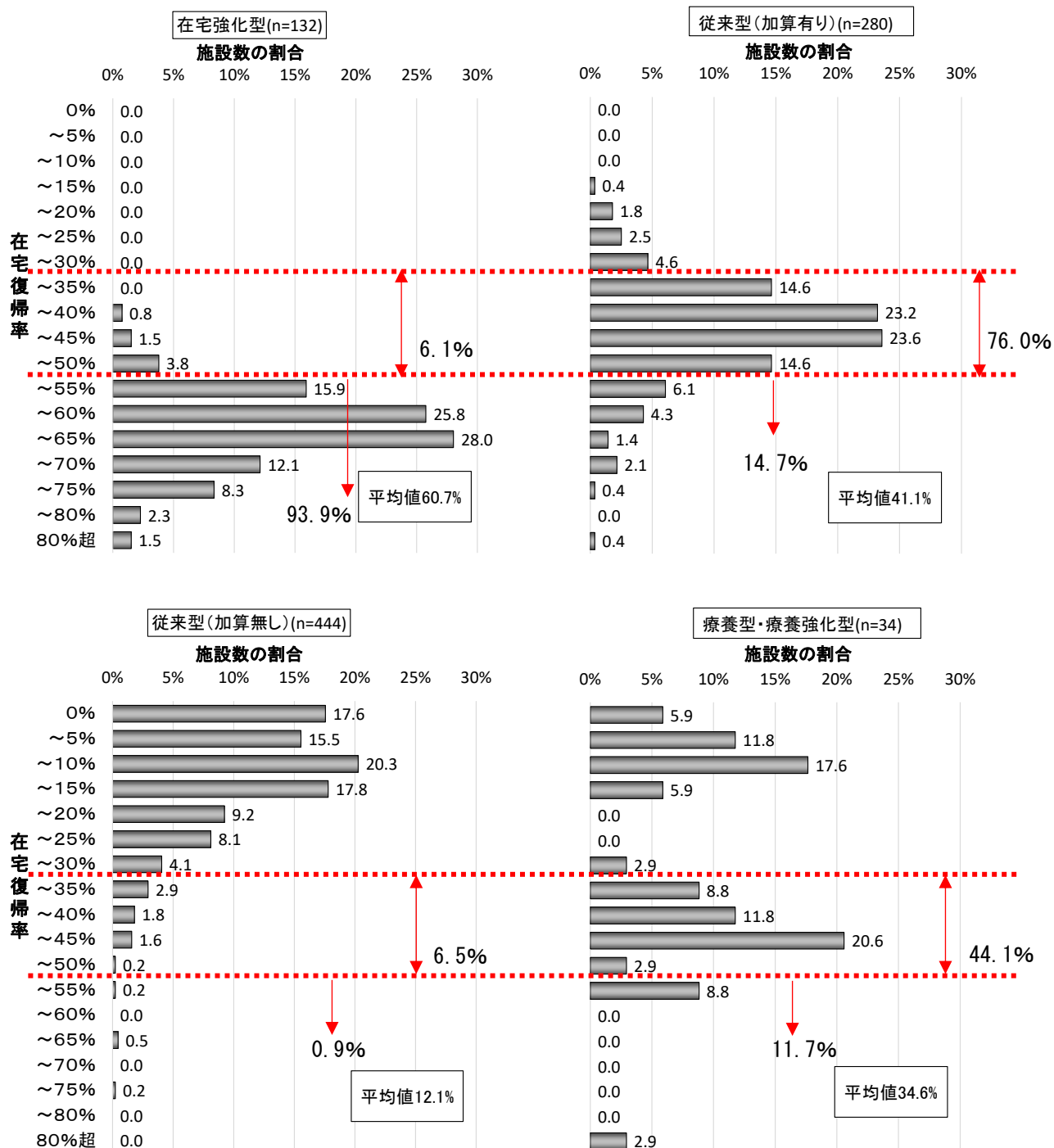


⑤ 在宅復帰率

在宅復帰率を施設類型別の分布として集計した。在宅復帰率が 50%を超えている施設は、「在宅強化型」の 93.9%*、「従来型（加算有り）」の 14.7%、「従来型（加算無し）」の 0.9% に該当した。在宅復帰率が 30%超 50%以下である施設は、「在宅強化型」の 6.1%、「従来型（加算有り）」の 76.0%、「従来型（加算無し）」の 6.5%に該当した。

※過去1年間の年間平均値のため、「在宅強化型」であっても在宅復帰率が50%以下の施設がある。

図表 22 在宅復帰率（年間平均値）【施設票 問 4】

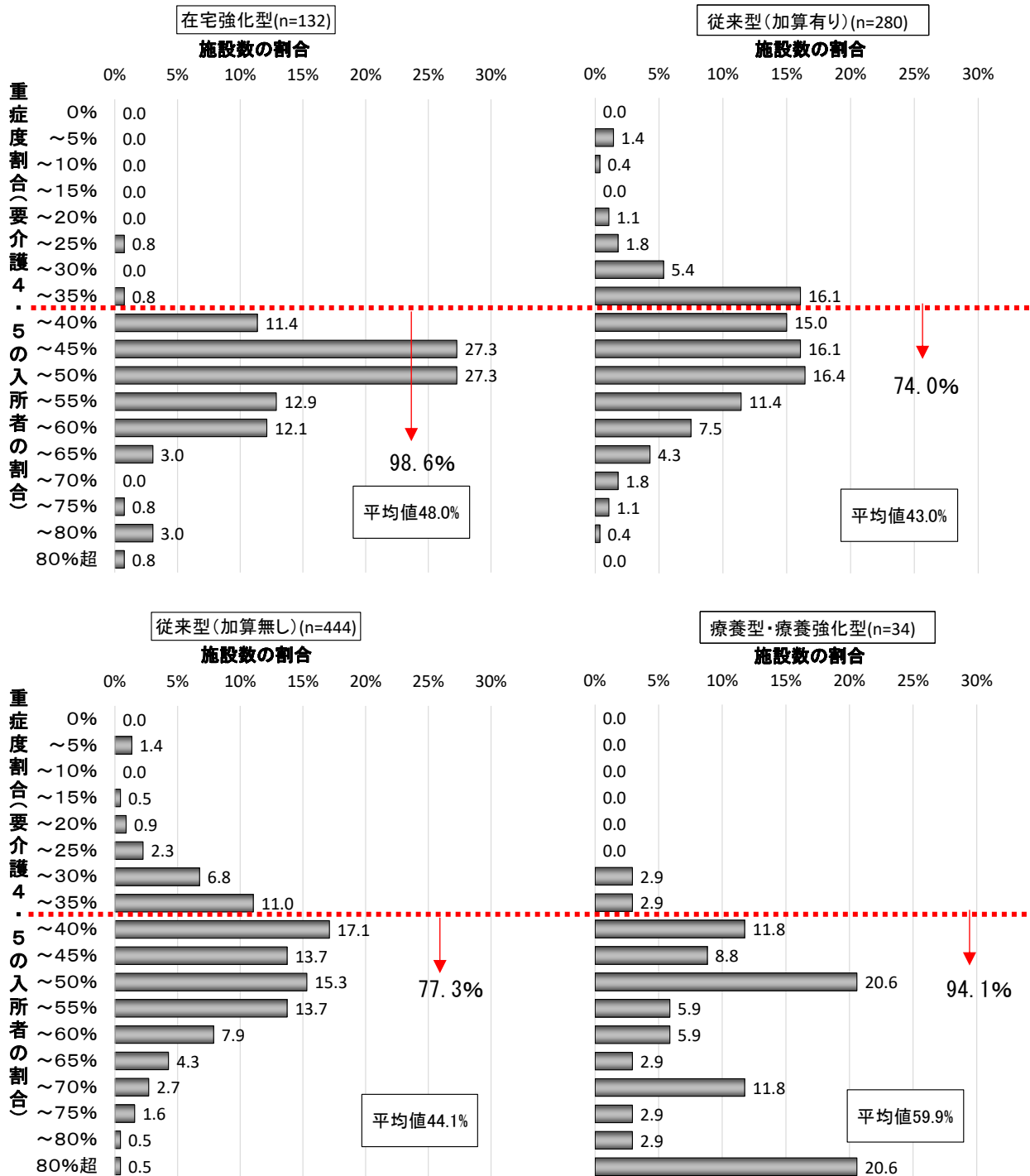


※在宅復帰率は、退所者（死亡退所を除く）に占める退所先が自宅等である者のうち、入所期間が1か月超で、在宅生活の継続見込を確認できている者の割合として算出。

⑥ 重症者割合

重症者割合（要介護4・5の入所者の割合）を施設類型別の分布として集計した。重症者割合が35%を超えている施設は、「在宅強化型」の98.6%、「従来型（加算有り）」の74.0%、「従来型（加算無し）」の77.3%に該当した。

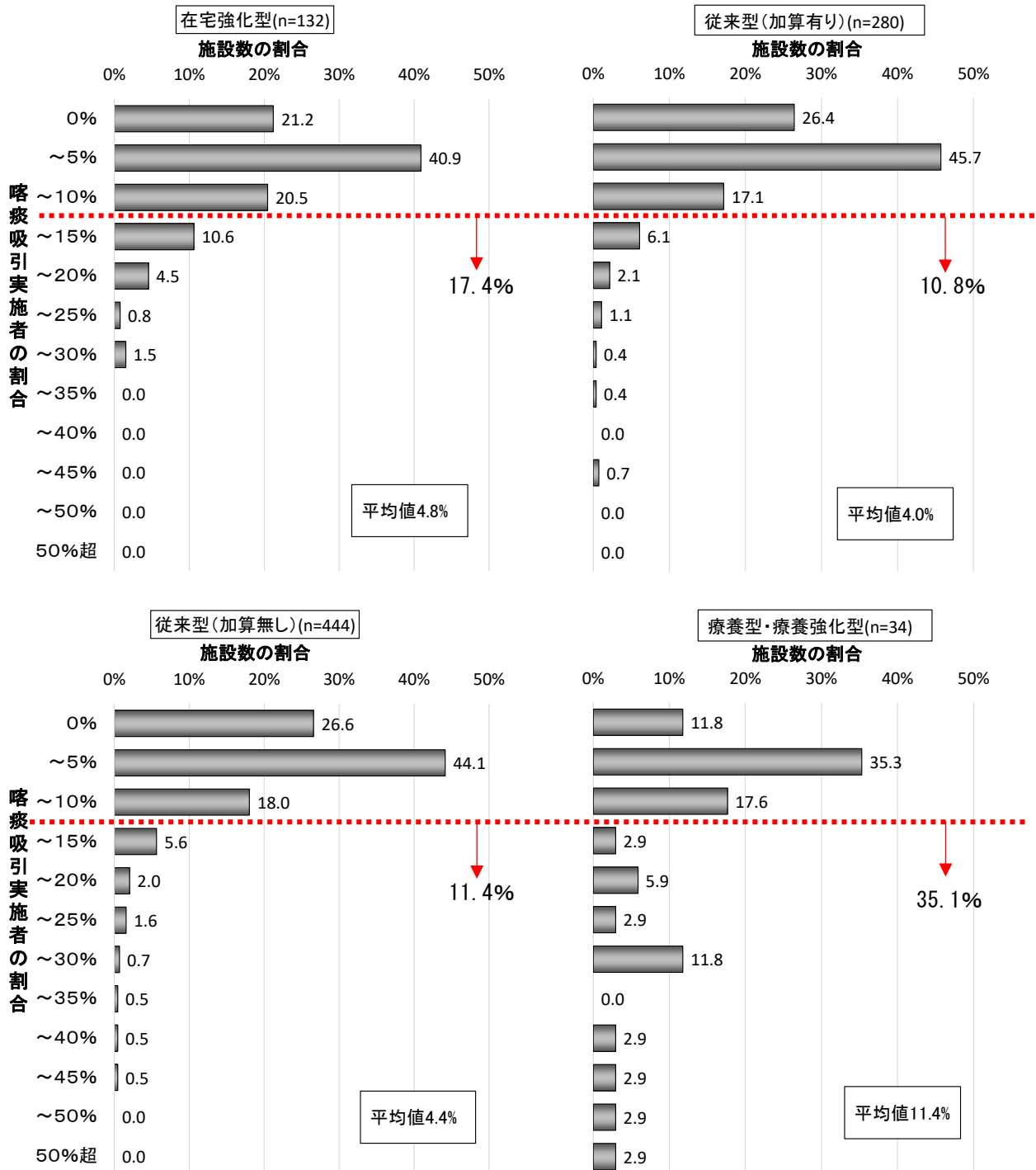
図表 23 重症者割合（要介護4・5の入所者の割合）（年間平均値）【施設票 問4】



⑦ 喀痰吸引実施者の割合

喀痰吸引実施者の割合を施設類型別の分布として集計した。喀痰吸引実施者の割合が10%を超えている施設は、「在宅強化型」の17.4%、「従来型（加算有り）」の10.8%、「従来型（加算無し）」の11.4%に該当した。

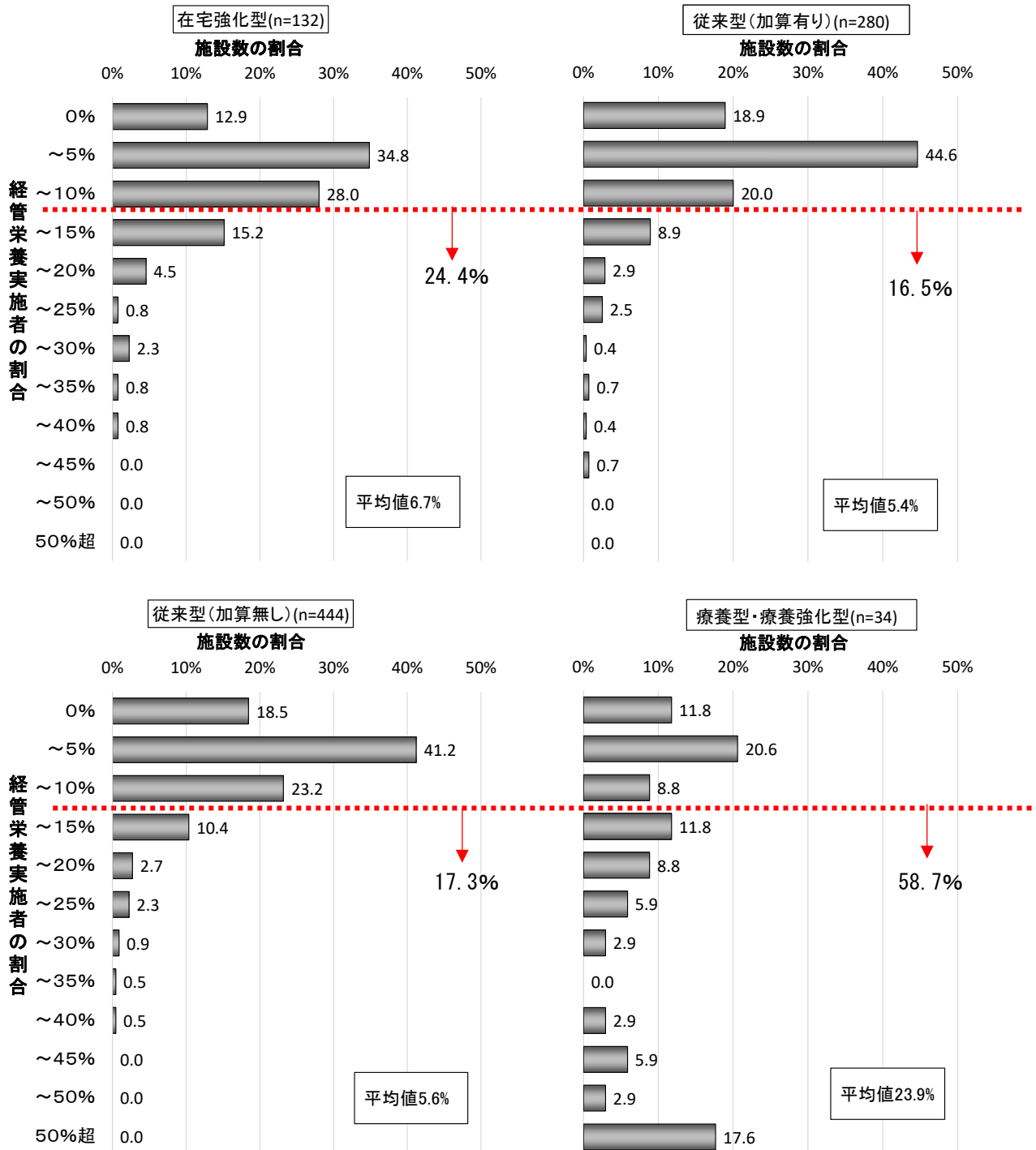
図表 24 喀痰吸引実施者の割合（年間平均値）【施設票 問4】



⑧ 経管栄養実施者の割合

経管栄養実施者の割合を施設類型別の分布として集計した。経管栄養実施者の割合が10%を超えている施設は、「在宅強化型」の24.4%、「従来型（加算有り）」の16.5%、「従来型（加算無し）」の17.3%に該当した。

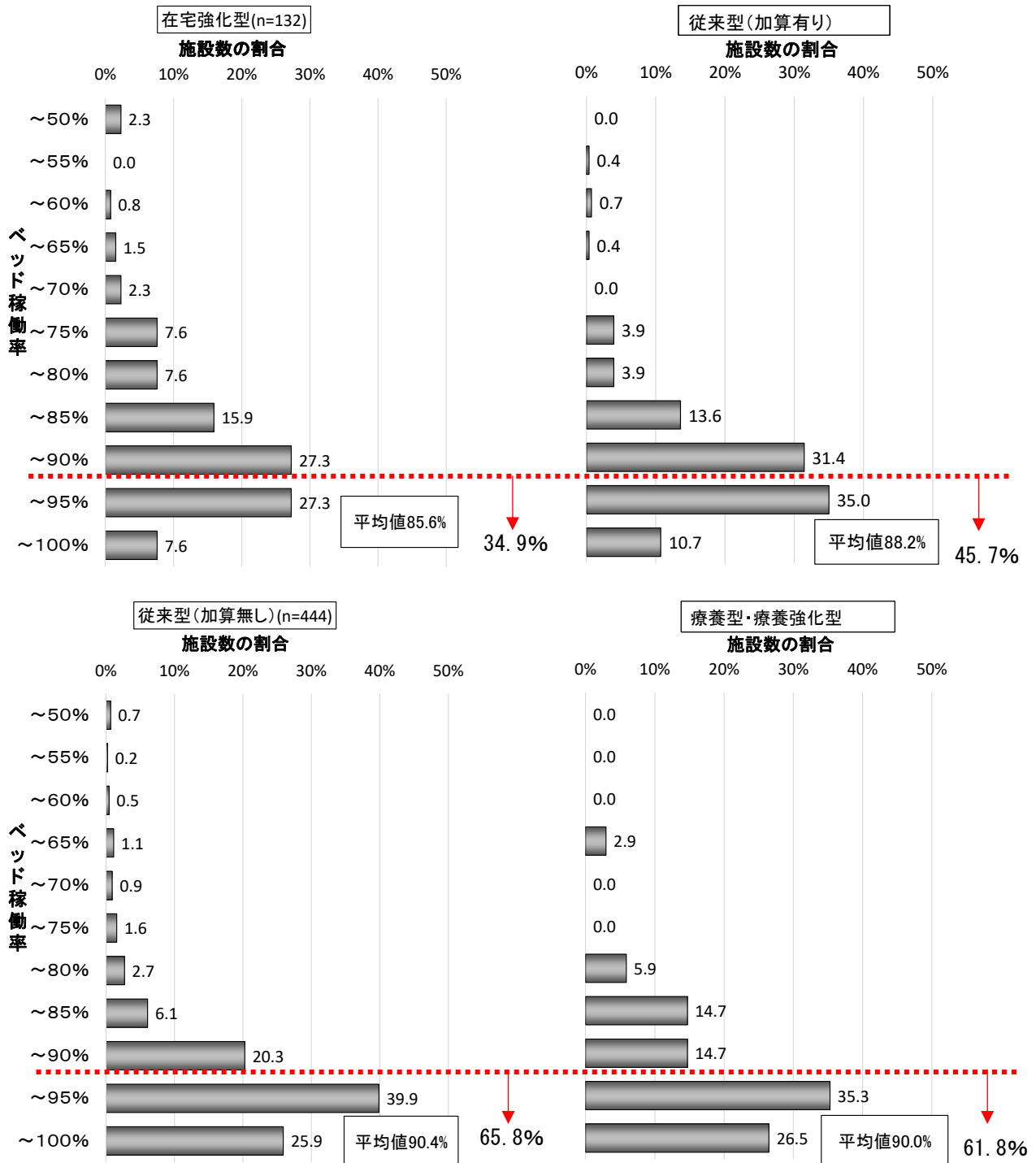
図表 25 経管栄養実施者の割合（年間平均値）【施設票 問4】



⑨ ベッド稼働率

ベッド稼働率を施設類型別の分布として集計した。ベッド稼働率が90%を超えている施設は、「在宅強化型」の34.9%、「従来型(加算有り)」の45.7%、「従来型(加算無し)」の65.8%に該当した。

図表 26 ベッド稼働率(年間平均値)【施設票 問4】

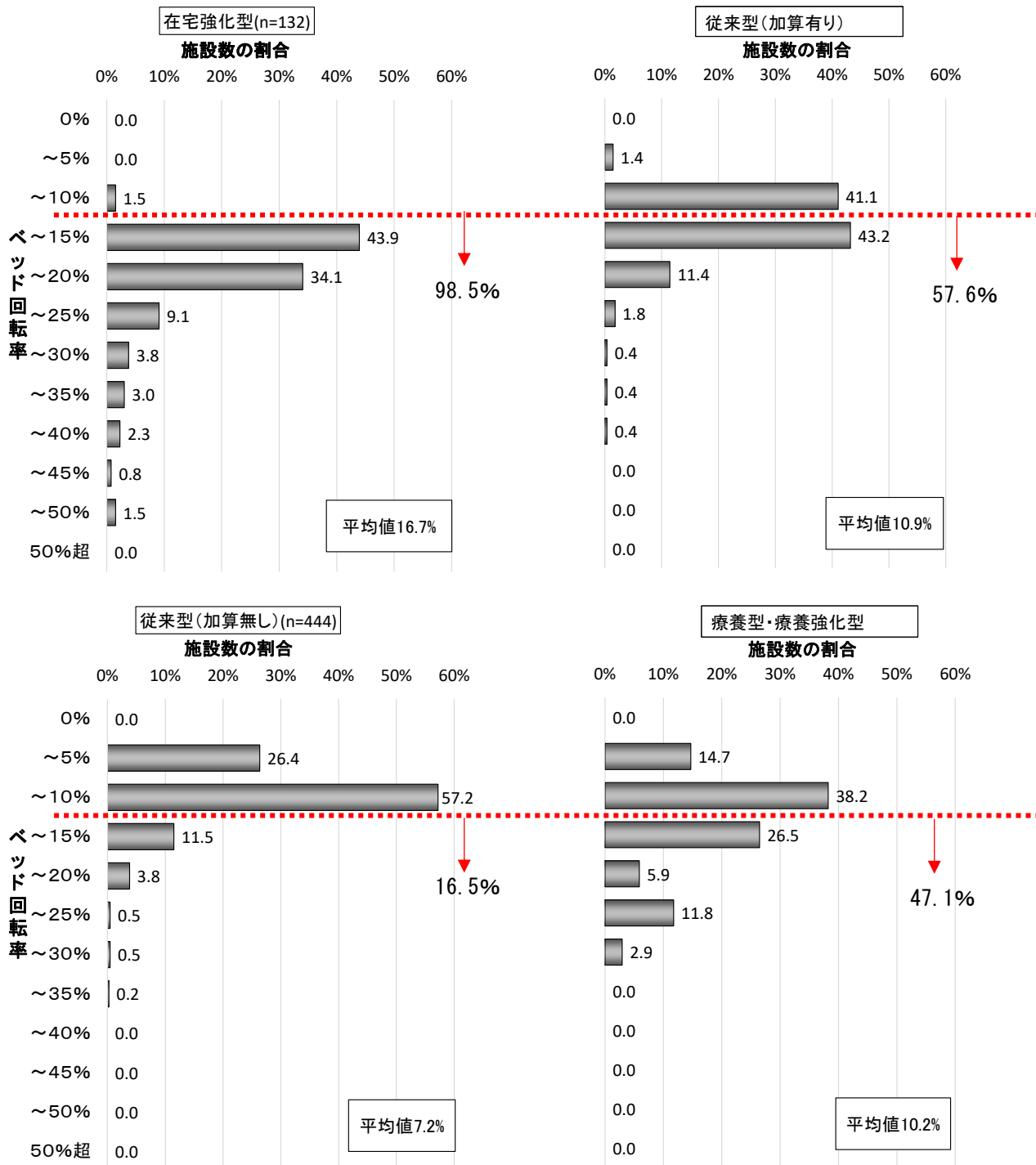


※ベッド稼働率は、入所延べ日数÷(各施設の入所定員×365日)として算出。

⑩ ベッド回転率

ベッド回転率を施設類型別の分布として集計した。ベッド回転率が10%を超えている施設は、「在宅強化型」の98.5%、「従来型（加算有り）」の57.6%、「従来型（加算無し）」の16.5%に該当した。

図表 27 ベッド回転率（年間平均値）【施設票 問4】



※ベッド回転率は、 $((12 \text{ か月間の新規入所者数} + 12 \text{ か月間の退所者数}) \div 2) \div (12 \text{ か月間の入所延べ日数} \div 30.4)$ として算出。

2. 過去1年間の新規入所者

(1) 入所前の居所別入所者数

入所前の居所別の新規入所者数（平成28年7月～29年6月の1年間（ショートステイを除く））を入所定員100人あたりとして集計した。人数および割合は、「在宅強化型」では164.4人（入所前居所：病院46.1%、自宅42.6%）、「従来型（加算有り）」では116.9人（入所前居所：病院58.2%、自宅32.1%）、「従来型（加算無し）」では75.5人（入所前居所：病院69.2%、自宅22.3%）であった。

入所前の居場所別の新規入所者のうち要介護度が4・5の者の割合（平成28年7月～平成29年6月の1年間）を施設類型別に比較した。「在宅強化型」「従来型（加算有り）」「従来型（加算無し）」のいずれも、新規入所者の約4割が要介護度4・5であった。

入所前の居場所別の新規入所者のうち認知症高齢者の日常生活自立度がⅢb、Ⅳ、Mの者の割合（平成28年7月～平成29年6月の1年間）を施設類型別に比較した。「在宅強化型」「従来型（加算有り）」「従来型（加算無し）」のいずれも、新規入所者の15～20%が認知症高齢者の日常生活自立度がⅢb、Ⅳ、Mであった。

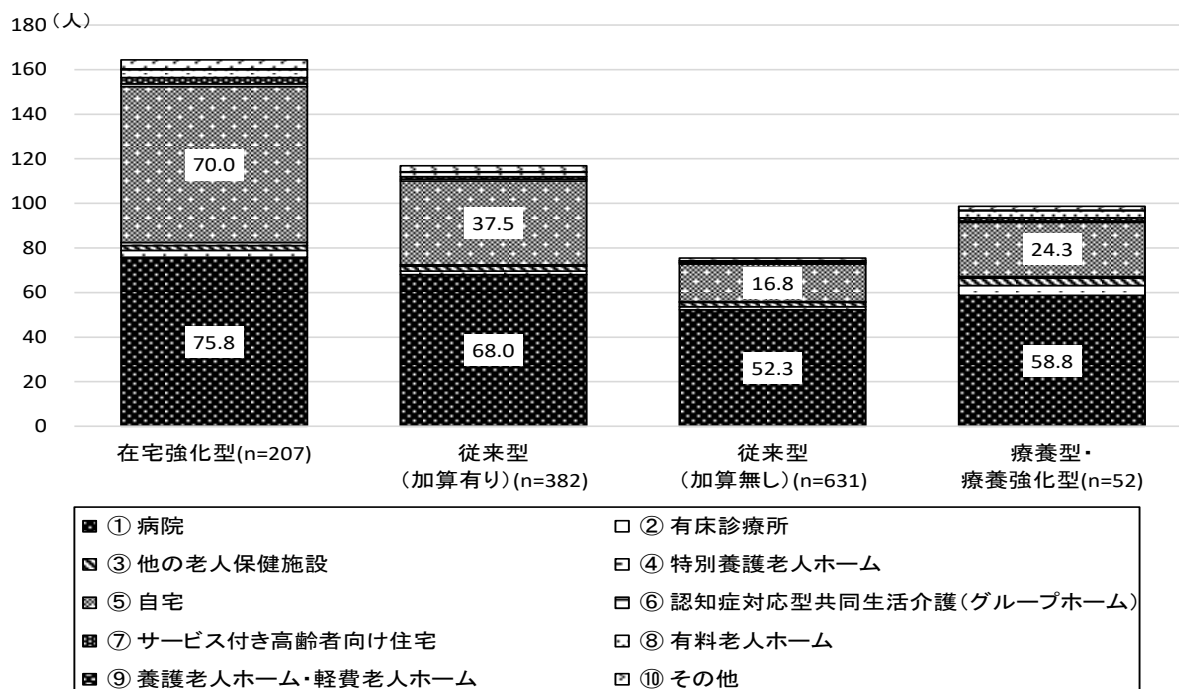
図表 28 入所前の居所別の新規入所者数（入所定員 100 人あたり）
（平成 28 年 7 月～29 年 6 月の 1 年間（ショートステイを除く））【施設票 問 5】

施設数		在宅強化型		従来型 (加算有り)		従来型 (加算無し)		療養型・ 療養強化型	
		あ 定 員 1 0 人	構 成 割 合	あ 定 員 1 0 人	構 成 割 合	あ 定 員 1 0 人	構 成 割 合	あ 定 員 1 0 人	構 成 割 合
施設数		207		382		631		52	
医療 機 関	① 病院	75.8	46.1%	68.0	58.2%	52.3	69.2%	58.8	59.6%
	i) うち急性期病床	31.2	19.0%	31.7	27.2%	25.7	34.1%	24.0	24.4%
	ii) うち地域包括ケア病棟(病床)	12.6	7.6%	9.8	8.4%	2.1	2.8%	6.8	6.9%
	iii) うち回復期リハビリテーション病棟	12.0	7.3%	8.3	7.1%	4.9	6.5%	6.8	6.9%
	iv) うち療養病床(介護療養病床を含む)	5.7	3.4%	5.2	4.4%	6.1	8.0%	8.8	8.9%
	v) うち精神病床	1.4	0.8%	2.0	1.7%	2.0	2.7%	1.1	1.2%
	vi) うちその他の病床	1.8	1.1%	2.6	2.2%	3.4	4.5%	3.6	3.6%
	② 有床診療所	3.1	1.9%	1.6	1.4%	1.3	1.7%	4.4	4.5%
他の介護保険 施設	③ 他の老人保健施設	2.2	1.3%	2.2	1.8%	1.9	2.6%	3.3	3.3%
	④ 特別養護老人ホーム	1.4	0.8%	0.6	0.6%	0.4	0.5%	0.8	0.8%
自 宅 等	⑤ 自宅	70.0	42.6%	37.5	32.1%	16.8	22.3%	24.3	24.6%
	⑥ 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	1.1	0.7%	0.9	0.7%	0.5	0.7%	0.5	0.6%
	⑦ サービス付き高齢者向け住宅	2.8	1.7%	1.1	0.9%	0.3	0.3%	1.5	1.5%
	⑧ 有料老人ホーム	3.6	2.2%	2.1	1.8%	0.6	0.8%	3.2	3.2%
	⑨ 養護老人ホーム・軽費老人ホーム	0.4	0.2%	0.2	0.2%	0.2	0.3%	0.2	0.2%
⑩ その他	4.1	2.5%	2.7	2.3%	1.2	1.6%	1.7	1.8%	
計		164.4	100.0%	116.9	100.0%	75.5	100.0%	98.7	100.0%

※居所別の新規入所者及びその要介護度 4・5/認知症高齢者の人数(図表 27～29)の回答が揃っている調査票を集計対象とした。

※「①病院」の具体的な場所のうち数は、無回答の場合があるため、合計しても「①病院」の人数と合わない。

図表 29 入所前の居所別の新規入所者数（入所定員 100 人あたり）
（平成 28 年 7 月～29 年 6 月の 1 年間（ショートステイを除く））【施設票 問 5】



図表 30 新規入所者のうち要介護度が4・5の者の人数（入所定員100人あたり）

（平成28年7月～平成29年6月の1年間）【施設票 問5】

	在宅強化型			従来型 (加算有り)			従来型 (加算無し)			療養型・ 療養強化型			
	あ 定 員 1 0 0 人	4 ・ 5 の 者 (人)	割 合 (%)	あ 定 員 1 0 0 人	4 ・ 5 の 者 (人)	割 合 (%)	あ 定 員 1 0 0 人	4 ・ 5 の 者 (人)	割 合 (%)	あ 定 員 1 0 0 人	4 ・ 5 の 者 (人)	割 合 (%)	
施設数	207			382			631			52			
医療 機 関	① 病院	75.8	33.6	44.4%	68.0	28.2	41.4%	52.3	23.5	44.9%	58.8	33.2	56.5%
	i) うち急性期病床	31.2	-	-	31.7	-	-	25.7	-	-	24.0	-	-
	ii) うち地域包括ケア病棟(病床)	12.6	-	-	9.8	-	-	2.1	-	-	6.8	-	-
	iii) うち回復期リハビリテーション病棟	12.0	-	-	8.3	-	-	4.9	-	-	6.8	-	-
	iv) うち療養病床(介護療養病床を含む)	5.7	-	-	5.2	-	-	6.1	-	-	8.8	-	-
	v) うち精神病床	1.4	-	-	2.0	-	-	2.0	-	-	1.1	-	-
	vi) うちその他の病床	1.8	-	-	2.6	-	-	3.4	-	-	3.6	-	-
② 有床診療所	3.1	1.3	43.9%	1.6	0.7	40.3%	1.3	0.6	47.2%	4.4	2.7	61.1%	
他の介護 保険施設	③ 他の老人保健施設	2.2	0.8	38.4%	2.2	0.7	33.9%	1.9	0.6	30.8%	3.3	1.8	54.3%
	④ 特別養護老人ホーム	1.4	0.5	33.9%	0.6	0.3	50.4%	0.4	0.2	52.3%	0.8	0.4	54.5%
自 宅 等	⑤ 自宅	70.0	21.5	30.8%	37.5	10.0	26.7%	16.8	4.1	24.4%	24.3	7.2	29.8%
	⑥ 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	1.1	0.5	47.3%	0.9	0.3	37.6%	0.5	0.2	35.5%	0.5	0.2	34.8%
	⑦ サービス付き高齢者向け住宅	2.8	1.0	35.2%	1.1	0.3	31.3%	0.3	0.1	27.9%	1.5	0.4	27.4%
	⑧ 有料老人ホーム	3.6	1.4	38.1%	2.1	0.7	31.9%	0.6	0.2	29.4%	3.2	1.3	40.6%
	⑨ 養護老人ホーム・軽費老人ホーム	0.4	0.1	24.3%	0.2	0.0	17.5%	0.2	0.0	14.9%	0.2	0.1	40.0%
⑩ その他	4.1	1.4	34.5%	2.7	0.9	33.9%	1.2	0.4	32.1%	1.7	0.8	46.6%	
計	164.4	62.2	37.8%	116.9	42.2	36.1%	75.5	29.9	39.5%	98.7	48.1	48.8%	

図表 31 新規入所者のうち認知症高齢者の日常生活自立度がⅢb、Ⅳ、Mの者の人数（入所定員100人あたり）（平成28年7月～平成29年6月の1年間）【施設票 問5】

（平成28年7月～平成29年6月の1年間）【施設票 問5】

	在宅強化型			従来型 (加算有り)			従来型 (加算無し)			療養型・ 療養強化型			
	あ 定 員 1 0 0 人	b 日 う ち 、 常 ・ Ⅳ 生 、 活 自 知 症 高 齢 者 の 者 (人)	割 合 (%)	あ 定 員 1 0 0 人	b 日 う ち 、 常 ・ Ⅳ 生 、 活 自 知 症 高 齢 者 の 者 (人)	割 合 (%)	あ 定 員 1 0 0 人	b 日 う ち 、 常 ・ Ⅳ 生 、 活 自 知 症 高 齢 者 の 者 (人)	割 合 (%)	あ 定 員 1 0 0 人	b 日 う ち 、 常 ・ Ⅳ 生 、 活 自 知 症 高 齢 者 の 者 (人)	割 合 (%)	
施設数	207			382			631			52			
医療 機 関	① 病院	75.8	13.8	18.2%	68.0	11.6	17.1%	52.3	11.7	22.3%	58.8	18.0	30.6%
	i) うち急性期病床	31.2	-	-	31.7	-	-	25.7	-	-	24.0	-	-
	ii) うち地域包括ケア病棟(病床)	12.6	-	-	9.8	-	-	2.1	-	-	6.8	-	-
	iii) うち回復期リハビリテーション病棟	12.0	-	-	8.3	-	-	4.9	-	-	6.8	-	-
	iv) うち療養病床(介護療養病床を含む)	5.7	-	-	5.2	-	-	6.1	-	-	8.8	-	-
	v) うち精神病床	1.4	-	-	2.0	-	-	2.0	-	-	1.1	-	-
	vi) うちその他の病床	1.8	-	-	2.6	-	-	3.4	-	-	3.6	-	-
② 有床診療所	3.1	0.8	24.8%	1.6	0.2	12.8%	1.3	0.3	22.7%	4.4	2.0	44.9%	
他の介護 保険施設	③ 他の老人保健施設	2.2	0.3	14.1%	2.2	0.3	14.0%	1.9	0.3	14.4%	3.3	1.3	38.4%
	④ 特別養護老人ホーム	1.4	0.2	13.1%	0.6	0.2	25.4%	0.4	0.1	27.3%	0.8	0.1	12.1%
自 宅 等	⑤ 自宅	70.0	10.7	15.2%	37.5	4.5	12.1%	16.8	2.3	13.5%	24.3	3.4	14.0%
	⑥ 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	1.1	0.5	48.3%	0.9	0.2	22.8%	0.5	0.2	34.5%	0.5	0.1	17.4%
	⑦ サービス付き高齢者向け住宅	2.8	0.4	13.3%	1.1	0.2	18.7%	0.3	0.0	13.6%	1.5	0.2	14.5%
	⑧ 有料老人ホーム	3.6	0.8	22.0%	2.1	0.4	18.1%	0.6	0.1	15.7%	3.2	0.4	13.5%
	⑨ 養護老人ホーム・軽費老人ホーム	0.4	0.0	12.9%	0.2	0.0	14.3%	0.2	0.0	14.0%	0.2	0.0	20.0%
⑩ その他	4.1	0.7	17.9%	2.7	0.4	14.5%	1.2	0.2	17.6%	1.7	0.4	24.7%	
計	164.4	28.2	17.2%	116.9	18.0	15.4%	75.5	15.2	20.1%	98.7	25.9	26.3%	

3. 過去1年間の退所者

(1) 退所者

① 退所後の居所別退所者数

退所後の居所別の退所者数（平成28年7月～29年6月の1年間（ショートステイを除く））を入所定員100人あたりとして集計した。人数および割合は、「在宅強化型」では166.1人（退所後居所：病院22.7%、自宅45.7%）、「従来型（加算有り）」では116.7人（退所後居所：病院37.3%、自宅31.3%）、「従来型（加算無し）」では77.8人（退所後居所：病院58.5%、自宅14.1%）であった。

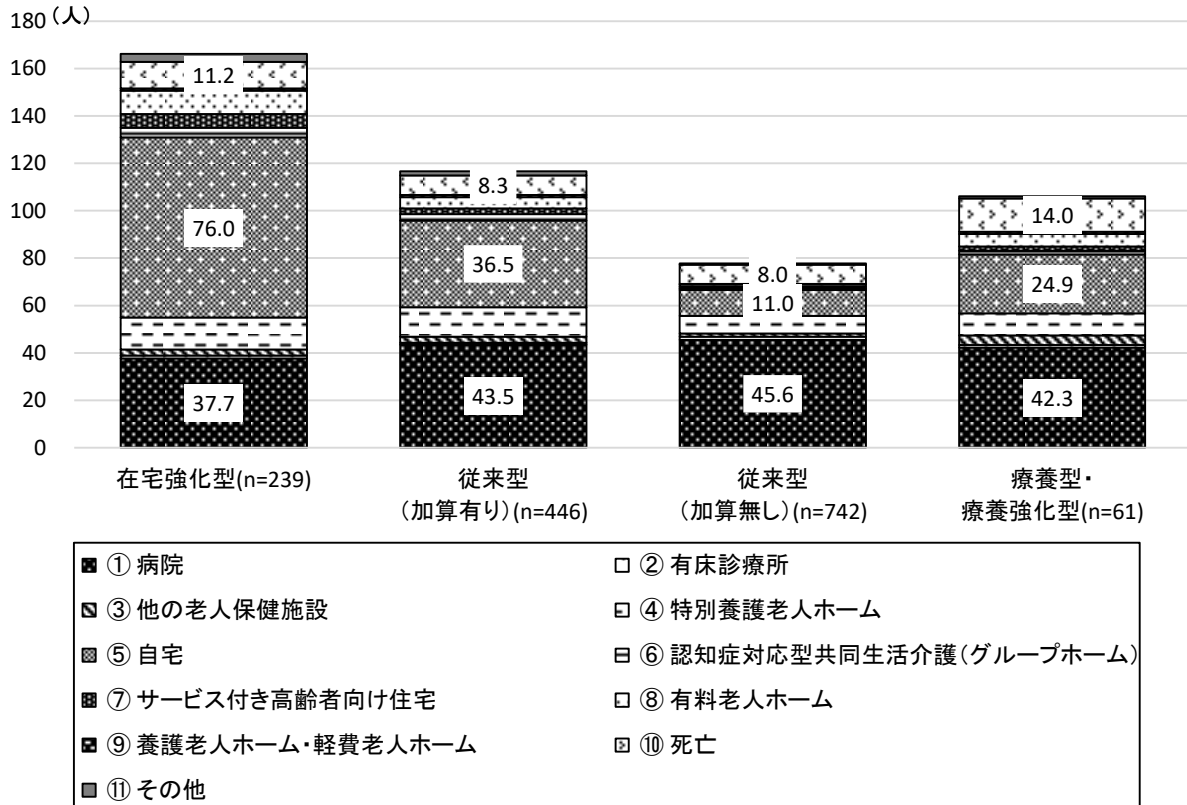
図表 32 退所後の居所別の退所者数（入所定員100人あたり）
（平成28年7月～29年6月の1年間（ショートステイを除く）【施設票 問6】）

	在宅強化型		従来型 (加算有り)		従来型 (加算無し)		療養型・ 療養強化型		
	あ 定 員 1 0 人 数	構 成 割 合	あ 定 員 1 0 人 数	構 成 割 合	あ 定 員 1 0 人 数	構 成 割 合	あ 定 員 1 0 人 数	構 成 割 合	
施設数	239		446		742		61		
医療 機 関	① 病院	37.7	22.7%	43.5	37.3%	45.6	58.5%	42.3	39.8%
	i) うち急性期病床	27.9	16.8%	29.4	25.2%	29.5	37.8%	28.0	26.4%
	ii) うち地域包括ケア病棟(病床)	0.9	0.5%	1.5	1.2%	0.7	0.9%	1.1	1.0%
	iii) うち回復期リハビリテーション病棟	0.2	0.1%	0.5	0.4%	0.4	0.5%	0.4	0.4%
	iv) うち療養病床(介護療養病床を含む)	1.8	1.1%	2.7	2.3%	3.4	4.4%	3.0	2.9%
	v) うち精神病床	0.7	0.4%	0.9	0.8%	1.2	1.6%	0.9	0.8%
	vi) うちその他の病床	0.5	0.3%	2.2	1.9%	2.9	3.7%	1.5	1.4%
	② 有床診療所	1.2	0.7%	0.7	0.6%	1.3	1.6%	1.1	1.1%
他の介護 保険施設	③ 他の老人保健施設	2.6	1.6%	2.6	2.2%	1.4	1.8%	4.0	3.7%
	④ 特別養護老人ホーム	13.4	8.1%	12.5	10.7%	7.3	9.4%	9.4	8.8%
自 宅 等	⑤ 自宅	76.0	45.7%	36.5	31.3%	11.0	14.1%	24.9	23.4%
	⑥ 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	4.1	2.5%	2.7	2.3%	0.7	0.9%	1.5	1.4%
	⑦ サービス付き高齢者向け住宅	5.8	3.5%	2.4	2.1%	0.6	0.8%	1.8	1.7%
	⑧ 有料老人ホーム	9.9	6.0%	4.7	4.0%	1.0	1.3%	5.3	5.0%
	⑨ 養護老人ホーム・軽費老人ホーム	0.9	0.5%	0.9	0.8%	0.3	0.4%	1.0	0.9%
⑩ 死亡	11.2	6.8%	8.3	7.1%	8.0	10.3%	14.0	13.2%	
⑪ その他	3.3	2.0%	1.8	1.6%	0.7	0.8%	1.0	0.9%	
計	166.1	100.0%	116.7	100.0%	77.8	100.0%	106.1	100.0%	

※無回答の調査票を除いて集計対象とした。

※「①病院」の具体的な場所のうち数は、無回答の場合があるため、合計しても「①病院」の人数と合わない。

図表 33 退所後の居所別の退所者数（入所定員 100 人あたり）
 （平成 28 年 7 月～29 年 6 月の 1 年間（ショートステイを除く）【施設票 問 6】



※図には「①病院」「⑤自宅」「⑩死亡」の人数のみ表示している。これ以外の数値については、前頁の図表を参照されたい。

図表 34 【再掲】退所後の居所別の退所者数（入所定員 100 人あたり）
 （平成 28 年 7 月～29 年 6 月の 1 年間（ショートステイを除く）【施設票 問 6】

	在宅強化型		従来型 (加算有り)		従来型 (加算無し)		療養型・ 療養強化型	
	あ 定 員 り 1 人 0 数 0 人	構 成 割 合	あ 定 員 り 1 人 0 数 0 人	構 成 割 合	あ 定 員 り 1 人 0 数 0 人	構 成 割 合	あ 定 員 り 1 人 0 数 0 人	構 成 割 合
施設数	239		446		742		61	
医療機関	38.9	23.4%	44.3	37.9%	46.8	60.2%	43.4	40.9%
他の介護保険施設	16.0	9.6%	15.0	12.9%	8.8	11.2%	13.4	12.6%
自宅等	96.7	58.2%	47.3	40.5%	13.6	17.4%	34.4	32.4%
死亡	11.2	6.8%	8.3	7.1%	8.0	10.3%	14.0	13.2%
その他	3.3	2.0%	1.8	1.6%	0.7	0.8%	1.0	0.9%
計	166.1	100.0%	116.7	100.0%	77.8	100.0%	106.1	100.0%

※【再掲】図表 34 は図表 32 について、退所先の分類ごとの合算値を再掲。小数点第 2 位の値により、図表 32 の合計と数値が合わない箇所がある。

② 入所期間別退所者数

定員 100 人あたりの退所者数（平成 28 年 7 月～29 年 6 月の 1 年間（ショートステイを除く））を入所期間別に集計した。いずれの施設類型においても、「1 月を越えて入所していた者」が 9 割を占めていたが、「1～13 日（2 週間未満）」や「14 日～1 月以内（2 週間以上 1 月以内）」も約 7～12% ずつ存在した。

図表 35 退所者（死亡退所を含む、ショートステイを除く）の入所期間別人数
（入所定員 100 人あたり／年）【施設票 問 6】

	在宅強化型		従来型 (加算有り)		従来型 (加算無し)		療養型・ 療養強化型	
	あ 定 員 り 1 人 0 数 0 人	構 成 割 合	あ 定 員 り 1 人 0 数 0 人	構 成 割 合	あ 定 員 り 1 人 0 数 0 人	構 成 割 合	あ 定 員 り 1 人 0 数 0 人	構 成 割 合
施設数	234		430		723		59	
① 1～13日(2週間未満)	4.5	2.8%	3.9	3.5%	3.7	4.9%	4.6	4.6%
② 14日～1月以内(2週間以上1月以内)	7.1	4.4%	5.6	4.9%	5.1	6.7%	5.5	5.5%
③ 1月を越えて入所していた者	147.5	92.7%	104.1	91.6%	66.8	88.3%	89.4	89.9%
計	159.1	100.0%	113.6	100.0%	75.7	100.0%	99.5	100.0%

※無回答の調査票を除いて集計した。

③ 入所期間1月以内の退所者の入所当初の主たる利用目的

入所期間が1月以内で退所に至った者（ショートステイを除く）の入所当初の主たる利用目的を定員100人あたりとして集計した。

「その他」を除き最も多かった利用目的を施設類型別にみると、「在宅強化型」では「在宅復帰を目指したりハビリを行うため」39.5%、「従来型（加算あり）」および「従来型（加算無し）」では「特養等への入所調整のため」（それぞれ27.3%、26.4%）であった。

図表 36 入所期間1月以内の退所者（ショートステイを除く）の入所当初の主たる利用目的（入所定員100人あたり／年）【施設票 問6】

	在宅強化型		従来型 (加算有り)		従来型 (加算無し)		療養型・ 療養強化型	
	あ 定 員 1 人 0 数 0 人	構 成 割 合	あ 定 員 1 人 0 数 0 人	構 成 割 合	あ 定 員 1 人 0 数 0 人	構 成 割 合	あ 定 員 1 人 0 数 0 人	構 成 割 合
施設数	200		341		554		40	
① 在宅復帰を目指したりハビリを行うため	4.7	39.5%	3.1	31.1%	1.6	16.7%	1.5	17.6%
② 在宅復帰に向けて居宅サービス等を調整するため	0.7	6.0%	0.5	5.2%	0.3	3.3%	0.3	3.7%
③ レスパイトを行うため	1.6	13.1%	1.1	11.4%	0.9	9.6%	0.4	4.4%
④ 特養等への入所調整のため	1.7	14.5%	2.7	27.3%	2.6	26.4%	2.8	32.5%
⑤ 認知症に対応したりハビリ・ケアを行うため	0.3	2.9%	0.4	3.7%	0.6	6.3%	0.5	5.4%
⑥ 看取りを行うため	0.9	7.5%	0.5	5.4%	0.6	5.7%	0.7	8.5%
⑦ その他	2.0	16.5%	1.6	16.0%	3.1	32.1%	2.4	27.8%
計	12.0	100.0%	10.0	100.0%	9.7	100.0%	8.6	100.0%

※1月以内に退所に至った者が0人の施設や無回答の調査票は除いて集計した。

※⑦その他には、「入所当初の主たる利用目的」ではなく「退所理由」を回答している誤回答が多数を占めていた。

(2) 医療機関への退所者

① 医療機関への退所者のうち主たる傷病名が肺炎であった者

医療機関へ退所した者のうち主たる傷病名が肺炎であった者は、いずれの施設類型においても入所定員 100 人あたり年間 10 人程度おり、医療機関への退所者数に占める割合は 23～27% であった。うち誤嚥性肺炎による退所は半数を占めており、医療機関への退所者のおよそ 1 割に該当した。

図表 37 医療機関への退所者のうち主たる傷病名が肺炎であった者（入所定員 100 人あたり／年）
【施設票 問 7】

	全体		在宅強化型		従来型 (加算有り)		従来型 (加算無し)		療養型・ 療養強化型	
	あ 定 員 1 人 0 数 0 人	構 成 割 合	あ 定 員 1 人 0 数 0 人	構 成 割 合	あ 定 員 1 人 0 数 0 人	構 成 割 合	あ 定 員 1 人 0 数 0 人	構 成 割 合	あ 定 員 1 人 0 数 0 人	構 成 割 合
施設数	1,294		205		385		626		47	
退所者数	104.1	-	167.2	-	115.8	-	77.3	-	103.0	-
医療機関への退所者数	44.4	-	38.8	-	43.4	-	46.8	-	40.7	-
肺炎による退所者数	10.6	23.9%	9.3	23.9%	10.8	25.0%	10.8	23.1%	11.0	26.9%
うち、誤嚥性肺炎による退所者数	5.2	11.8%	5.2	13.3%	5.5	12.6%	5.1	10.9%	5.0	12.3%
誤嚥性肺炎は初発	1.2	-	1.0	-	1.1	-	1.3	-	0.9	-
誤嚥性肺炎は2回目以上	2.0	-	2.3	-	2.1	-	1.8	-	2.3	-
回数不明	2.0	-	1.8	-	2.2	-	2.0	-	1.7	-

※無回答の調査票を除いて集計した。

※退所者数・医療機関への退所者数は問 6 の設問の集計であるが、本設問の有効回答にあわせて算出しなおしたため、図表 32 とは値が異なる。

※構成割合は、医療機関への退所者数に占める割合

※誤嚥性肺炎の発症回数別の内訳人数は、小数点第 2 位を四捨五入しているため、合計しても「誤嚥性肺炎による退所者数」と合わない箇所がある。

② 医療機関への退所者のうち主たる傷病名が骨折であった者

医療機関へ退所した者のうち主たる傷病名が骨折であった者は、いずれの施設類型においても入所定員 100 人あたり年間 3 人弱発生しており、医療機関への退所者数に占める割合は 4～7%存在した。骨折の部位としては下肢が最も多く発生していた。

図表 38 医療機関への退所者のうち主たる傷病名が骨折であった者
(入所定員 100 人あたり/年)【施設票 問 7】

	在宅強化型		従来型 (加算有り)		従来型 (加算無し)		療養型・ 療養強化型	
	あ 定 員 1 人 0 数 0 人	構 成 割 合	あ 定 員 1 人 0 数 0 人	構 成 割 合	あ 定 員 1 人 0 数 0 人	構 成 割 合	あ 定 員 1 人 0 数 0 人	構 成 割 合
施設数	221		410		681		54	
退所者数	166.1	-	116.5	-	77.0	-	105.8	-
医療機関への退所者数	39.0	-	44.2	-	46.9	-	43.9	-
骨折による退所者数	2.8	7.1%	2.9	6.5%	2.6	5.5%	1.9	4.3%
上肢	0.2	-	0.2	-	0.3	-	0.1	-
下肢	2.3	-	2.5	-	2.2	-	1.7	-
その他	0.3	-	0.2	-	0.2	-	0.2	-

※無回答の調査票を除いて集計した。

※退所者数・医療機関への退所者数は問 6 の設問の集計であるが、本設問の有効回答にあわせて算出しなおしたため、図表 32 とは値が異なる。

※構成割合は、医療機関への退所者数に占める割合

※退所者数は実人数、骨折の部位は複数回答としている。

③ 医療機関への退所者のうち1週間以内の短期入院ののちに再入所した者

医療機関へ退所した者のうち1週間以内の短期入院ののちに再入所した者は、入所定員100人あたり年間2～4人発生しており、医療機関への退所者数に占める割合は「在宅強化型」では5.3%、「従来型（加算あり）」では6.8%、「従来型（加算なし）」では8.5%であった。

1週間以内の短期入院を必要とした理由としては、「医療機関で行う必要のある専門的な検査入院」を理由とする者が多かった。「療養型・療養強化型」では「胃ろうの増設・交換等」に該当する者が多かった。

図表 39 医療機関へ退所者のうち1週間以内の短期入院ののちに再入所した者
(入所定員100人あたり/年)【施設票 問7】

	在宅強化型		従来型 (加算有り)		従来型 (加算無し)		療養型・ 療養強化型	
	あ 定 員 り 1 人 0 数 0 人	構 成 割 合	あ 定 員 り 1 人 0 数 0 人	構 成 割 合	あ 定 員 り 1 人 0 数 0 人	構 成 割 合	あ 定 員 り 1 人 0 数 0 人	構 成 割 合
施設数	219		407		678		53	
退所者数	165.4	-	116.3	-	77.0	-	104.6	-
医療機関への退所者数	38.6	-	44.2	-	46.8	-	43.8	-
1週間以内の短期入院により再入所となった人数	2.0	5.3%	3.0	6.8%	4.0	8.5%	3.9	8.8%
① 医療機関で行う必要のある専門的な検査入院	1.0	-	1.3	-	1.7	-	0.9	-
② 糖尿病等の教育入院	0.0	-	0.0	-	0.0	-	0.0	-
③ 悪性腫瘍に対する化学療法・ホルモン療法等	0.1	-	0.0	-	0.1	-	0.1	-
④ 胃ろうの造設、交換等	0.2	-	0.6	-	1.1	-	2.4	-
⑤ 認知症の専門治療	0.0	-	0.0	-	0.0	-	0.0	-
⑥ その他	0.8	-	1.0	-	1.0	-	0.5	-

【その他】
白内障等眼科手術
ペースメーカーの埋込手術・交換
ステント交換
肺炎・尿路感染症・蜂窩織炎等感染症の治療
輸血 等

※無回答の調査票を除いて集計した。

※退所者数・医療機関への退所者数は問6の設問の集計であるが、本設問の有効回答にあわせて算出しなおしたため、図表32とは値が異なる。

※1週間以内の短期入院により再入所となった理由別の内訳人数は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計しても「1週間以内の短期入院により再入所となった人数」と合わない箇所がある。

(3) 自宅等への退所者の入所前の居所別人数

自宅等への退所者の入所前の居所は、いずれの施設類型においても「自宅等」が最も多くなっていた。

なお、自宅等への退所者数は【再掲】として示しているように、「在宅強化型」では退所者の6割を占めるが、「従来型（加算あり）」では退所者の4割、「従来型（加算なし）」では退所者の2割であることとあわせて全体を捉える必要がある。

図表 40 自宅等への退所者の入所前の居所（入所定員 100 人あたり／年）【施設票 問 8】

	在宅強化型		従来型 (加算有り)		従来型 (加算無し)		療養型・ 療養強化型	
	あ 定 員 り 1 人 0 数 0 人	構 成 割 合	あ 定 員 り 1 人 0 数 0 人	構 成 割 合	あ 定 員 り 1 人 0 数 0 人	構 成 割 合	あ 定 員 り 1 人 0 数 0 人	構 成 割 合
施設数	226		426		682		57	
① 医療機関	33.7	34.6%	20.5	41.9%	6.5	43.1%	16.3	45.1%
② 介護保険施設	2.3	2.4%	1.9	3.8%	0.8	5.1%	3.0	8.2%
③ 自宅等	59.6	61.2%	25.5	52.1%	7.2	48.3%	16.6	45.9%
④ その他	1.7	1.7%	1.0	2.1%	0.5	3.4%	0.3	0.8%
計	97.3	100.0%	48.9	100.0%	15.0	100.0%	36.2	100.0%

※無回答の調査票や自宅等への退所者数が0人の調査票を除いて集計した。

図表 41 【再掲】退所後の居所別の退所者数（入所定員 100 人あたり）
（平成 28 年 7 月～29 年 6 月の 1 年間（ショートステイを除く）【施設票 問 6】

	在宅強化型		従来型 (加算有り)		従来型 (加算無し)		療養型・ 療養強化型	
	あ 定 員 り 1 人 0 数 0 人	構 成 割 合	あ 定 員 り 1 人 0 数 0 人	構 成 割 合	あ 定 員 り 1 人 0 数 0 人	構 成 割 合	あ 定 員 り 1 人 0 数 0 人	構 成 割 合
施設数	239		446		742		61	
医療機関	38.9	23.4%	44.3	37.9%	46.8	60.2%	43.4	40.9%
他の介護保険施設	16.0	9.6%	15.0	12.9%	8.8	11.2%	13.4	12.6%
自宅等	96.7	58.2%	47.3	40.5%	13.6	17.4%	34.4	32.4%
死亡	11.2	6.8%	8.3	7.1%	8.0	10.3%	14.0	13.2%
その他	3.3	2.0%	1.8	1.6%	0.7	0.8%	1.0	0.9%
計	166.1	100.0%	116.7	100.0%	77.8	100.0%	106.1	100.0%

※図表 41 は図表 34 の再掲。

4. 現在の入所者

(1) 平成 29 年 6 月 30 日 24 時時点の利用者数とその内訳

① 利用者数（実人数）

平成 29 年 6 月 30 日 24 時時点の定員 100 人あたり利用者数（ショートステイを除く）は「在宅強化型」84.2 人、「従来型（加算有り）」88.7 人、「従来型（加算無し）」91.1 人、「療養型・療養強化型」90.7 人であった。

図表 42 平成 29 年 6 月 30 日 24 時時点の利用者数（ショートステイを除く）【施設票 問 9】

	施設数	(利用者値数 平均)	(利用者値数 中央)	(利用者値数 最大)	(利用者値数 最小)	定員 100 人 あたり 利用者 数
全体	1,521	81.5	84	270	5	89.3
在宅強化型	238	74.6	79	158	12	84.2
従来型(加算有り)	449	80.7	84	185	18	88.7
従来型(加算無し)	741	85.0	88	270	13	91.1
療養型・療養強化型	60	72.3	72	182	5	90.7

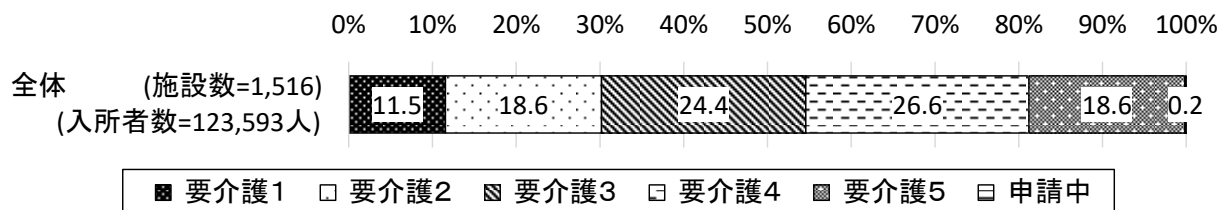
※無回答の調査票を除いて集計した。

② 入所者の要介護度別人数

入所者の要介護度別人数は「要介護4」26.6%が最も多く、ついで「要介護3」24.4%であった。（有効回答施設1,516施設の全入所者数から算出した割合）

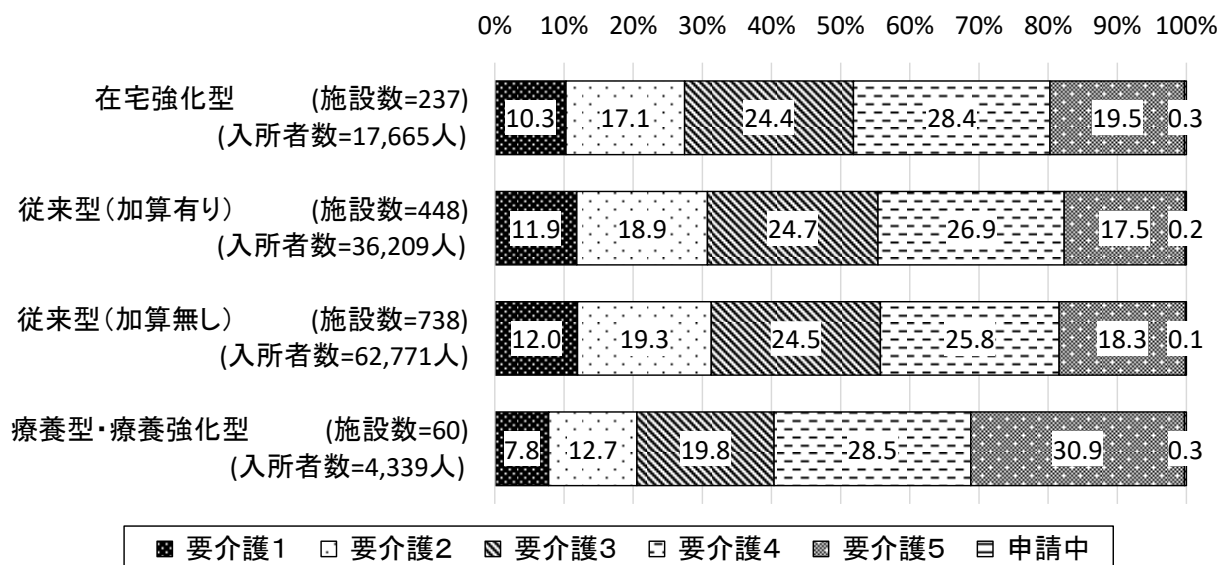
平均要介護度は、全体では3.2、「在宅強化型」では3.3、「従来型（加算有り）」では3.2、「従来型（加算無し）」では3.2、「療養型・療養強化型」では3.6となっており、「療養型・療養強化型」のみ高い結果であった。

図表 43 入所者の要介護度別人数【施設票 問9】



※無回答の調査票を除いて集計した。

図表 44 施設類型別 入所者の要介護度別人数【施設票 問9】



※無回答の調査票を除いて集計した。

図表 45 平均要介護度【施設票 問9】

全体	在宅強化型	従来型（加算有り）	従来型（加算無し）	療養型・療養強化型
3.22	3.30	3.19	3.19	3.62

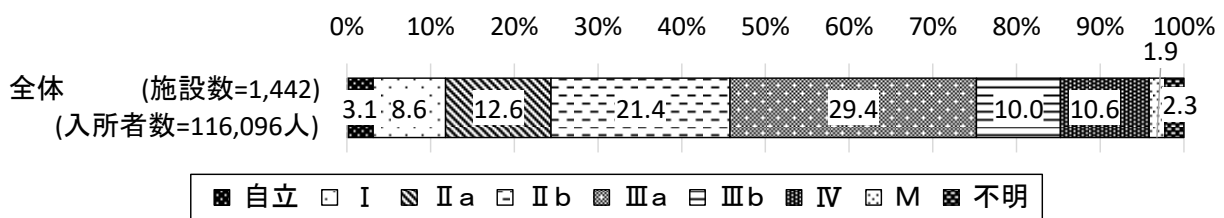
※平均要介護度は、申請中の者を分母から除いて算出した。

③ 入所者の認知症高齢者の日常生活自立度別人数

入所者の認知症高齢者の日常生活自立度別人数は「Ⅲa」29.4%が最も高く、ついで「Ⅱb」が21.4%であった。（有効回答施設1,442施設の全入所者数から算出した割合）

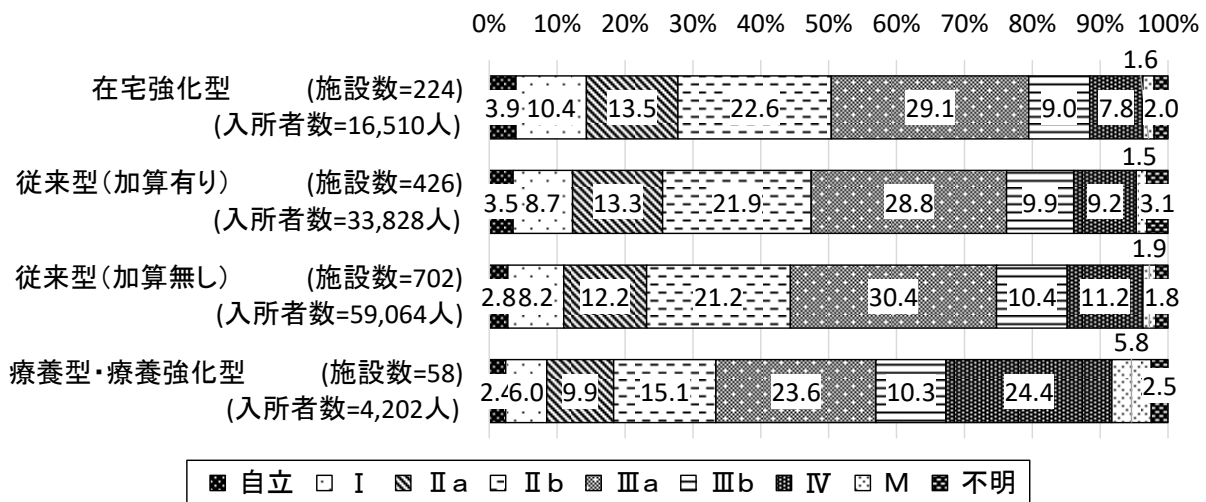
認知症高齢者の日常生活自立度別が「Ⅲb、Ⅳ、M」の割合は、全体では22.5%、「在宅強化型」では18.4%、「従来型（加算有り）」では20.6%、「従来型（加算無し）」では23.5%、「療養型・療養強化型」では40.5%となっており、「療養型・療養強化型」が特出して高い結果であった。

図表 46 入所者の認知症高齢者の日常生活自立度別人数【施設票 問9】



※無回答の調査票を除いて集計した。

図表 47 施設類型別 入所者の認知症高齢者の日常生活自立度別人数【施設票 問9】



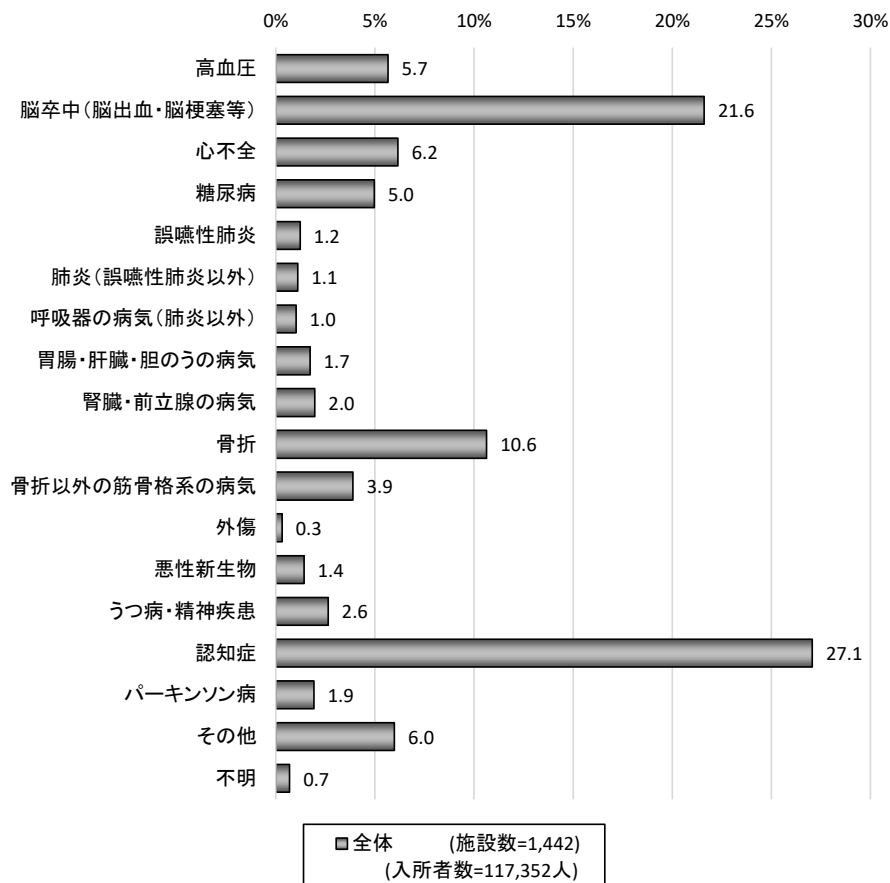
※無回答の調査票を除いて集計した。

④ 入所時の主病名別割合

平成 29 年 6 月 30 日時点の入所者の入所時の主病名割合は、「認知症」が 27.1%と最も多く、ついで「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」が 21.6%であった。

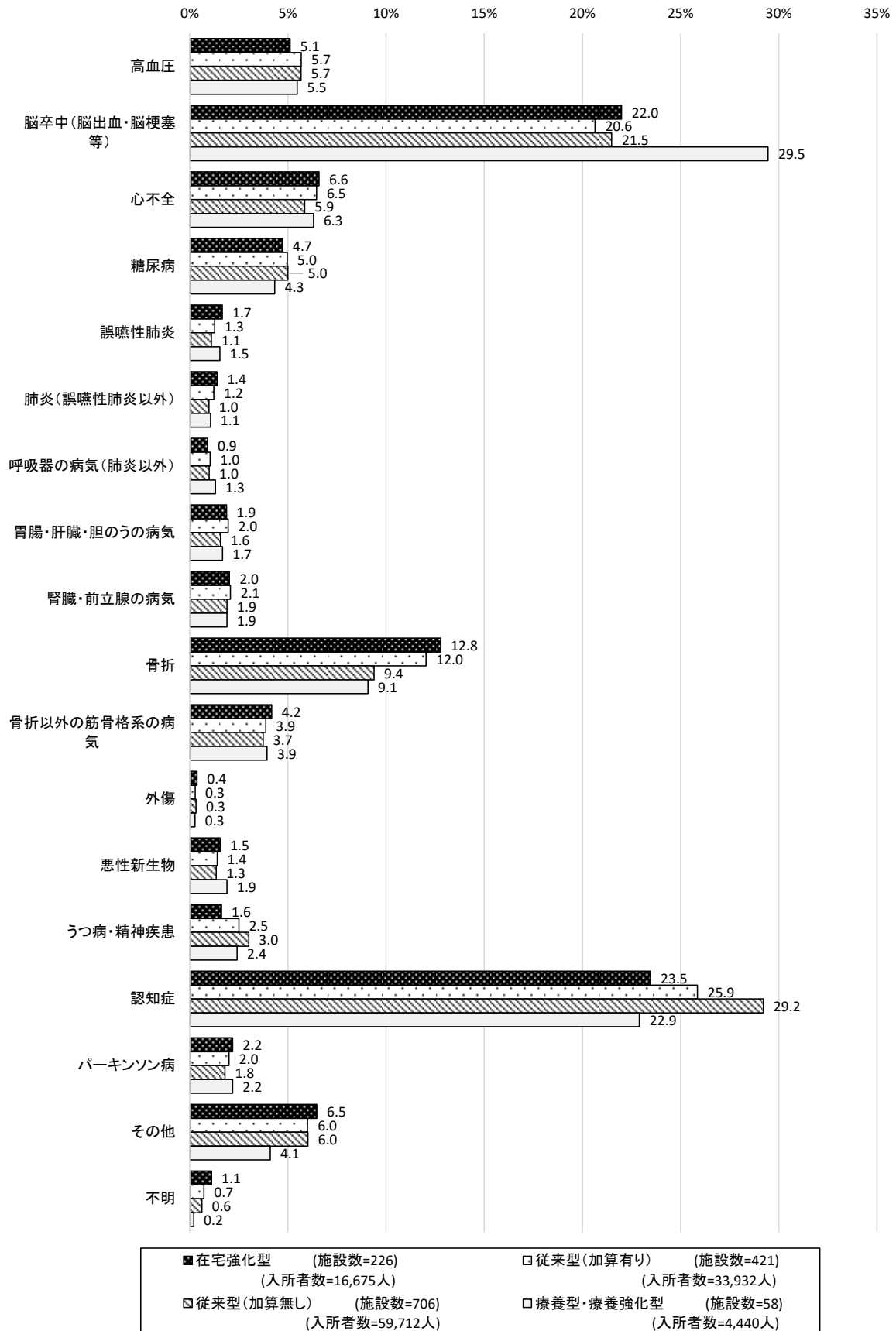
施設類型別の割合をみると、「在宅強化型」では「骨折」がやや多く、「従来型（加算無し）」では、「認知症」がやや多く、「療養型・療養強化型」では「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」がやや多いという特徴がみられた。

図表 48 入所時の主病名別割合【施設票 問 9】



※無回答の調査票を除いて集計した。

図表 49 施設類型別 入所時の主病名別割合【施設票 問9】



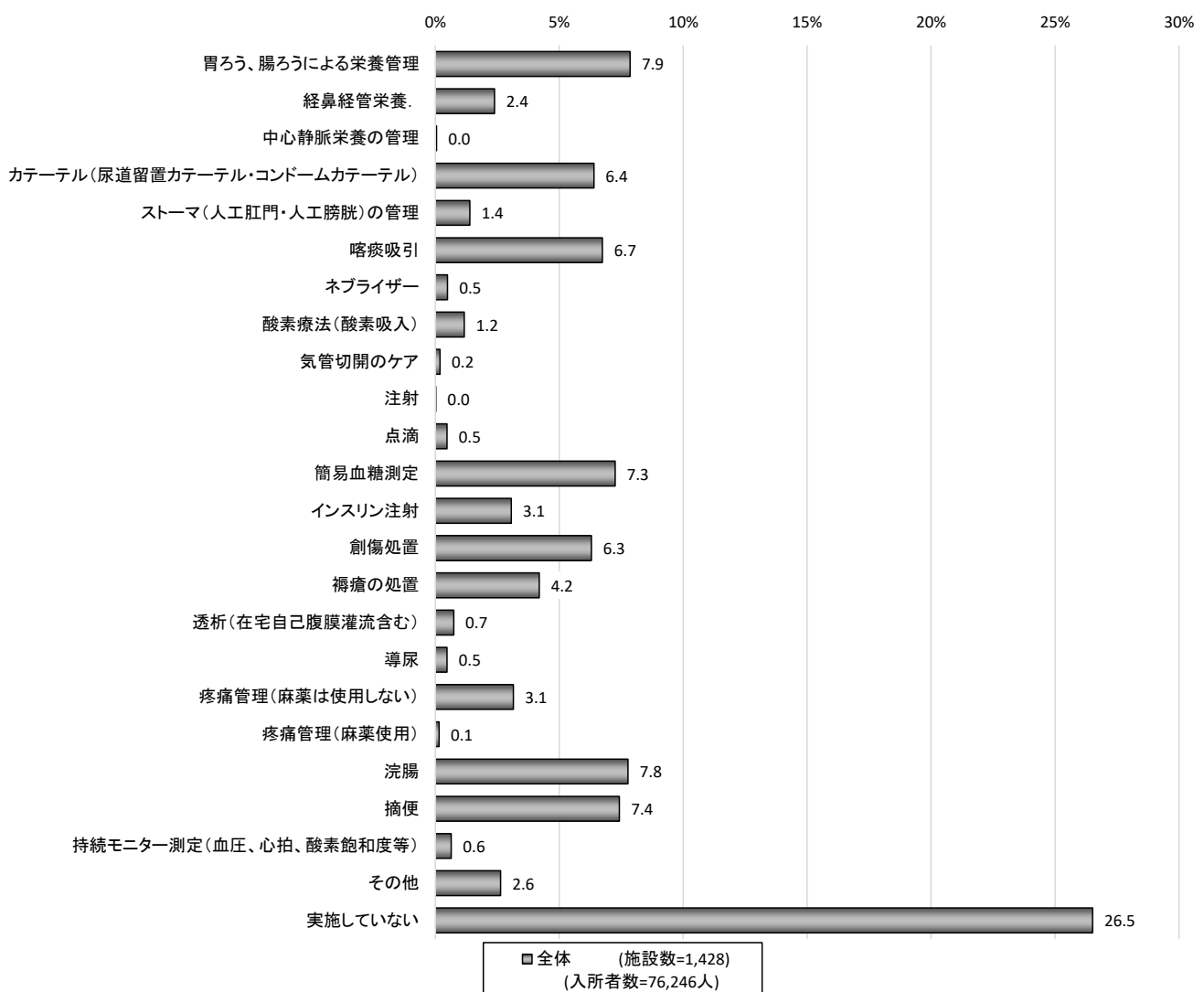
※無回答の調査票を除いて集計した。

⑤ 医療処置を実施している者の割合

平成 29 年 6 月 30 日時点の入所者のうち医療処置の実施についてみると、「実施していない」が 26.5%と最も多かった。実施されている医療処置は「胃ろう、腸ろうによる栄養管理」、「カテーテル（尿道留置カテーテル・コンドームカテーテル）」、「喀痰吸引」、「簡易血糖測定」、「創傷処置」、「浣腸」、「排便」が 1 割弱の割合でみられた。

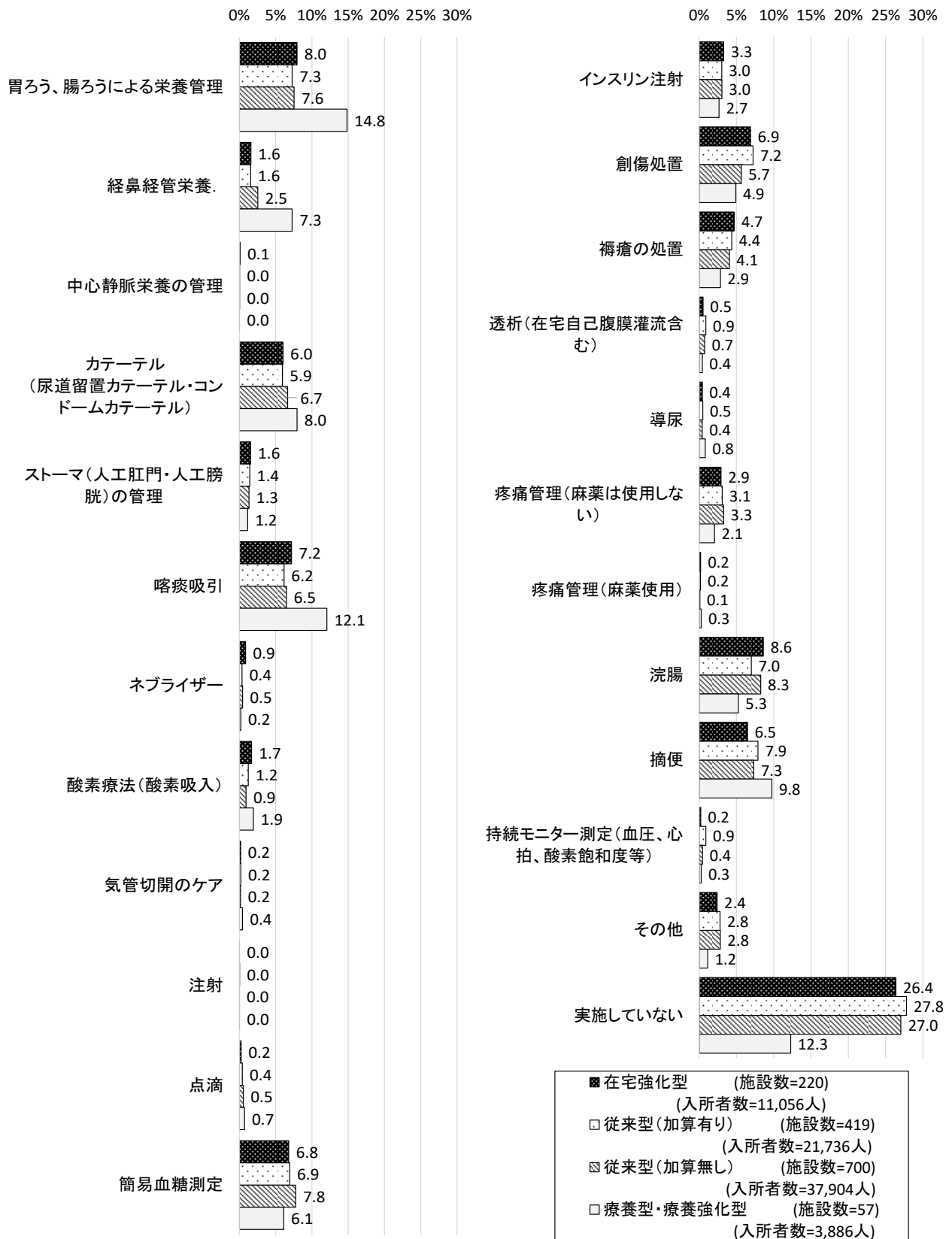
施設類型別にみると、「療養型・療養強化型」では「胃ろう、腸ろうによる栄養管理」、「経鼻経管栄養」、「喀痰吸引」の割合がやや多い結果となっており、「在宅強化型」、「従来型（加算有り）」、「従来型（加算無し）」では大きな違いはみられなかった。

図表 50 医療処置を実施している者の割合【施設票 問9】



※無回答の調査票を除いて集計した。

図表 51 施設類型別 医療処置を実施している者の割合【施設票 問9】



※無回答の調査票を除いて集計した。

(2) 1年以上の長期入所者

① 1年以上の長期入所者数と在宅介護力

平成29年6月30日24時時点の入所者（ショートステイを除く）のうち定員100人あたりの「入所から1年以上が経過している者の人数」は、「在宅強化型」では21.4人、「従来型（加算有り）」では34.5人、「従来型（加算無し）」では50.0人であった

また、「入所から1年以上が経過している者」について在宅の介護力別の人数を尋ねたところ、いずれの施設類型においても「同居家族はいるが介護力は期待できない」の回答が多くなっていた。

図表 52 1年以上の長期入所者数と在宅介護力（入所定員100人あたり）【施設票 問10】

	在宅強化型		従来型 (加算有り)		従来型 (加算無し)		療養型・ 療養強化型	
	あたり 1人 0人 数 0人	構成 割合	あたり 1人 0人 数 0人	構成 割合	あたり 1人 0人 数 0人	構成 割合	あたり 1人 0人 数 0人	構成 割合
施設数	224		407		634		50	
入所から1年以上が経過している者の人数	21.4	-	34.5	-	50.0	-	41.0	-
① 同居家族による介護力は期待できる	1.4	6.6%	2.7	7.7%	3.1	6.1%	2.4	5.8%
② 同居家族はいるが介護力は期待できない	12.6	58.9%	18.9	54.7%	28.8	57.6%	28.4	69.3%
③ 同居家族はいない(独居)が、 親族などの介護力が期待できる	1.0	4.8%	1.4	4.1%	1.5	3.0%	0.7	1.8%
④ 同居家族はおらず(独居)、 介護力が期待できない	6.1	28.4%	11.0	32.0%	15.8	31.6%	9.3	22.8%

※無回答の調査票を除いて集計した。

※在宅の介護力別の内訳人数は、わずかに無回答が存在するため、合計しても「入所から1年以上が経過している者の人数」と合わない箇所がある。

② 1年以上の長期入所者における退所の困難理由

「入所から1年以上が経過している者」について退所が困難である理由を尋ねた。

施設類型別にみると、「在宅強化型」では「特養の入所待ちをしている」38.1%、「家族の希望」25.0%「認知症が重度である」20.6%の順に多く、「従来型（加算有り）」では「特養の入所待ちをしている」34.7%、「家族の希望」29.6%、「認知症が重度である」21.0%の順に多く、「従来型（加算無し）」では、「家族の希望」35.5%、「特養の入所待ちをしている」28.8%、「認知症が重度である」26.5%の順に多くなっていた。

図表 53 1年以上の長期入所者における退所の困難理由（入所定員100人あたり）【施設票 問10】

	在宅強化型		従来型 (加算有り)		従来型 (加算無し)		療養型・ 療養強化型	
	あ 定 員 1 人 0 数 0 人	構 成 割 合	あ 定 員 1 人 0 数 0 人	構 成 割 合	あ 定 員 1 人 0 数 0 人	構 成 割 合	あ 定 員 1 人 0 数 0 人	構 成 割 合
施設数	224		407		634		50	
入所から1年以上が経過している者の人数	21.4	-	34.5	-	50.0	-	41.0	-
① 認知症が重度である	4.4	20.6%	7.2	21.0%	13.3	26.5%	14.2	34.7%
② 自宅等では療養困難な医療処置を必要とする	1.6	7.3%	2.1	6.0%	2.9	5.8%	10.5	25.7%
③ 自宅等では療養困難な精神疾患を有する	0.3	1.6%	0.9	2.6%	1.9	3.7%	1.3	3.1%
④ 特養の入所待ちをしている	8.2	38.1%	12.0	34.7%	14.4	28.8%	12.5	30.5%
⑤ 在宅生活を支える介護サービスが乏しい	1.1	5.1%	1.8	5.2%	3.2	6.5%	2.6	6.4%
⑥ 家族の希望	5.3	25.0%	10.2	29.6%	17.7	35.5%	14.4	35.1%
⑦ その他	1.4	6.7%	2.1	6.1%	2.3	4.7%	0.9	2.1%

【②自宅等では療養困難な医療処置】
 経管栄養（胃ろう、経鼻経管栄養）
 （頻回の）喀痰吸引
 インスリン注射
 尿道カテーテル
 （重度の）褥瘡の処置
 点滴／ターミナルケア
 在宅酸素療法 等

【⑦その他】
 家族の介護力が低い／独居
 経済的困難
 グループホーム等、特養以外の入所待ち
 リハビリの継続希望
 既にターミナルケアの対応に入っている
 等

※無回答の調査票を除いて集計した。

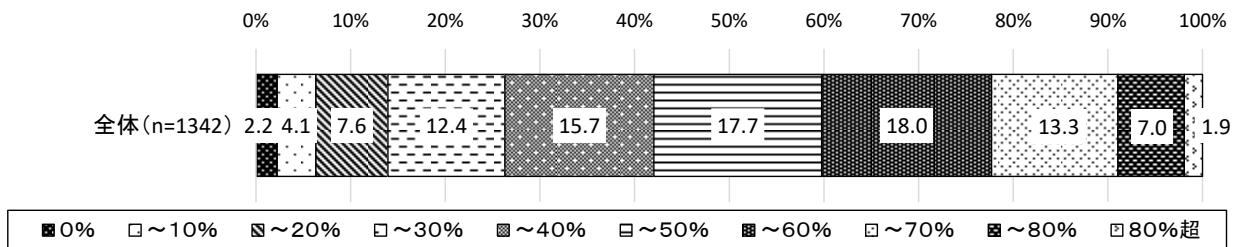
※退所が困難である理由別の内訳人数は、複数回答で回答した施設があったため、合計しても「入所から1年以上が経過している者の人数」と合わない箇所がある。

③ 1年以上の長期入所者の割合の分布

「入所から1年以上が経過している者」が入所者に占める割合を施設ごとに算出し、退所が困難である理由を尋ねた。

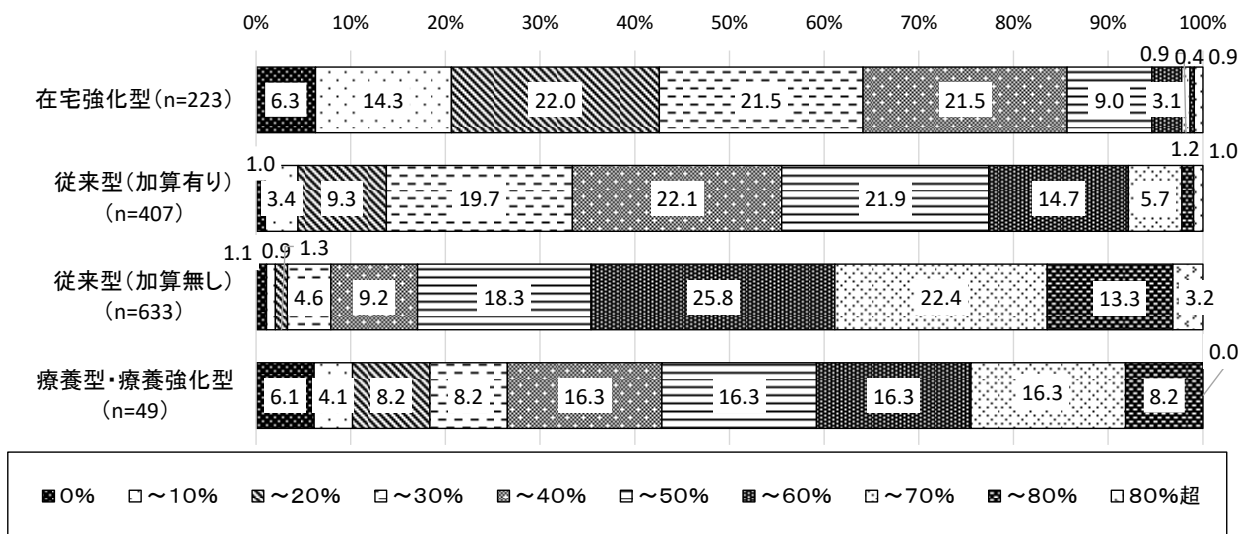
施設類型別にみると、1年以上の長期入所者が全体の入所者の50%を超えている施設の割合は、「在宅強化型」では5.3%だが、「従来型（加算有り）」では22.6%、「従来型（加算無し）」では64.7%となっていた。

図表 54 1年以上の長期入所者の入所者に占める割合の分布【施設票 問10】



※ 1年以上の長期入所者数と、全体の入所者数の両方に回答していた施設を集計対象とした。

図表 55 施設類型別 1年以上の長期入所者の入所者に占める割合の分布【施設票 問10】



※ 1年以上の長期入所者数と、全体の入所者数の両方に回答していた施設を集計対象とした。

④ 在宅復帰の見込みが立たない事例や阻害する要因の具体例

在宅復帰の見込みが立たない事例や在宅復帰を阻害する要因の具体例を自由回答で尋ねたところ、1036 件の回答を得た。在宅復帰を支える家族の介護力が期待できないことを記載している回答が多かった。回答のうち、一部の内容について取り上げて示す。

図表 56 在宅復帰の見込みが立たない事例や阻害する要因の具体例（自由回答）【施設票 問 10】

回答内容の抜粋（代表的な 6 施設分の回答を紹介）	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族等の介護力が望めず、家族も希望しない。 ・ 低所得者が多く、サ高住や有料老人ホームなどの居住系施設への方向性が困難。 ・ 地域のサービス（24 時間対応）がなく、在宅を支える支援が少ない。 ・ インフォーマルサービスや互助的支援の浸透も不十分。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害の残存により在宅は困難。 ・ 経済的理由で有料老人ホームへの支払い困難。 ・ 特養の申請を行ったが順番が遠く早期入所は困難。 ・ 入院期間が迫り、医療機関での継続療養困難。 <p>上記のような理由により老健入所を希望される方が殆どであり、在宅に向けての利用目的は極少数。回復期病院で在宅復帰が困難であったケース、又、在宅生活に限界を感じ、事故が起こる前に安全を確保したいというケースが多く、「在宅は難しい」が前提となっている為、「在宅復帰」のモチベーションを引き出すのが困難と感ずることが多い。</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自宅が築 100 年以上経っており段差が多く住宅改修も困難であり同居家族がいても高齢で介護できない。 ・ 家族が遠方に住んでおり、仕事をしている為常時の介護ができない。 ・ 妻がうつ病であり、在宅介護をすることに對し家族に不安があった。面会時などに状態を報告し、在宅介護サービスの活用や介護方法の提案などにより在宅復帰への取り組みを試みたが、他家族の協力も得られず在宅復帰に至らなかった。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・ リハビリを行いADLが向上しても、在宅へ戻れる程の成果が出ない。 ・ 家族のリハビリに対する期待が大きすぎて、望むまで向上する事が出来ない。 ・ 本人が在宅を希望していても、家族の方で、本人が居ない（楽な）生活に慣れてしまい受入れてもらえない。
5	<p>当施設入所の平均介護度が 4 を超えており退所先となるのが、特養や病院へのケースが多い。また、平均年齢も 90 歳となっている。これを踏まえて考察すると、まずは老老介護で住宅での介護力がないことが要因の一つにあげられる。次に、算定対象となる有料老人ホームやグループホームへ入所することが経済的に困難な利用者が多い。また、重度要介護者の受入れも不可となっている。</p>
6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 老健以降の退所先で、「どの程度リハビリテーションを行えるか」心配される家族が多い。 ・ 家族はいるものの関わりが希薄であり、次施設の申込等を説明しても動いて貰えない。 ・ 経済的要素にて特養のみを退所希望とされるも、本人の認知症や医療処置等を理由に断られ続けてしまう。 ・ 介護度は低い、住環境や経済的要素を理由に在宅に帰れず、他施設にも案内しにくい状況がある。

⑤ 在宅強化型の届出や在宅復帰・療養支援機能加算の算定が困難となる具体的理由

従来型（加算あり・なし）の施設に対して、介護報酬上の在宅強化型を届け出たり、在宅復帰・療養支援機能加算の算定をすることが困難である場合の具体的な理由を自由回答で尋ねたところ、557件の回答を得た。在宅復帰率の基準（在宅強化型50%超、加算型30%超）やベッド回転率の基準（在宅強化型10%以上、加算型5%以上）を達成することが困難であるとの回答や、重度者の利用が多いことを記載している回答などがみられた。回答のうち、一部の内容について取り上げて示す。

図表 57 在宅復帰の見込みが立たない事例や阻害する要因の具体例（自由回答）【施設票 問 10】

回答内容の抜粋（代表的な10施設分の回答を紹介）	
1	・冬の在宅復帰が望めないため、在宅復帰率が維持できない。
2	・当施設の入所者の約半数が透析患者であり、体調不良や検査目的にて入院退所される利用者が多く、在宅復帰率が上がらない。 ・自宅の環境整備やご家族の都合、介護力を整えることに時間を要し、復帰時期が遅れる。
3	・待機者数と実待機者数とが乖離しており、稼働率の安定を優先している。 ・医療依存度の高い入所者、不安定な状態の利用者が多く、入院（復帰率の分母）が多い。
4	・本人状況だけでなく、家族状況も考慮。調整支援が必要。 ・稼働率を維持しながらの取り組みであり、介護現場との調整が必要。 ・転倒、軽落リスクの高い利用者が増え、又、医療面のフォローが必要な利用者も増えている。
5	・ベッド回転率はそれなりであるが、入院退所が多く、加算算定に結びついていない。
6	・ベッドの空床がうまらない時が中途半端に出て、ロスになる。
7	・以前は在宅強化型だったが、要介護4、5の割合を保つ事が困難となり加算型にした。要介護4、5の人はすぐに特養に入所される為、安定した確保が難しい。
8	・ベッド回転率の算定要件がなかなか満たせない。稼働率を保ちながら、回転率をあげるのが非常に困難。待機者がほとんど居ないので、苦労している。
9	・在宅復帰・在宅療養支援機能加算を算定しているが、感染症などで、入院件数が増えると、算定できなくなる。急な入院に合わせて、在宅復帰件数を増やすことができない。
10	・在宅復帰者を毎月コンスタントに出すことが難しい

5. 施設における取り組み

(1) 利用者の入所前後の関係者との連携状況

① 利用者の入所前後の入所前居所との連携状況

利用者の入所前後に入所前の居所との連携を普段から行っているか尋ねたところ、いずれの施設類型においても、医療機関からの入所の際には「医療機関の医療ソーシャルワーカーなどと施設の支援相談員・介護支援専門員などの間で情報共有・引継を行っている」、在宅からの入所の際には「居宅ケアマネジャーと施設の支援相談員・介護支援専門員などの間で情報共有・引継を行っている」割合が9割を超えていた。

図表 58 利用者の入所前後の入所前居所との連携（複数回答）【施設票 問11】

	施設数	医療機関からの入所				在宅からの入所		その他		無回答
		1 共有・機関引継の医師と施設の管理医師の間で情報共有・引継を行っている	2 情報共有・引継を行っている	3 行っている	4 情報共有・引継を行っている	5 有・かかりつけの医師と施設の管理医師の間で情報共有・引継を行っている	6 行っている	7 その他	8 1～7はいずれもなし	
全体	1529	998 65.3%	1039 68.0%	934 61.1%	1414 92.5%	903 59.1%	1414 92.5%	41 2.7%	8 0.5%	68 4.4%
在宅強化型	239	160 66.9%	164 68.6%	157 65.7%	227 95.0%	153 64.0%	226 94.6%	11 4.6%	0 0.0%	10 4.2%
従来型(加算有り)	450	286 63.6%	302 67.1%	272 60.4%	417 92.7%	259 57.6%	416 92.4%	14 3.1%	1 0.2%	21 4.7%
従来型(加算無し)	745	484 65.0%	503 67.5%	439 58.9%	681 91.4%	429 57.6%	682 91.5%	15 2.0%	7 0.9%	33 4.4%
療養型・療養強化型	62	41 66.1%	44 71.0%	42 67.7%	57 91.9%	39 62.9%	58 93.5%	1 1.6%	0 0.0%	4 6.5%

② 入所前後訪問指導加算の算定状況

入所前後訪問指導加算（Ⅰ）（Ⅱ）の算定有無について尋ねた。施設類型別にみると、入所前後訪問指導加算（Ⅰ）の算定割合は「在宅強化型」「従来型（加算有り）」「従来型（加算無し）」の順に 22.6%、20.4%、7.2%となっていた。また、「入所前後訪問指導加算（Ⅱ）」も同様に 28.0%、15.3%、3.9%となっていた。

図表 59 入所前後訪問指導加算の算定有無および入所定員 100 人あたり算定人数（平成 29 年 6 月）【施設票 問 11】

	施設数	入所前後訪問指導加算 （Ⅰ）	入所前後訪問指導加算 （Ⅱ）
全体	1529	218 14.3%	171 11.2%
在宅強化型	239	54 22.6%	67 28.0%
従来型（加算有り）	450	92 20.4%	69 15.3%
従来型（加算無し）	745	54 7.2%	29 3.9%
療養型・療養強化型	62	4 6.5%	3 4.8%

	施設数	入所前後訪問指導加算 （Ⅰ）の算定人数
全体	200	3.1
在宅強化型	53	4.1
従来型（加算有り）	82	2.6
従来型（加算無し）	51	2.3
療養型・療養強化型	10	6.2

	施設数	入所前後訪問指導加算 （Ⅱ）の算定人数
全体	157	3.0
在宅強化型	63	3.9
従来型（加算有り）	62	2.6
従来型（加算無し）	27	2.2
療養型・療養強化型	2	2.5

※加算を算定していると回答した施設のうち、算定人数に回答のあった施設のみを集計した。

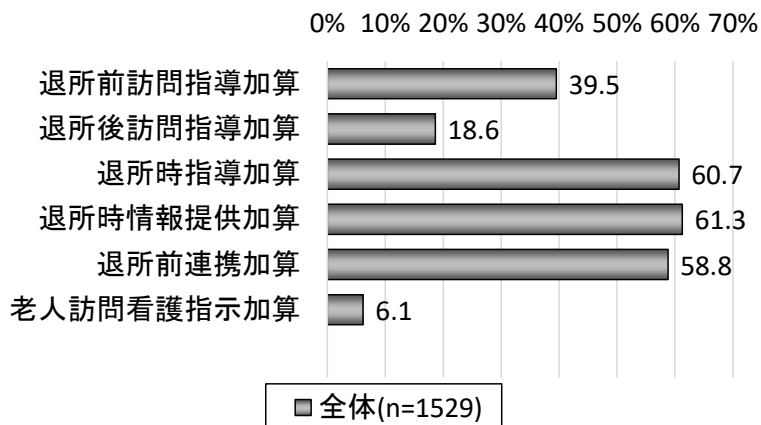
(2) 利用者の退所前後の関係者との連携状況

① 退所時指導等加算の算定状況（平成 29 年 6 月の実績）

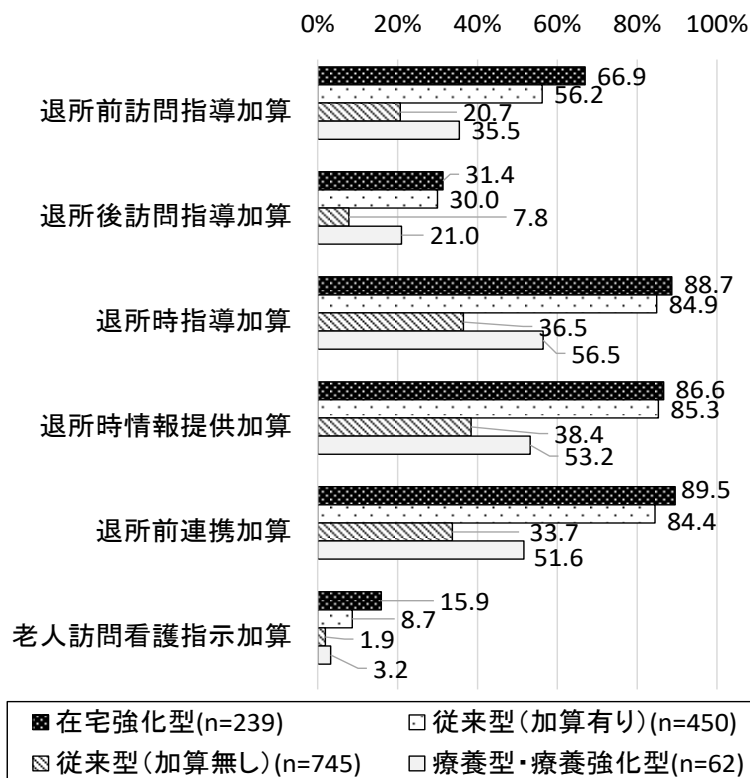
退所時指導等加算の算定有無について尋ねた。「在宅強化型」「従来型（加算有り）」「従来型（加算無し）」の3施設類型を比較すると、いずれの加算についても算定「有」の割合は「在宅強化型」>「従来型（加算有り）」>「従来型（加算無し）」の順に高くなっていた。

特に「退所時指導加算」「退所時情報提供加算」「退所前連携加算」については、「在宅強化型」「従来型（加算有り）」では8割以上が算定していた。

図表 60 退所時指導等加算の算定割合【施設票 問 12】



図表 61 施設類型別 退所時指導等加算の算定割合【施設票 問 12】



退所時指導等加算を算定している場合の算定人数について、入所定員 100 人あたりの人数として集計した。「在宅強化型」「従来型（加算有り）」「従来型（加算無し）」の 3 施設類型を比較すると、いずれの加算についても算定人数は「在宅強化型」>「従来型（加算有り）」>「従来型（加算無し）」の順に高くなっていた。

図表 62 退所時指導等加算の入所定員 100 人あたり算定人数【施設票 問 12】

	退所前訪問指導加算		退所後訪問指導加算		退所時指導加算	
	施設数	算定人数	施設数	算定人数	施設数	算定人数
全体	583	2.6	272	3.0	888	4.6
在宅強化型	158	3.6	75	4.4	208	8.5
従来型（加算有り）	242	2.4	127	2.6	371	4.3
従来型（加算無し）	148	1.9	55	2.0	253	2.4
療養型・療養強化型	21	3.7	12	3.1	31	4.2

	退所時情報提供加算		退所前連携加算		老人訪問看護指示加算	
	施設数	算定人数	施設数	算定人数	施設数	算定人数
全体	897	4.7	866	4.6	87	1.4
在宅強化型	203	8.1	211	8.1	38	1.7
従来型（加算有り）	373	4.7	370	4.2	34	1.3
従来型（加算無し）	267	2.5	234	2.3	12	1.3
療養型・療養強化型	29	4.5	30	3.8	2	0.7

	【再掲】定員100人あたり退所者数		
	施設数	退所者数	自宅等への退所者数
全体	918	8.7	3.2
在宅強化型	132	14.3	8.6
従来型（加算有り）	280	9.7	4.2
従来型（加算無し）	444	6.4	1.2
療養型・療養強化型	34	9.4	3.1

※加算を算定していると回答した施設のうち、算定人数に回答のあった施設のみを集計した。

※【再掲】定員 100 人あたり退所者数は問 4 の集計値であり、回答施設数が異なるため参考値として再掲。

② 退所時指導等加算の算定要件に該当しない訪問・指導状況

利用者の退所時の連携について、退所時指導等加算の算定要件に該当しない場合や、算定要件を超えての訪問・指導を普段から行っているかについて尋ねたところ、入所期間が1月に満たない入所者に対して「退所時情報提供加算の要件と同様の紹介・情報提供を行っている」が44.7%、「退所前連携加算の要件と同様の連携・調整を行っている」が37.6%であった。

「在宅強化型」「従来型（加算有り）」「従来型（加算無し）」の3施設類型を比較すると、いずれの取組についても実施割合は「在宅強化型」>「従来型（加算有り）」>「従来型（加算無し）」の順に高くなっていた。

図表 63 退所時指導等加算の算定要件に該当しない訪問・指導の実施（複数回答）

【施設票 問12】

	施設数	入所期間が1月に満たない入所者に対する取組					加算の算定要件を超える取組			その他		無回答
		1 退所前 訪問・ 指導を 行っ ている 要件と 同様の	2 退所後 訪問・ 指導を 行っ ている 要件と 同様の	3 退所時 指導を 行っ ている 要件と 同様の 指導	4 退所時 情報提 供を行 っている 要件と 同様の	5 退所前 連携を 行っ ている 要件と 同様の 連	6 健康退 所は3 回以上 の居宅 等への 訪問・ 老	7 退所後 指導を 1日以 降に居 宅等へ の訪	8 行名退 所（2 職種以 上）で 訪問・ 指導を 複数	9 その他	10 いずれ もなし	
全体	1529	223 14.6%	99 6.5%	484 31.7%	684 44.7%	575 37.6%	32 2.1%	47 3.1%	451 29.5%	31 2.0%	434 28.4%	139 9.1%
在宅強化型	239	56 23.4%	28 11.7%	110 46.0%	148 61.9%	138 57.7%	12 5.0%	15 6.3%	101 42.3%	11 4.6%	30 12.6%	22 9.2%
従来型(加算有り)	450	75 16.7%	29 6.4%	152 33.8%	221 49.1%	184 40.9%	10 2.2%	19 4.2%	167 37.1%	11 2.4%	95 21.1%	34 7.6%
従来型(加算無し)	745	79 10.6%	36 4.8%	194 26.0%	280 37.6%	220 29.5%	6 0.8%	10 1.3%	156 20.9%	8 1.1%	283 38.0%	74 9.9%
療養型・療養強化型	62	7 11.3%	3 4.8%	15 24.2%	23 37.1%	20 32.3%	3 4.8%	3 4.8%	17 27.4%	1 1.6%	17 27.4%	6 9.7%

(3) 認知症のある利用者の受け入れ状況

① 認知症専門棟の有無

認知症専門棟の有無について尋ねたところ、「あり」が32.5%、「なし」が66.6%であり、施設類型別には大きな違いはみられなかった。

認知症専門棟を有している場合の認知症専門棟の定員数は平均40.6人となっていた。

図表 64 認知症専門棟の有無【施設票 問13】

	施設数	認知症専門棟	認知症専門棟	無回答
		あり	なし	
全体	1529	497 32.5%	1018 66.6%	14 0.9%
在宅強化型	239	83 34.7%	155 64.9%	1 0.4%
従来型(加算有り)	450	144 32.0%	302 67.1%	4 0.9%
従来型(加算無し)	745	244 32.8%	493 66.2%	8 1.1%
療養型・療養強化型	62	17 27.4%	44 71.0%	1 1.6%

図表 65 認知症専門棟を有している場合の定員数【施設票 問13】

	施設数	(人) 認知症専門棟の定員数
全体	478	40.6
在宅強化型	79	38.4
従来型(加算有り)	139	40.6
従来型(加算無し)	235	41.5
療養型・療養強化型	16	34.1

※認知症専門棟があると回答した施設のうち、定員数に回答のあった施設のみを集計した。

② 認知症専門ケア加算、認知症行動・心理症状緊急対応加算の算定状況

認知症専門ケア加算、認知症行動・心理症状緊急対応加算の算定有無について尋ねたところ、「認知症専門ケア加算（Ⅰ又はⅡ）」を算定しているのは10.7%、「認知症行動・心理症状緊急対応加算」を算定しているのは0.6%となっていた。

図表 66 認知症専門ケア加算、認知症行動・心理症状緊急対応加算の算定状況（平成29年6月）

【施設票 問13】

	施設数	① （認知症又は専門ケア加算）	② 状態認知症行動加算・心理症状
全体	1529	164 10.7%	9 0.6%
在宅強化型	239	39 16.3%	2 0.8%
従来型（加算有り）	450	50 11.1%	2 0.4%
従来型（加算無し）	745	61 8.2%	4 0.5%
療養型・療養強化型	62	9 14.5%	1 1.6%

	施設数	べ（認知症又は専門ケア加算）の算定算延日数
全体	143	778.3
在宅強化型	36	796.6
従来型（加算有り）	40	781.4
従来型（加算無し）	55	786.7
療養型・療養強化型	7	594.1

	施設数	べ緊急対応行動加算・心理症状延状日数
全体	6	585.2
在宅強化型	1	7.0
従来型（加算有り）	2	412.5
従来型（加算無し）	2	1336.0
療養型・療養強化型	1	7.0

※加算を算定していると回答した施設のうち、算定日数に回答のあった施設のみを集計した。

③ 認知症のある利用者の周辺症状の状況

施設で受け入れている認知症のある利用者について、このままでは在宅生活が困難と判断されるような、認知症の周辺症状が著しい利用者があるかを尋ねた。「徘徊」が67.0%と最も高く、次いで「睡眠障害（昼夜逆転）」が60.4%となっていた。

図表 67 認知症の周辺症状が著しい利用者があると回答した施設数【施設票 問13】

	施設数	① 暴行	② 徘徊	③ 不潔行為	④ 妄想	⑤ （睡眠障害 昼夜逆転）	⑥ その他
全体	1529	542 35.4%	1024 67.0%	885 57.9%	913 59.7%	923 60.4%	364 23.8%
在宅強化型	239	79 33.1%	148 61.9%	116 48.5%	126 52.7%	144 60.3%	56 23.4%
従来型(加算有り)	450	151 33.6%	306 68.0%	257 57.1%	271 60.2%	271 60.2%	107 23.8%
従来型(加算無し)	745	277 37.2%	509 68.3%	456 61.2%	461 61.9%	451 60.5%	188 25.2%
療養型・療養強化型	62	23 37.1%	37 59.7%	29 46.8%	34 54.8%	34 54.8%	7 11.3%

図表 68 認知症の周辺症状が著しい利用者があると回答した施設数場合の人数
【施設票 問13】

	暴行		徘徊		不潔行為		妄想		睡眠障害 (昼夜逆転)	
	施設数	平均該当者数(人)	施設数	平均該当者数(人)	施設数	平均該当者数(人)	施設数	平均該当者数(人)	施設数	平均該当者数(人)
全体	526	2.6	975	4.7	845	4.4	865	5.3	877	4.4
在宅強化型	78	2.3	144	4.0	113	3.3	121	4.1	140	3.9
従来型(加算有り)	148	2.4	294	4.7	247	4.2	260	4.8	258	4.4
従来型(加算無し)	266	2.7	477	4.9	430	4.7	431	6.0	424	4.4
療養型・療養強化型	22	3.5	36	4.7	28	6.4	32	5.3	32	6.6

※認知症の周辺症状が著しい利用者があると回答した施設のうち、該当者数に回答のあった施設のみを集計した。

(4) 人生の最終段階における医療・介護への取り組み

① 施設での看取り対応

施設での看取りへの対応状況について尋ねたところ、看取りに「対応している」が70.6%、「対応していない」が28.4%であった。

「在宅強化型」「従来型（加算有り）」「従来型（加算無し）」の3施設類型を比較すると、看取りに対応している割合は「在宅強化型」>「従来型（加算有り）」>「従来型（加算無し）」の順に高くなっていた。

図表 69 施設での看取りへの対応状況【施設票 問14】

	n	対応している	対応していない	無回答
全体	1529	1079 70.6%	435 28.4%	15 1.0%
在宅強化型	239	196 82.0%	40 16.7%	3 1.3%
従来型(加算有り)	450	327 72.7%	120 26.7%	3 0.7%
従来型(加算無し)	745	490 65.8%	247 33.2%	8 1.1%
療養型・療養強化型	62	48 77.4%	13 21.0%	1 1.6%

② 看取りの取組実績

①で看取りに対応していると回答した場合に、過去1年間の取組実績について尋ねた。入所定員100人あたりの看取り（予期された死）に対応した人数は8～14人であり、「療養型・療養強化型」でもっとも対応していた。

また、人生の最終段階における医療・介護の取組について尋ねると、「利用者の意思を最大限反映するために利用者・家族と事前の話し合いを行った」人数は7～16人程度、「死が近づき気持ちが揺れる利用者・家族へのきめ細やかな対応をとった」人数は6～12人程度という結果であった。

図表 70 看取りに対応している場合の看取りへの取り組み実績（入所定員100人あたり／年）

【施設票 問14】

	在宅強化型		従来型 (加算有り)		従来型 (加算無し)		療養型・ 療養強化型			
	あ 定 員 り 1 人 0 数 0 人	構 成 割 合	あ 定 員 り 1 人 0 数 0 人	構 成 割 合	あ 定 員 り 1 人 0 数 0 人	構 成 割 合	あ 定 員 り 1 人 0 数 0 人	構 成 割 合		
施設数	174		289		424		48			
1年間の退所者数	163.3	-	112.8	-	71.9	-	96.8	-		
1年間の死亡退所者数	13.2	-	10.2	-	11.3	-	17.0	-		
うち、看取り(予期された死)対応した人数	10.5	79.3%	8.0	77.7%	8.3	73.6%	13.7	81.0%		
ターミナルケア加算を算定した人数	9.5	-	7.1	-	6.6	-	11.3	-		
人生の最終段階における医療・介護	① 利用者の意思を最大限反映するために利用者・家族と事前の話し合い(ACP)を行った		11.1	-	7.4	-	7.1	-	16.3	-
	② 死が近づき気持ちが揺れる利用者・家族へのきめ細やかな対応をとった		8.7	-	6.7	-	7.2	-	12.3	-

※無回答の調査票を除いて集計した。

※退所者数・医療機関への退所者数は問6の設問の集計であるが、本設問の有効回答にあわせて算出しなおしたため、図表32とは値が異なる。

※構成割合は、死亡退所者数に占める割合

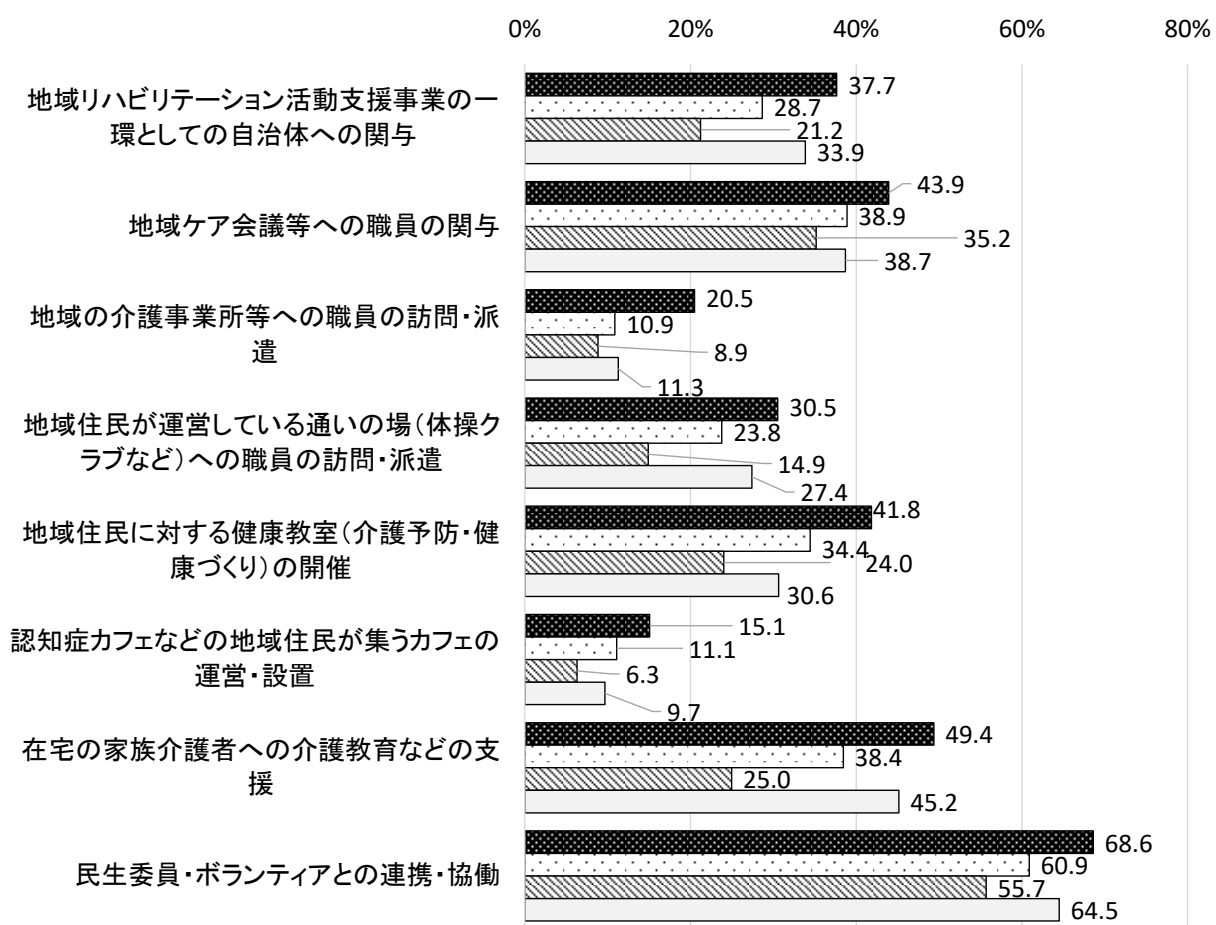
※ACPとは、アドバンス・ケア・プランニング(Advance Care Planning、前もって医療やケアについて計画すること)の略称であり、人生の最終段階の医療と介護について、(話し合いの時期は人生の最終段階に限ることなく、)患者・家族と医療従事者があらかじめ話し合う自発的なプロセスのこと、と調査票上で定義した。

(5) 地域への貢献活動実施状況

平成 28 年度（平成 28 年 4 月～29 年 3 月の間）の、地域への貢献活動（地域リハビリテーション活動支援事業等）実施について尋ねた。

「在宅強化型」「従来型（加算有り）」「従来型（加算無し）」の 3 施設類型を比較すると、いずれの活動の実施割合も「在宅強化型」>「従来型（加算有り）」>「従来型（加算無し）」の順に高くなっていた。

図表 71 平成 28 年度に地域への貢献活動を実施した施設割合【施設票 問 15】



■在宅強化型(n=239) □従来型(加算有り)(n=450) ▨従来型(加算無し)(n=745) □療養型・療養強化型(n=62)

図表 72 平成 28 年度に地域への貢献活動を実施した場合の平均実績【施設票 問 15】

	地域ケア会議等への職員の関与がある場合		地域の介護事業所等への職員の訪問・派遣がある場合		地域住民が運営している通いの場への職員の訪問・派遣がある場合		地域住民に対する健康教室の開催がある場合		認知症カフェなどの地域住民が集うカフェの運営・設置がある場合	
	施設数	平均延べ該当者数（人）	施設数	平均訪問回数（回）	施設数	平均訪問回数（回）	施設数	平均実施日数（日）	施設数	平均実施日数（日）
全体	492	5.9	130	7.0	270	7.6	402	10.2	122	10.0
在宅強化型	88	5.8	37	4.9	62	7.9	88	13.7	31	9.1
従来型（加算有り）	146	6.1	38	10.6	89	6.2	138	10.6	42	11.9
従来型（加算無し）	227	5.7	50	6.2	97	6.7	151	7.7	41	7.9
療養型・療養強化型	20	5.1	4	3.8	13	7.9	15	7.7	4	9.3

※地域への貢献活動を実施したと回答した施設のうち、実施回数や日数等に回答のあった施設のみを集計した。

(6) 平成 28 年度の経営状況

平成 28 年度の経営の状況について、全体の平均利益率は 4.6%であった。施設類型別では「療養型・療養強化型」が 6.5%と最も高く、次いで「在宅強化型」が 5.3%、「従来型（加算無し）」が 4.8%、そして「従来型（加算有り）」が 3.8%と最も低かった。

図表 73 平成 28 年度の経営の状況について【施設票 問 16】 (単位：千円)

	在宅強化型		従来型 (加算有り)	
	平均金額	構成割合	平均金額	構成割合
施設数	187		309	
施設運営事業収益計(介護報酬収益)	555,034		501,034	
うち入所事業収益(利用者負担分を含む)	371,003	66.8%	373,449	74.5%
うち通所リハビリテーション事業収益(利用者負担分を含む)	113,695	20.5%	85,243	17.0%
うち短期入所療養介護事業収益(利用者負担分を含む)	46,211	8.3%	22,622	4.5%
施設運営事業等費用計	530,342		479,498	
うち減価償却費	23,483		26,586	
税引き前利益(損失)	29,629	5.3%	18,910	3.8%

	従来型 (加算無し)		療養型・ 療養強化型	
	平均金額	構成割合	平均金額	構成割合
施設数	508		37	
施設運営事業収益計(介護報酬収益)	474,135		506,136	
うち入所事業収益(利用者負担分を含む)	380,894	80.3%	417,709	82.5%
うち通所リハビリテーション事業収益(利用者負担分を含む)	65,008	13.7%	69,574	13.7%
うち短期入所療養介護事業収益(利用者負担分を含む)	13,646	2.9%	18,047	3.6%
施設運営事業等費用計	451,113		453,933	
うち減価償却費	24,166		25,709	
税引き前利益(損失)	22,794	4.8%	32,734	6.5%

※平成 28 年度の会計が 12 か月分であり、すべての項目に回答のある調査票を集計した。

※構成割合は施設運営事業収益計(介護報酬収益)に対する割合として集計

Ⅲ 調査結果（退所者票）

※以下では、退所者票の集計結果を示す。なお、構成割合（％）は小数第2位を四捨五入しているため内訳の合計が100％と合わない場合がある。

※施設類型別の集計は、施設票問1の回答を突合し集計している。

1. 平成29年6月の退所者（全員）の基本情報

平成29年6月に退所した者全員について、入所時の状況や退所先等についての回答を求めた。

本調査では11,280人分の退所者数のデータが収集された。施設類型別の回収数は以下のようになっている。

図表 74 施設類型別の回収数・割合

	回収数	割合	3 類型の比率
全体	11,280	-	-
在宅強化型	2,702	24.0%	25.5%
従来型（加算有り）	3,722	33.0%	35.1%
従来型（加算無し）	4,192	37.2%	39.5%
療養型・療養強化型	420	3.7%	-
無回答	244	2.1%	-

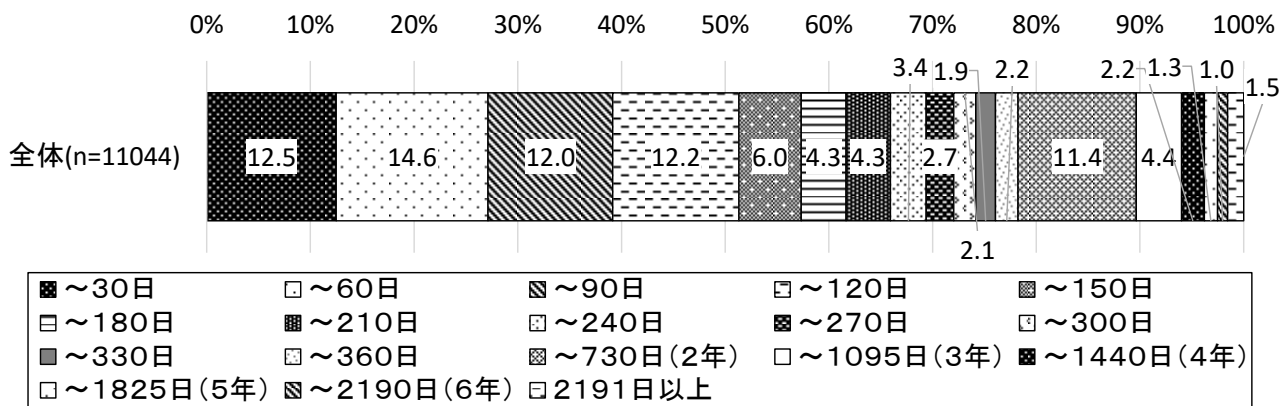
※無回答には、従来型と回答があったものの、在宅復帰・在宅療養支援機能加算の届出の有無が無回答であった施設の退所者を含む

(1) 入所期間

入所期間は全体では、「120日以下」で退所した者が51.3%を占めていた。

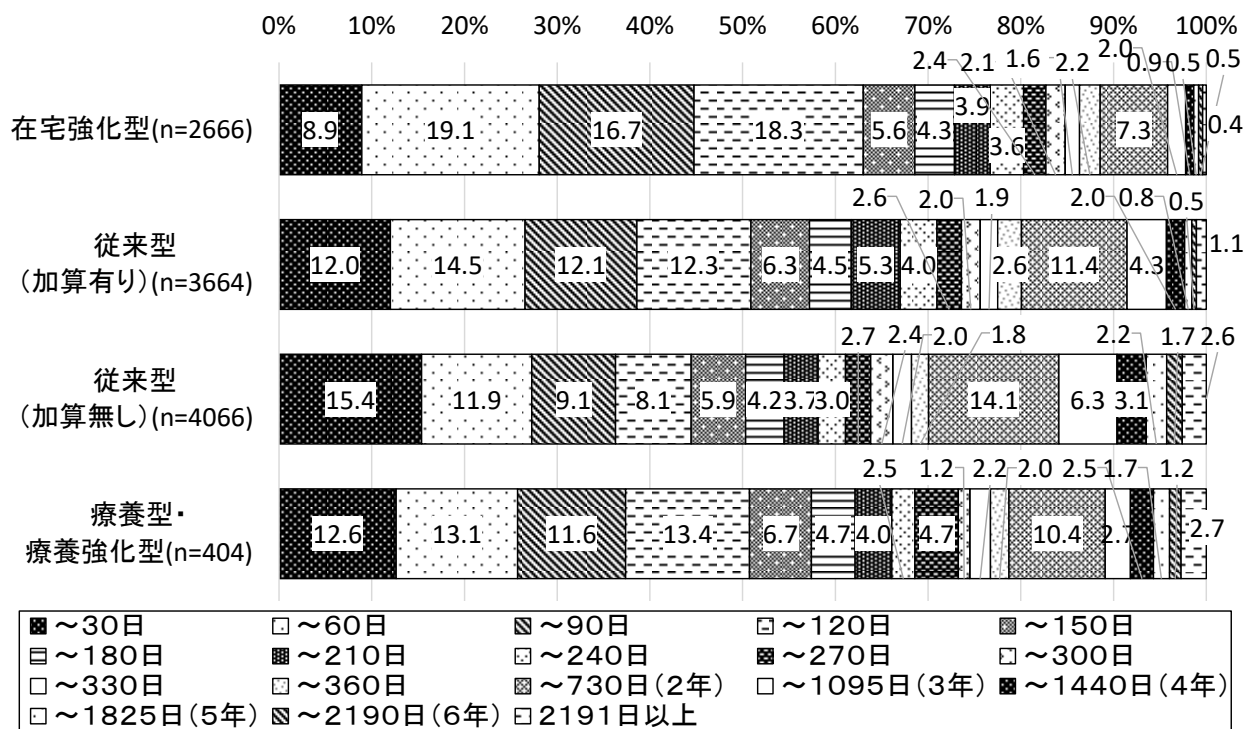
施設類型別にみると、「従来型(加算なし)」では、「30日以下」で退所した者の割合が15.4%、および1年超で退所した者の割合が30.0%と、他の類型よりも両極に高くなっていた。

図表 75 退所までの入所期間【退所者票 問1】



※無回答の調査票を除いて集計した。

図表 76 施設類型別 退所までの入所期間【退所者票 問1】



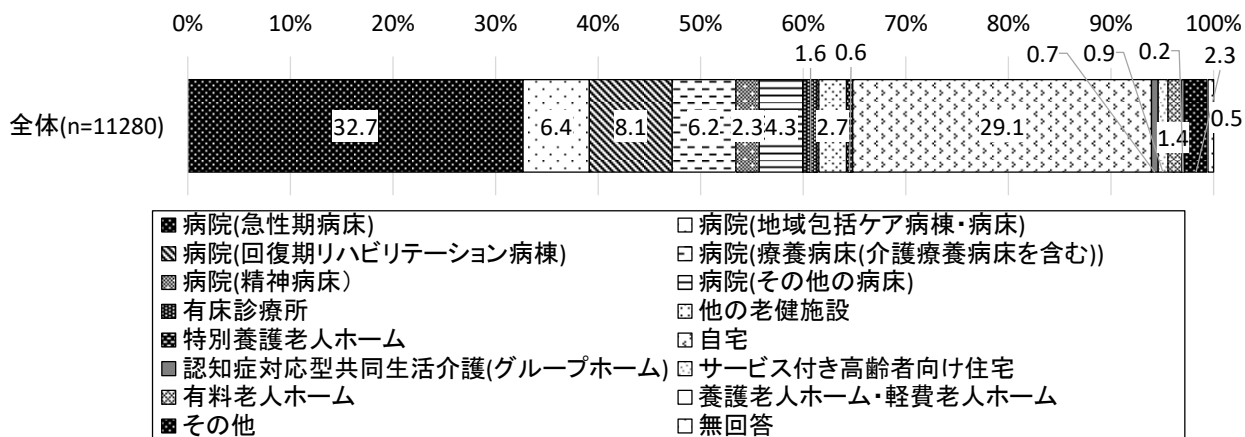
※無回答の調査票を除いて集計した。

(2) 入所前の居所

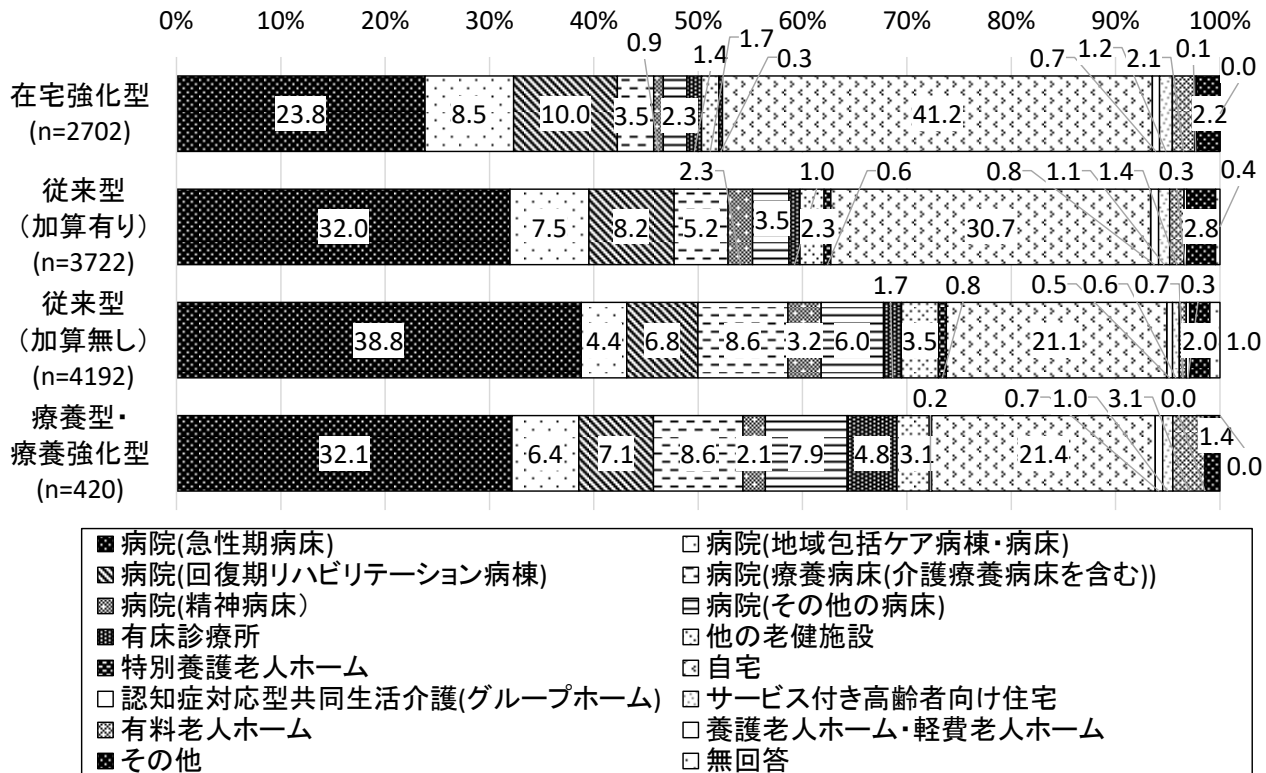
入所前の居所は「病院」32.7%が最も高く、次いで「自宅」29.1%であった。

施設類型別にみると、「在宅強化型」では「自宅」41.2%が最も高く、「従来型（加算なし）」では「病院」38.8%が最も高くなっていた。

図表 77 入所前の居所【退所者票 問2】



図表 78 施設類型別 入所前の居所【退所者票 問2】

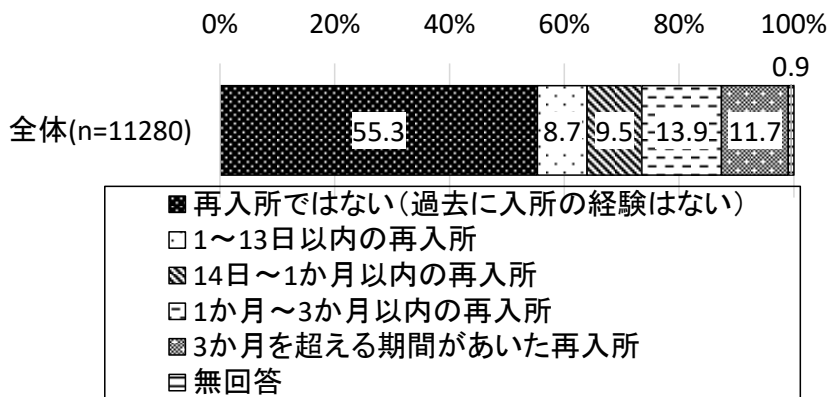


(3) 前回退所してから今回入所するまでの期間

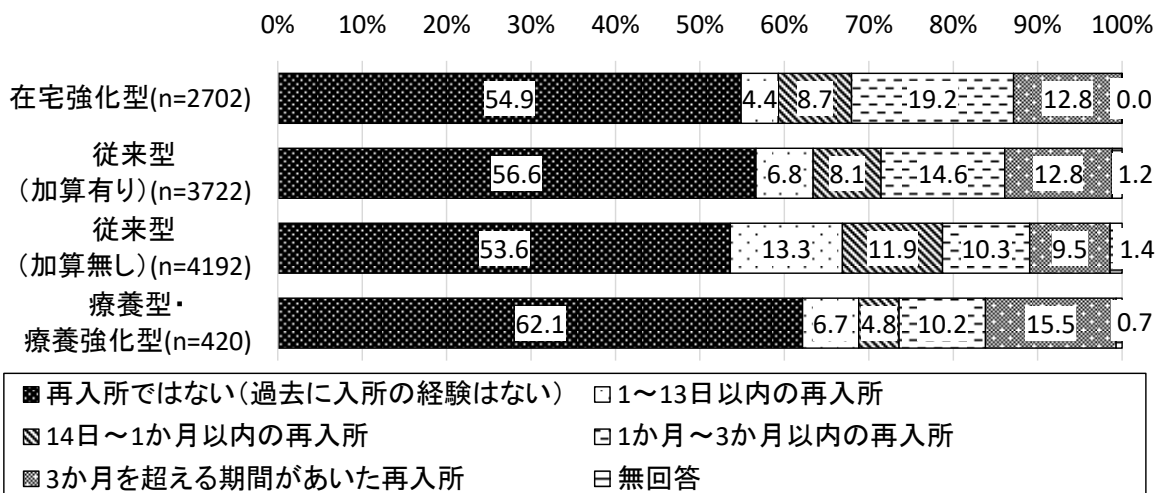
今回の退所者が再入所による利用者であったかを確認するため、前回退所してから今回入所するまでの期間（ショートステイの利用を除く）について尋ねた。全体では「再入所ではない（過去に入所の経験はない）」55.3%が最も高かった。

施設類型別にみても「再入所ではない（過去に入所の経験はない）」の割合が最も高かったが、「在宅強化型」では「1か月～3か月以内の再入所」が19.2%と他と比較して高く、「従来型（加算無し）」では「1～13日以内の再入所」が13.3%と他と比較して高くなっていた。

図表 79 前回退所してから今回入所するまでの期間（ショートステイの利用を除く）
【退所者票 問3】



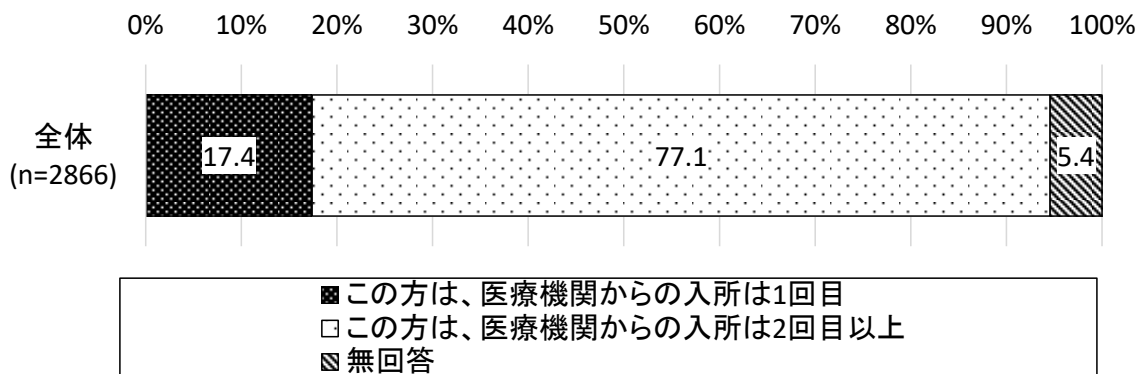
図表 80 施設類型別 前回退所してから今回入所するまでの期間（ショートステイの利用を除く）【退所者票 問3】



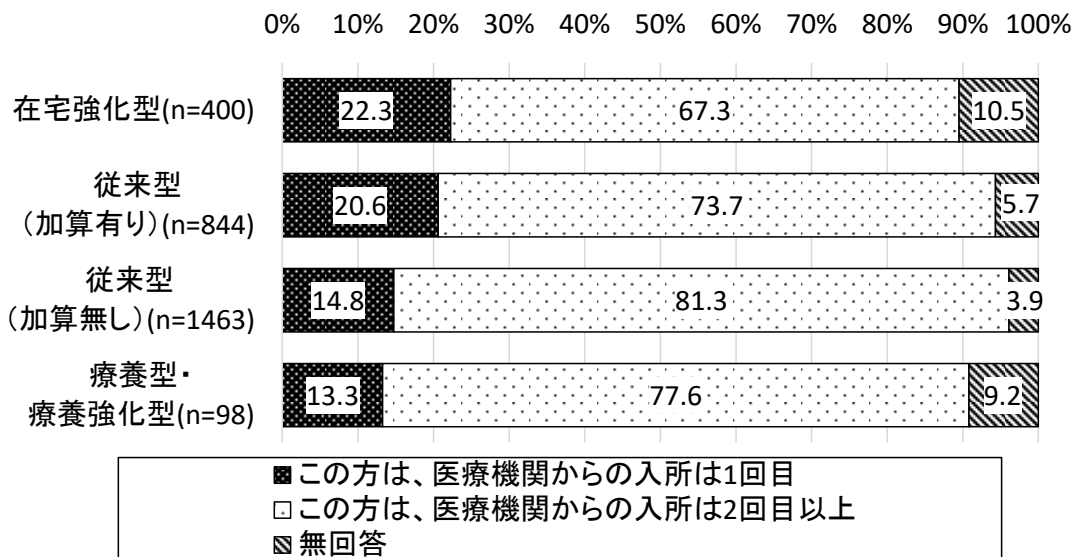
(4) 医療機関からの入所回数

医療機関からの再入所者（問2で選択肢1～7・問3で選択肢2～5の場合）について、医療機関からの入所回数を尋ねたところ、「医療機関からの入所は2回目以上」が77.1%、と高くなっていた。

図表 81 医療機関からの入所回数【退所者票 問4】



図表 82 施設類型別 医療機関からの入所回数【退所者票 問4】

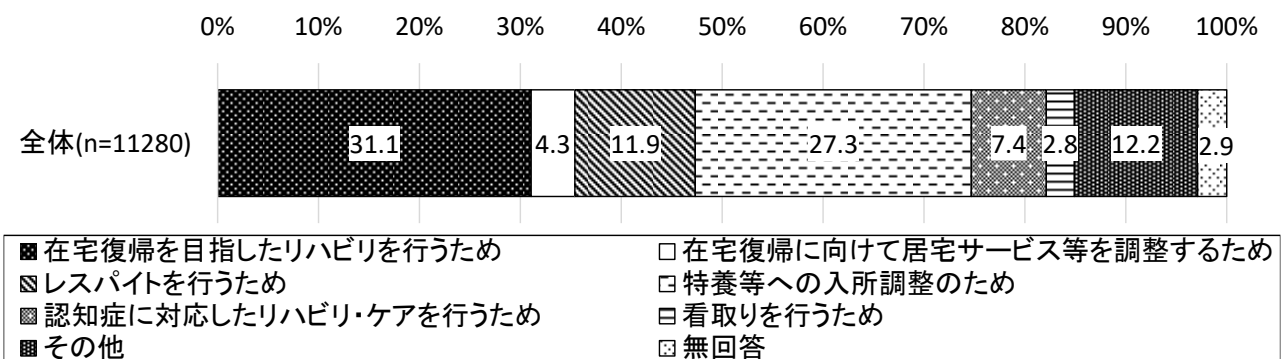


(5) 主たる入所理由

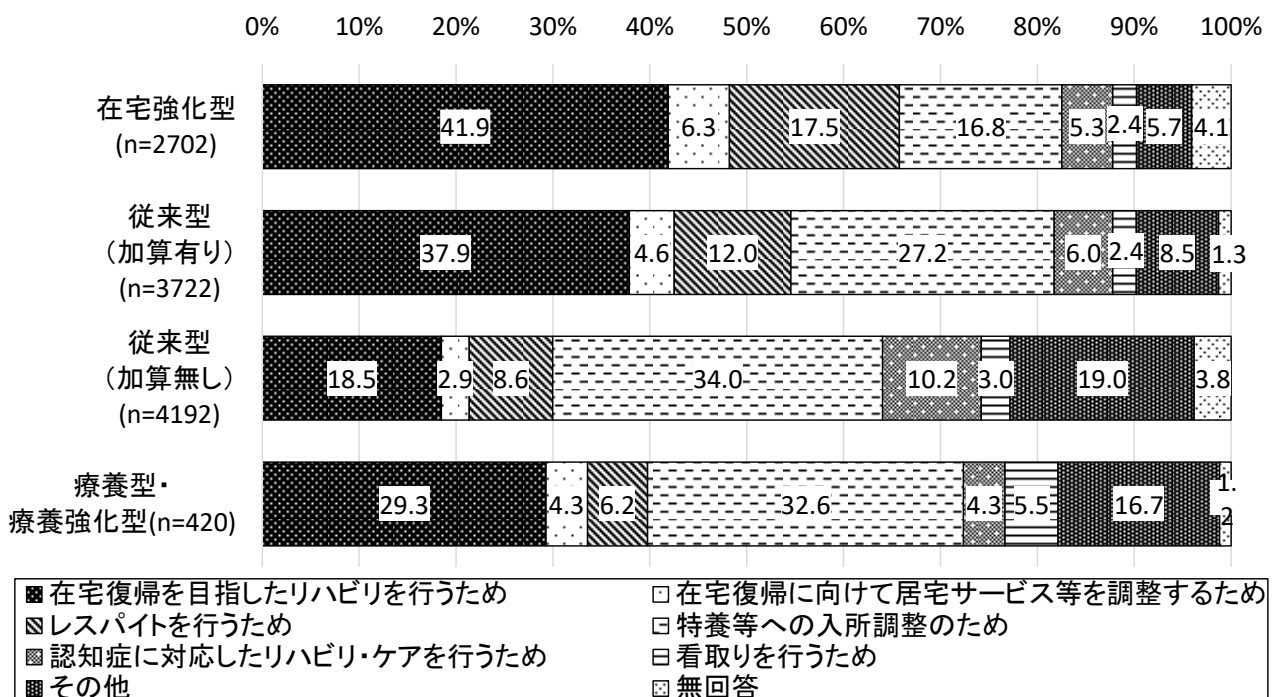
主たる入所理由は、「在宅復帰を目指したリハビリを行うため」が31.1%と最も高く、次いで「特養等への入所調整のため」が27.3%であった。

施設類型別にみると、「在宅強化型」では「在宅復帰を目指したリハビリを行うため」41.9%が最も高く、「従来型（加算なし）」では「特養等への入所調整のため」34.0%が最も高くなっていた。

図表 83 主たる入所理由【退所者票 問5】



図表 84 施設類型別 主たる入所理由【退所者票 問5】

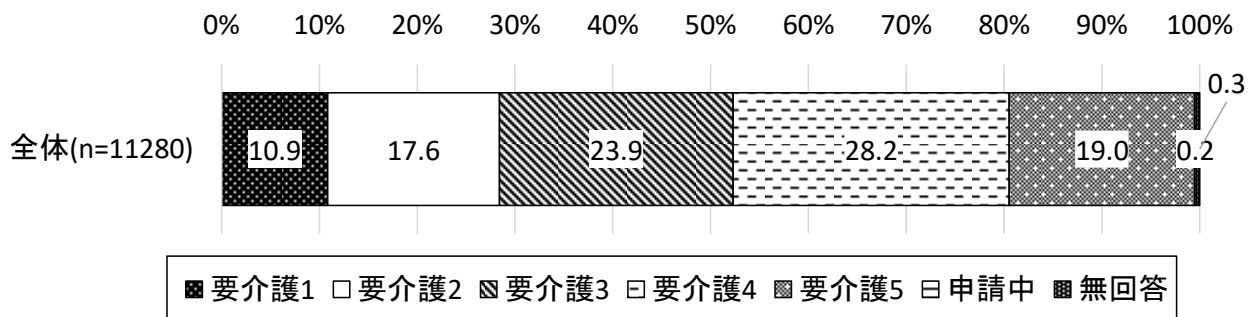


(6) 要介護度

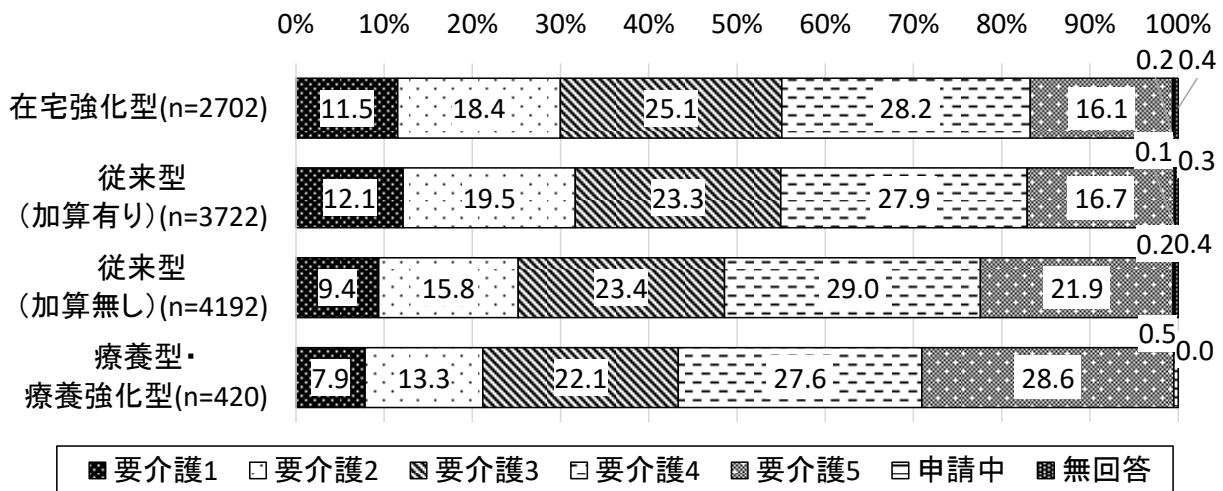
退所時の要介護度は、「要介護4」が28.2%と最も高く、次いで「要介護3」が23.9%であった。

施設類型別にみると、「従来型（加算なし）」は「在宅強化型」「従来型（加算有り）」と比較して「要介護1・2」の者がやや少なく、「要介護5」の者がやや多くなっていた。

図表 85 要介護度（退所時）【退所者票 問6】



図表 86 施設類型別 要介護度（退所時）【退所者票 問6】

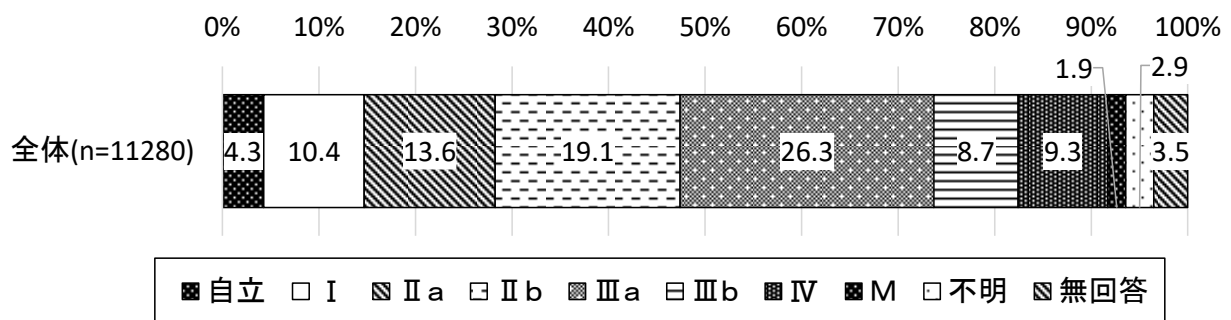


(7) 認知症高齢者の日常生活自立度

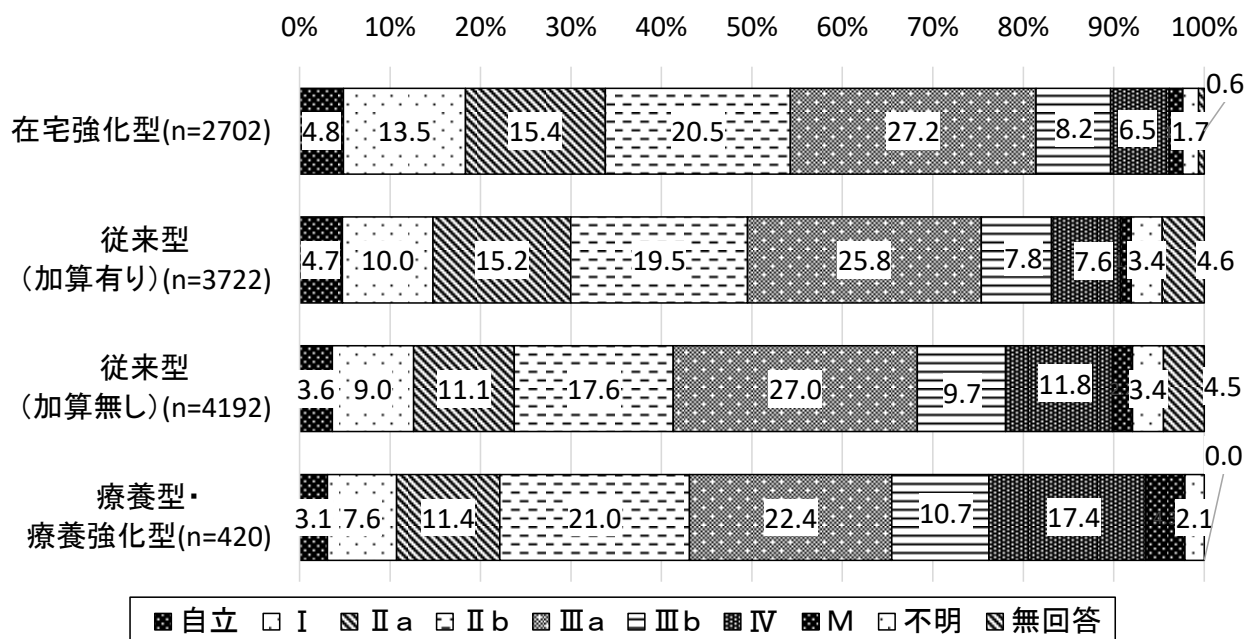
退所時の認知症高齢者の日常生活自立度は「Ⅲa」が26.3%と最も高く、ついで「Ⅱb」が19.1%であった。

施設類型別にみると、「従来型（加算なし）」は「在宅強化型」「従来型（加算有り）」と比較して「Ⅰ・Ⅱ」の者がやや少なく、「Ⅳ」の者がやや多くなっていた。

図表 87 認知症高齢者の日常生活自立度（退所時）【退所者票 問7】



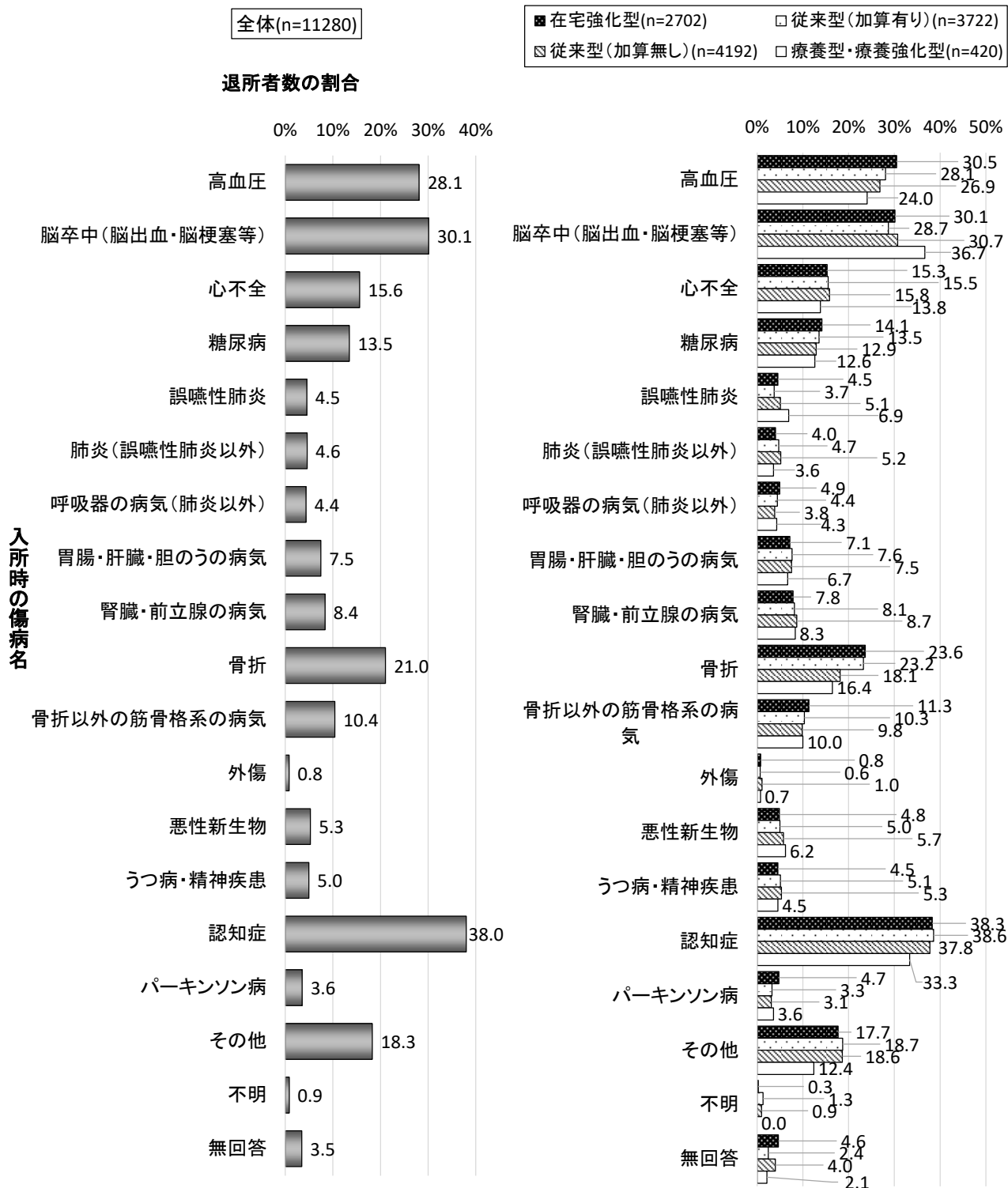
図表 88 施設類型別 認知症高齢者の日常生活自立度（退所時）【退所者票 問7】



(8) 入所時の傷病名

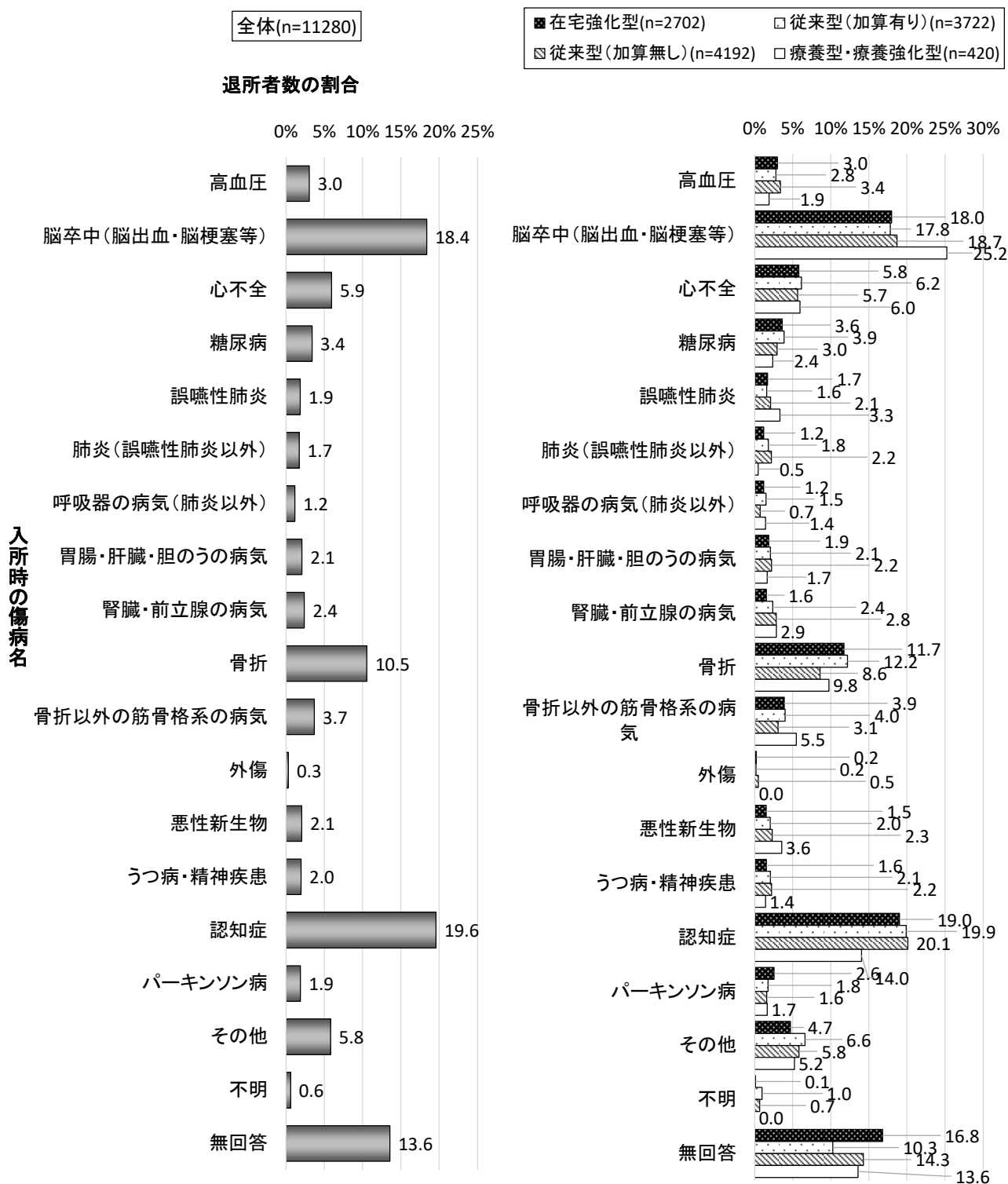
入所時の傷病名を複数回答で尋ねたところ、「認知症」38.0%が最も高く、次いで「脳卒中」30.1%であった。

図表 89 入所時の傷病名（複数回答）【退所者票 問8】



入所時の傷病名について、主たる傷病名を尋ねたところ、「認知症」19.6%が最も高く、次いで「脳卒中」18.4%であった。

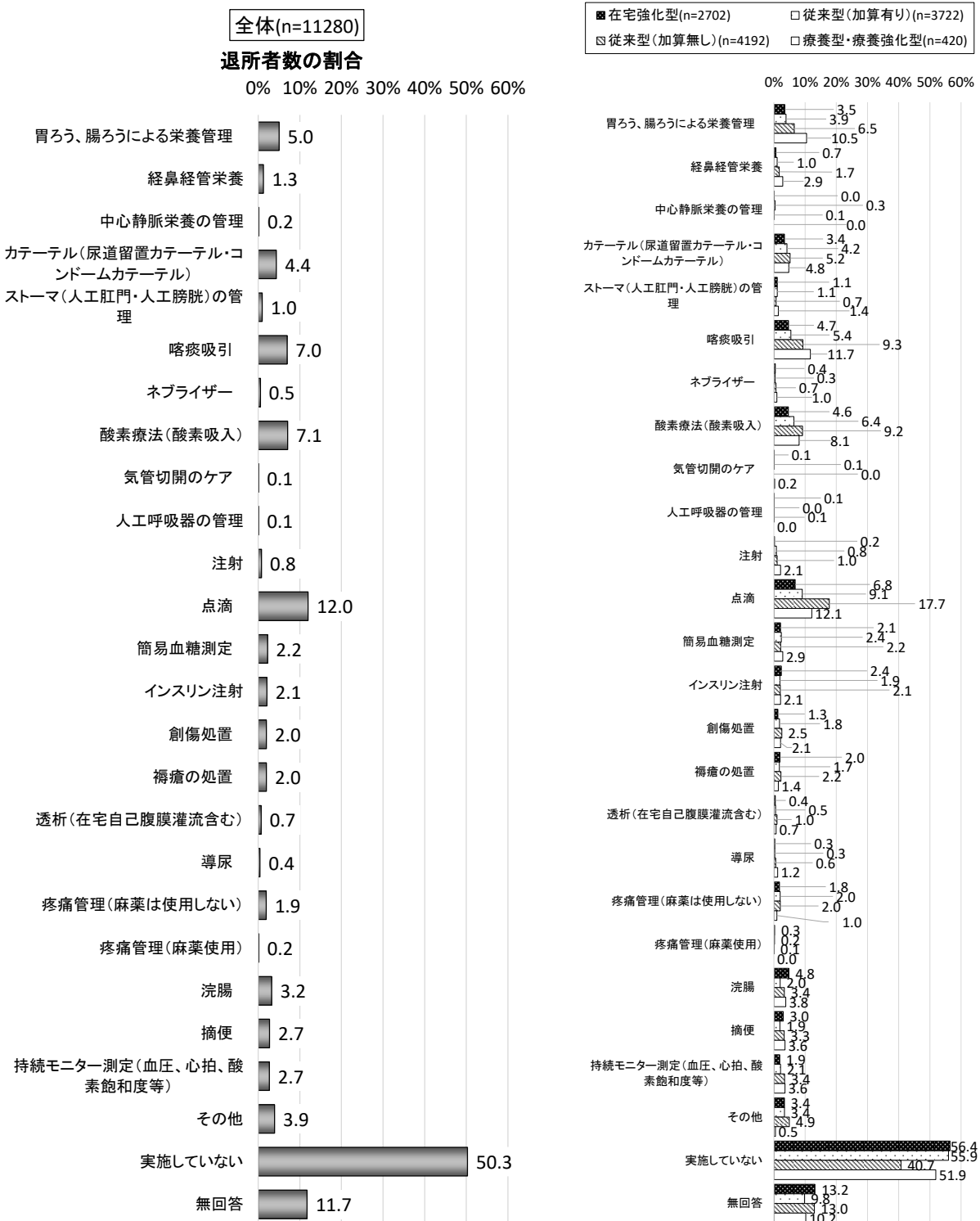
図表 90 入所時の傷病名（主たる傷病名）【退所者票 問8】



(9) 退所時に実施していた医療的ケア

退所時の医療的ケアの実施状況は、「実施していない」が50.3%と最も高く、次いで「点滴」が12.0%であった。

図表 91 退所時の医療的ケアの実施状況（複数回答）【退所者票 問9】

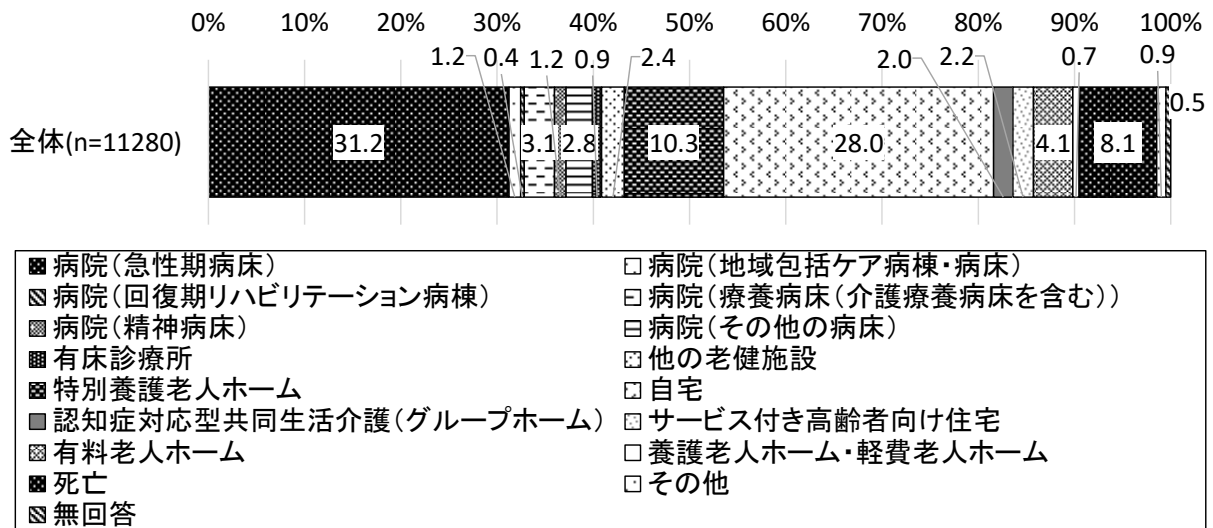


(10) 退所先

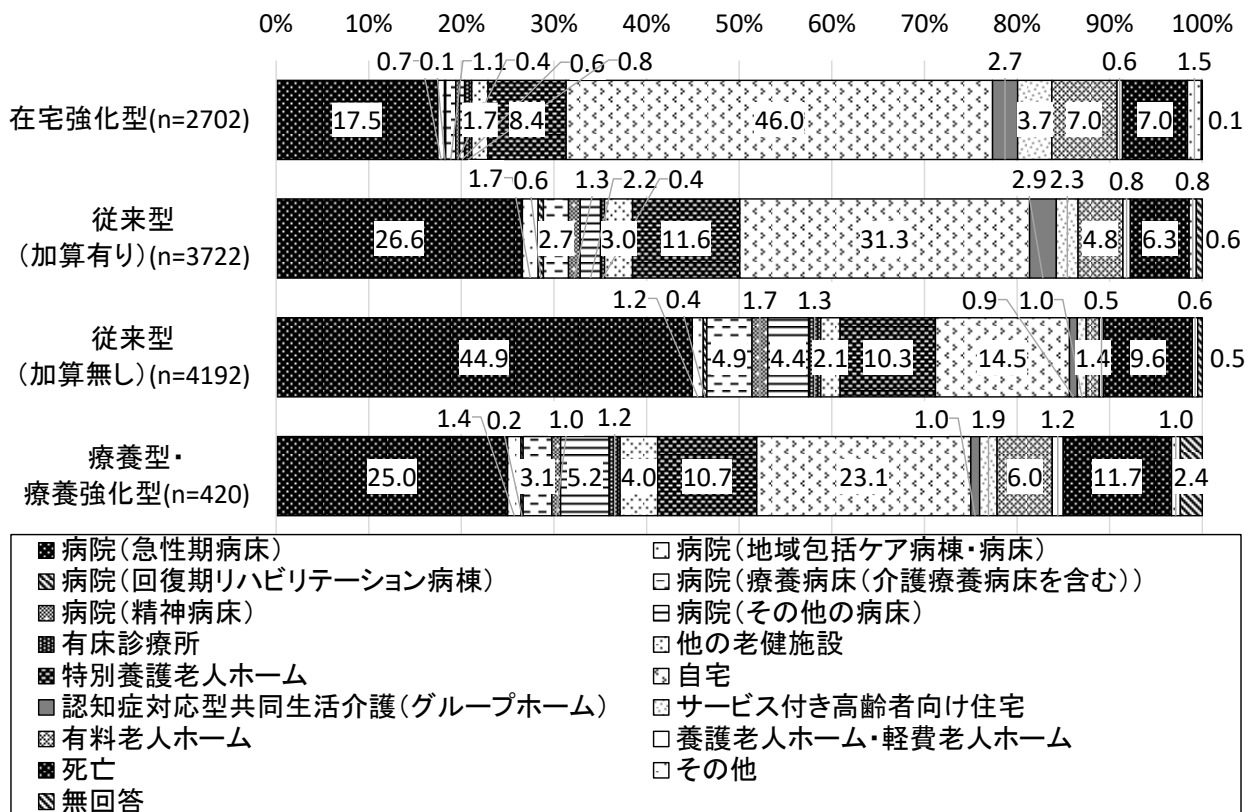
退所先は「病院」31.2%が最も高く、次いで「自宅」28.0%であった。

施設類型別にみると、「在宅強化型」では「自宅」46.0%が最も高く、「従来型（加算なし）」では「病院（急性期病床）」44.9%が最も高くなっていた。

図表 92 退所先【退所者票 問10】



図表 93 施設類型別 退所先【退所者票 問10】



退所先が医療機関であった者は「全体」で 4,608 人、施設類型別にみると、「在宅強化型」571 人、「従来型（加算あり）」1,320 人、「従来型（加算なし）」2,465 人、「療養型・療養強化型」156 人であった。退所先が施設・自宅等・その他であった者（医療機関への退所、死亡退所、無回答ではない者）は「全体」で 5,706 人、施設類型別にみると、「在宅強化型」1,938 人、「従来型（加算あり）」2,142 人、「従来型（加算なし）」1,305 人、「療養型・療養強化型」205 人であった。

図表 94 施設類型別 退所先【退所者票 問 10】

	合計人数	病院（急性期病床）	病院（地域包括ケア病棟・病）	病院（回復期リハビリテーション病棟）	病院（療養病床（介護療養病床を含む））	病院（精神病床）	病院（その他の病床）	有床診療所
全体	11,280	3,523 31.2%	137 1.2%	42 0.4%	355 3.1%	135 1.2%	311 2.8%	105 0.9%
在宅強化型	2,702	472 17.5%	19 0.7%	4 0.1%	29 1.1%	11 0.4%	15 0.6%	21 0.8%
従来型（加算有り）	3,722	990 26.6%	63 1.7%	21 0.6%	101 2.7%	47 1.3%	82 2.2%	16 0.4%
従来型（加算無し）	4,192	1,884 44.9%	49 1.2%	16 0.4%	205 4.9%	71 1.7%	185 4.4%	55 1.3%
療養型・療養強化型	420	105 25.0%	6 1.4%	1 0.2%	13 3.1%	4 1.0%	22 5.2%	5 1.2%

	合計人数	他の老健施設	特別養護老人ホーム	自宅	認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	サービス付き高齢者向け住宅	有料老人ホーム	ホームヘルプ・介護老人ホーム・軽費老人ホーム	死亡	その他	無回答
全体	11,280	268 2.4%	1,163 10.3%	3,164 28.0%	226 2.0%	243 2.2%	460 4.1%	75 0.7%	909 8.1%	107 0.9%	57 0.5%
在宅強化型	2,702	47 1.7%	228 8.4%	1,244 46.0%	73 2.7%	100 3.7%	190 7.0%	16 0.6%	190 7.0%	40 1.5%	3 0.1%
従来型（加算有り）	3,722	112 3.0%	431 11.6%	1,165 31.3%	108 2.9%	87 2.3%	180 4.8%	30 0.8%	236 6.3%	29 0.8%	24 0.6%
従来型（加算無し）	4,192	88 2.1%	431 10.3%	607 14.5%	36 0.9%	40 1.0%	59 1.4%	19 0.5%	402 9.6%	25 0.6%	20 0.5%
療養型・療養強化型	420	17 4.0%	45 10.7%	97 23.1%	4 1.0%	8 1.9%	25 6.0%	5 1.2%	49 11.7%	4 1.0%	10 2.4%

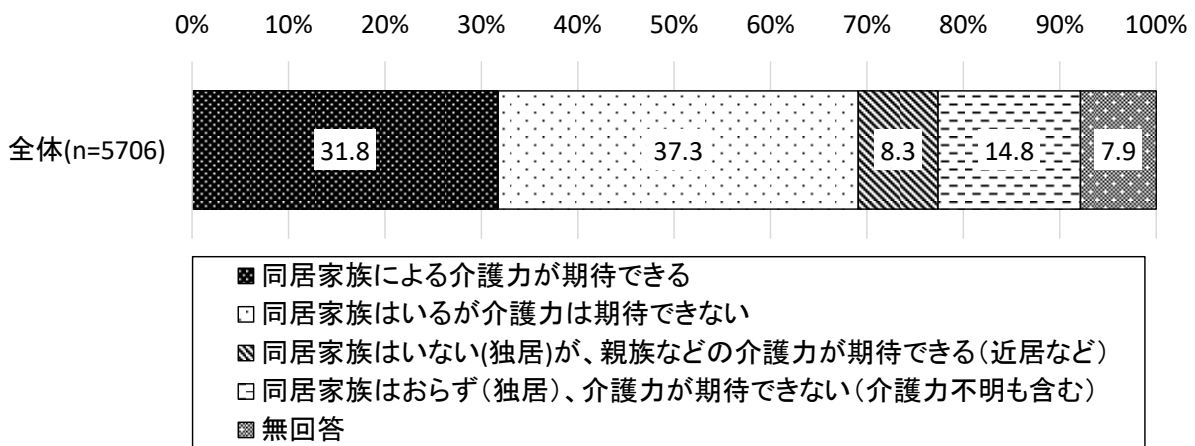
2. 退所先が施設・自宅等・その他の入所者について

退所先が施設もしくは自宅等・その他であった退所者について、退所時の状況を尋ねた。

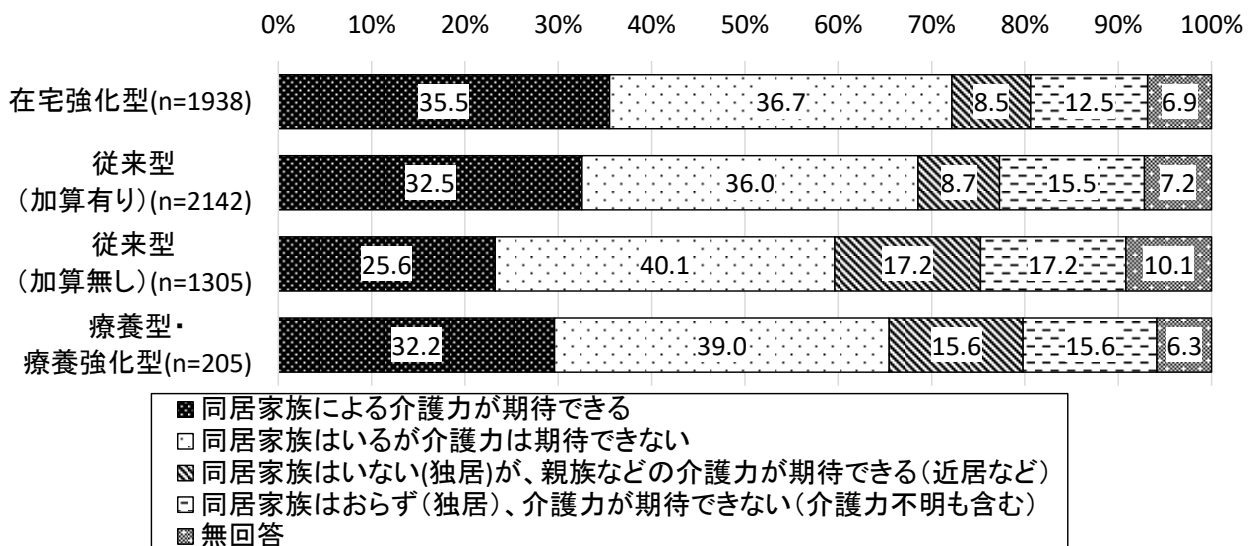
(1) 退所時の在宅介護力の状況

退所時の在宅介護力は「同居家族はいるが介護力は期待できない」が37.3%と最も高く、次いで「同居家族による介護力が期待できる」が31.8%であった。

図表 95 退所時の在宅介護力【退所者票 問11】



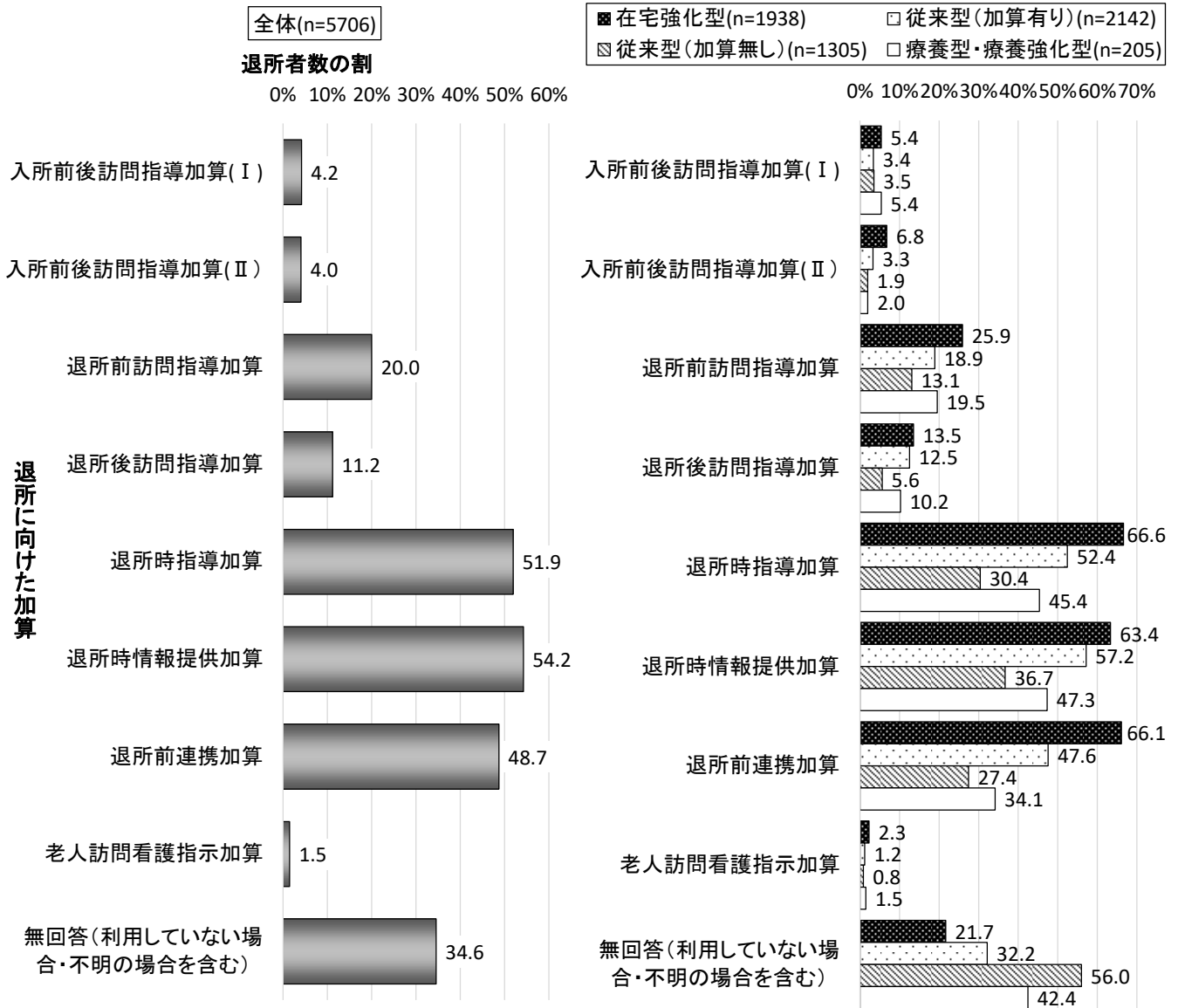
図表 96 施設類型別 退所時の在宅介護力【退所者票 問11】



(2) 退所に向けた加算算定の有無

退所に向けた加算の有無について(複数回答)、「退所時情報提供加算」が54.2%で最も高く、次いで「退所時指導加算」が51.9%であった。

図表 97 退所に向けた加算算定の有無(複数回答)【退所者票 問12】



(3) 退所後に利用を予定したりハビリ

退所後に利用を予定したりハビリについて、「無回答(利用していない場合・不明の場合を含む)」が73.3%と最も高く、次いで「通所リハビリ」が23.9%であった。

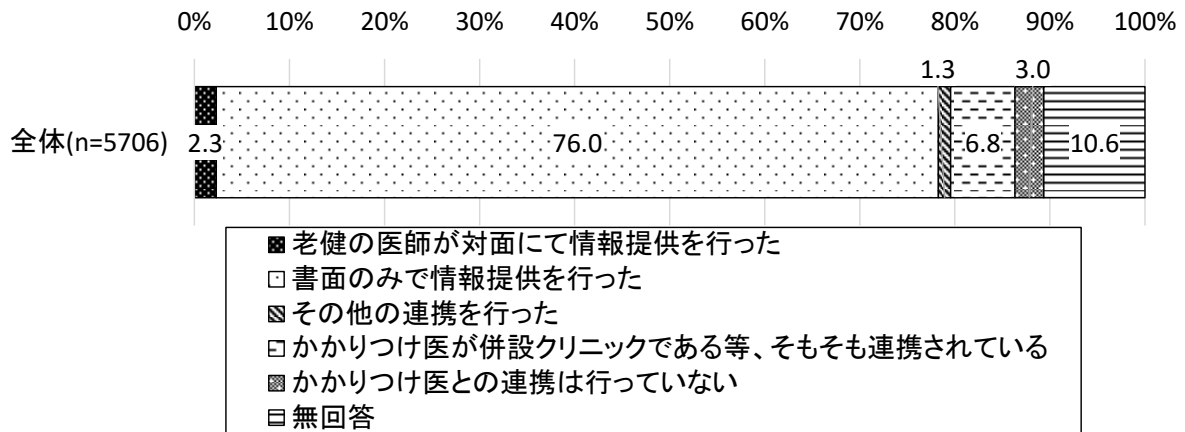
図表 98 退所後に利用を予定したりハビリ【退所者票 問13】

	合計人数	訪問リハビリ	通所リハビリ	外来リハビリ	訪問看護におけるリハビリ	無回答(利用していない場合を含む)
全体	5,706	117 2.1%	1,363 23.9%	20 0.4%	88 1.5%	4,185 73.3%
在宅強化型	1,938	48 2.5%	529 27.3%	10 0.5%	37 1.9%	1,339 69.1%
従来型 (加算有り)	2,142	39 1.8%	506 23.6%	10 0.5%	33 1.5%	1,580 73.8%
従来型 (加算無し)	1,305	16 1.2%	262 20.1%	0 0.0%	14 1.1%	1,024 78.5%
療養型・ 療養強化型	205	10 4.9%	37 18.0%	0 0.0%	3 1.5%	159 77.6%

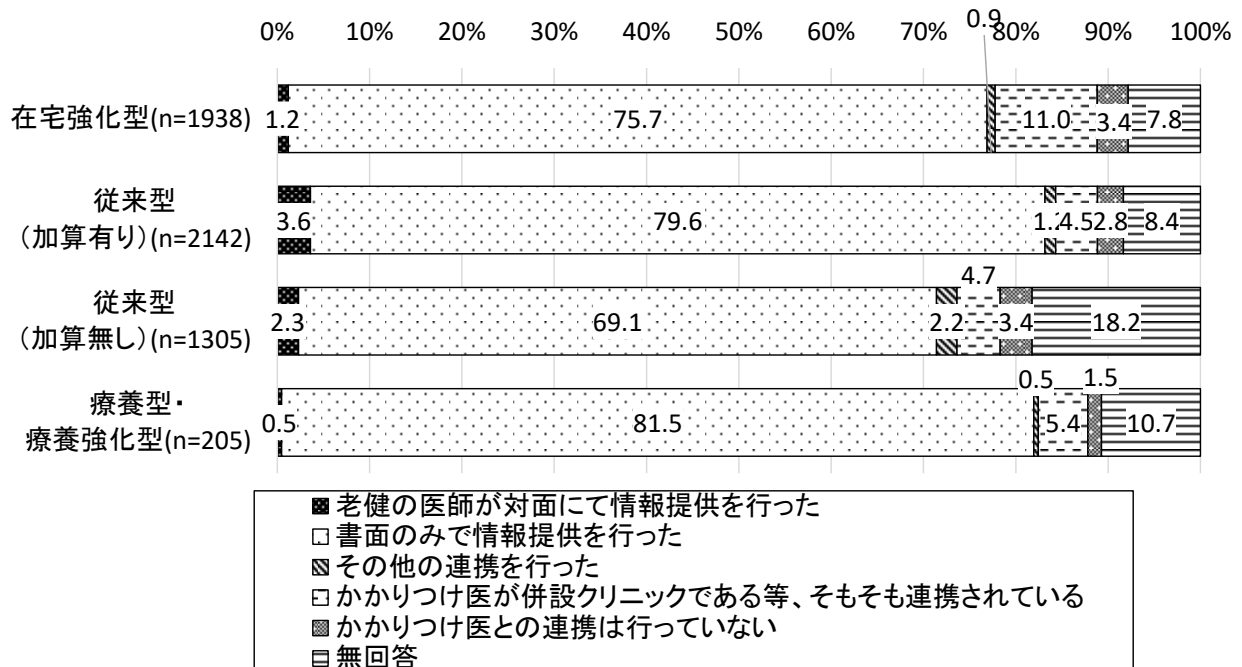
(4) かかりつけ医との連携状況

かかりつけ医との連携について、「書面のみで情報提供を行った」が76.0%と最も高くなっていた。

図表 99 かかりつけ医との連携【退所者票 問 14】



図表 100 施設類型別 かかりつけ医との連携【退所者票 問 14】



3. 退所先が医療機関の入所者について

退所先が医療機関であった退所者について、退所時の状況を尋ねた。

(1) 入院退所の理由となった主たる傷病名

入院退所理由となった主たる傷病名（複数回答）は、「その他」を除くと、「肺炎（誤嚥性肺炎以外）」15.5%、「誤嚥性肺炎」10.2%が高くなっていた。

図表 101 入院退所理由となった主たる傷病名（複数回答）【退所者票 問15】

	合計人数	高血圧	脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	心不全	糖尿病	誤嚥性肺炎	肺炎（誤嚥性肺炎以外）	呼吸器の病気（肺炎以外）	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	骨折
全体	4,608	68 1.5%	325 7.1%	429 9.3%	103 2.2%	472 10.2%	714 15.5%	167 3.6%	390 8.5%	260 5.6%	299 6.5%
在宅強化型	571	10 1.8%	41 7.2%	63 11.0%	10 1.8%	69 12.1%	77 13.5%	16 2.8%	53 9.3%	35 6.1%	44 7.7%
従来型（加算有り）	1,320	16 1.2%	82 6.2%	129 9.8%	25 1.9%	126 9.5%	221 16.7%	52 3.9%	95 7.2%	88 6.7%	79 6.0%
従来型（加算無し）	2,465	37 1.5%	182 7.4%	220 8.9%	63 2.6%	252 10.2%	385 15.6%	89 3.6%	217 8.8%	132 5.4%	160 6.5%
療養型・療養強化型	156	5 3.2%	14 9.0%	11 7.1%	3 1.9%	16 10.3%	21 13.5%	7 4.5%	14 9.0%	3 1.9%	6 3.8%

	合計人数	骨折以外の筋骨格系の病気	外傷	悪性新生物	うつ病・精神疾患	認知症	パーキンソン病	その他	不明	無回答
全体	4,608	59 1.3%	28 0.6%	180 3.9%	90 2.0%	178 3.9%	26 0.6%	1,186 25.7%	92 2.0%	284 6.2%
在宅強化型	571	7 1.2%	6 1.1%	22 3.9%	3 0.5%	17 3.0%	2 0.4%	121 21.2%	15 2.6%	33 5.8%
従来型（加算有り）	1,320	16 1.2%	7 0.5%	55 4.2%	26 2.0%	43 3.3%	4 0.3%	329 24.9%	31 2.3%	79 6.0%
従来型（加算無し）	2,465	35 1.4%	13 0.5%	95 3.9%	56 2.3%	105 4.3%	16 0.6%	655 26.6%	40 1.6%	152 6.2%
療養型・療養強化型	156	1 0.6%	0 0.0%	5 3.2%	3 1.9%	6 3.8%	3 1.9%	52 33.3%	3 1.9%	17 10.9%

入院退所の理由となった主たる傷病名のうち、主たる傷病名については、「その他」を除くと、「肺炎（誤嚥性肺炎以外）」13.8%で、「誤嚥性肺炎」9.3%が高くなっていた。

図表 102 入院退所の理由となった主たる傷病名（主たる傷病名）【退所者票 問 15】

	合計人数	高血圧	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	心不全	糖尿病	誤嚥性肺炎	肺炎 (誤嚥性肺炎以外)	呼吸器の病気 (肺炎以外)	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	骨折
全体	4,608	12 0.3%	260 5.6%	330 7.2%	54 1.2%	428 9.3%	635 13.8%	121 2.6%	352 7.6%	203 4.4%	273 5.9%
在宅強化型	571	3 0.5%	36 6.3%	51 8.9%	5 0.9%	61 10.7%	66 11.6%	9 1.6%	51 8.9%	28 4.9%	42 7.4%
従来型 (加算有り)	1,320	2 0.2%	65 4.9%	100 7.6%	11 0.8%	114 8.6%	196 14.8%	37 2.8%	89 6.7%	69 5.2%	78 5.9%
従来型 (加算無し)	2,465	7 0.3%	149 6.0%	165 6.7%	34 1.4%	231 9.4%	345 14.0%	67 2.7%	192 7.8%	101 4.1%	140 5.7%
療養型・ 療養強化型	156	0 0.0%	5 3.2%	9 5.8%	2 1.3%	13 8.3%	18 11.5%	6 3.8%	11 7.1%	3 1.9%	4 2.6%

	合計人数	骨折以外の筋骨格系の病気	外傷	悪性新生物	うつ病・精神疾患	認知症	パーキンソン病	その他	不明	無回答
全体	4,608	45 1.0%	21 0.5%	157 3.4%	68 1.5%	78 1.7%	13 0.3%	1,052 22.8%	90 2.0%	416 9.0%
在宅強化型	571	4 0.7%	4 0.7%	21 3.7%	3 0.5%	9 1.6%	2 0.4%	108 18.9%	15 2.6%	53 9.3%
従来型 (加算有り)	1,320	12 0.9%	5 0.4%	50 3.8%	24 1.8%	19 1.4%	1 0.1%	296 22.4%	29 2.2%	123 9.3%
従来型 (加算無し)	2,465	28 1.1%	10 0.4%	79 3.2%	38 1.5%	45 1.8%	9 0.4%	576 23.4%	40 1.6%	209 8.5%
療養型・ 療養強化型	156	1 0.6%	0 0.0%	4 2.6%	2 1.3%	2 1.3%	1 0.6%	46 29.5%	3 1.9%	26 16.7%

なお、入院退所の理由が感染症である場合に、具体的な感染症名の回答を求めたところ、88件の回答があった。内訳としては「尿路感染症」、「肺炎」の回答が多くみられた。

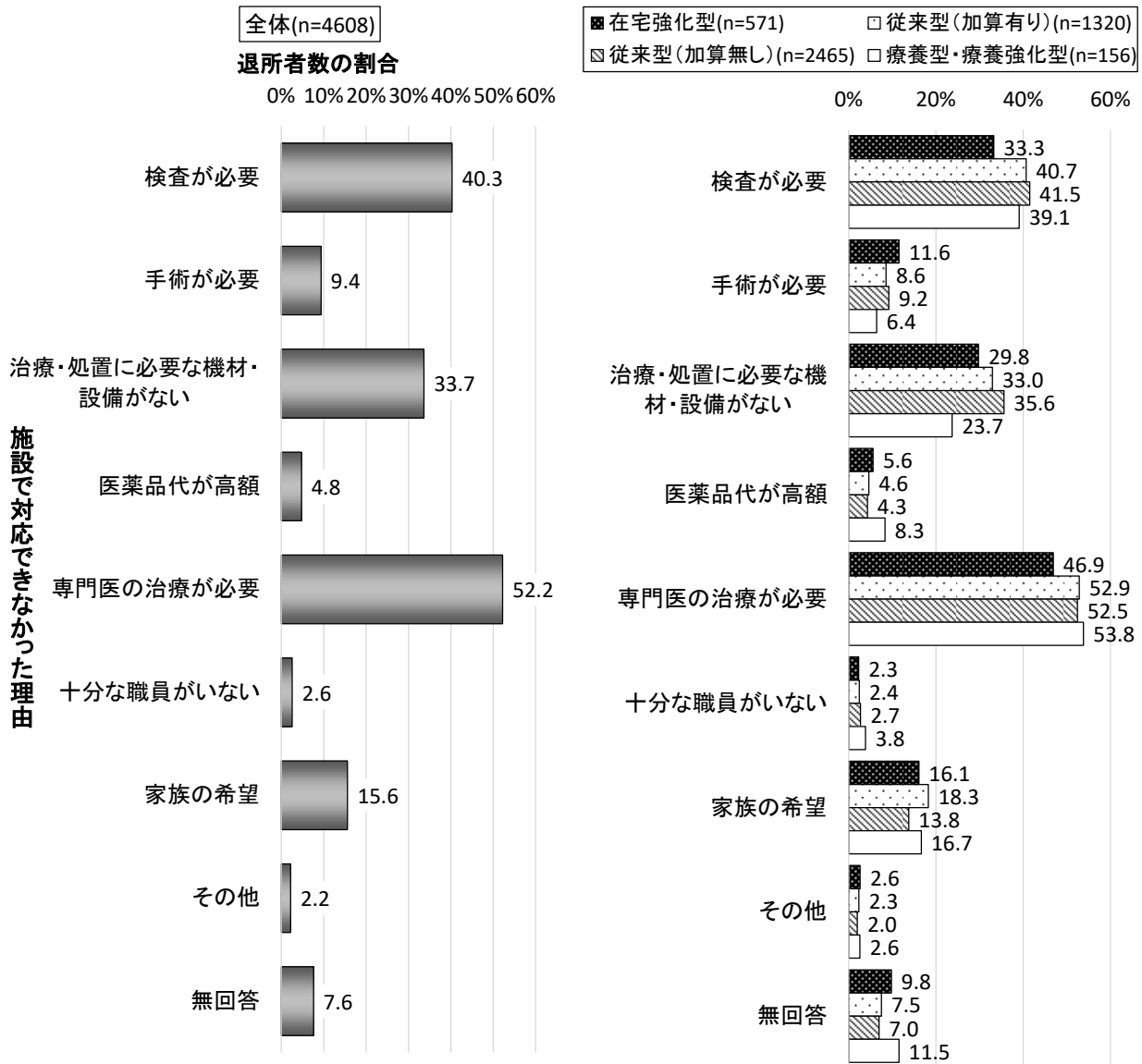
図表 103 具体的な感染症名（回答件数）【退所者票 問 15-2】

尿路感染症	38
肺炎	12
蜂窩織炎	7
MRSA	4
結核	4
CDトキシン	3
ESBL	3
インフルエンザ	2
ヘルペス	2
その他	13
計	88

(2) 施設内で対応出来なかった理由

入院退所について、施設内で対応できなかった理由を複数回答で尋ねたところ、「専門医の治療が必要」52.2%が最も高く、次いで「検査が必要」40.3%であった。

図表 104 施設内で対応できなかった理由（複数回答）【退所者票 問16】



IV 考察（老健施設の将来像 —在宅復帰機能と在宅療養支援機能の強化—）

研究班長 江澤 和彦

冒頭の背景でも述べたとおり、平成 29 年 6 月 2 日介護保険法が改正され、老健施設は、在宅復帰機能に加えて在宅療養支援機能を有する介護保険施設であることが明確化された。本事業では、現在の報酬体系の区分から老健施設を、在宅強化型、従来型（（在宅復帰・在宅療養支援機能）加算有り）、従来型（加算無し）、療養型・療養機能強化型の 4 類型に分け、それぞれの老健施設が有する機能（特徴的な取組）や在宅復帰の阻害要因を検討した。

1. 本事業の結果の概要

本研究事業の概要をお示しする（一覧表内においては、在宅強化型群を強化型、従来型（加算有り）群を加算型、従来型（加算無し）群を従来型と表記している）。

結果の概要（施設類型別の比較）		参照箇所
概要 1	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 3施設類型の比率は強化型 16.7%・加算型 31.4%・従来型 52.0%の分布であった。 ✓ 平均要介護度は、それぞれ 3.30/3.19/3.19 であり、認知症日常生活自立度の分布にも大きな差は認められなかった ✓ 従来型施設の半数が在宅復帰率 10%以下、1/3 の施設が 5%以下、17.6%の施設が 0%であった ✓ 強化型は医療機関併設の割合の方がやや多く、加算型・従来型は医療機関非併設の割合がやや多い 	図表 1 図表 45 図表 47 図表 22 図表 12
概要 2	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 医師の研修会等の受講実績割合は、強化型・加算型・従来型の順に高い ✓ 入所者の入所時点の主病名は、認知症、脳卒中、骨折の順に多く、実施されている医療処置は、胃瘻・腸瘻による栄養管理・洗腸・排便・簡易血糖測定・喀痰吸引・カテーテル・創傷処置の順に多く、3 類型に大きな差は認められなかった 	図表 15 図表 48、49 図表 50、51
概要 3	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 強化型→加算型→従来型の順に数値の高い項目 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 通所・訪問リハ実施人数 ➢ 通所リハのリハマネⅡ算定人数及び割合 ➢ リハビリ専門職配置数（4.9→4.6→3.8/入所定員 100 人） ➢ 支援相談員（2.3→2.0→1.7/入所定員 100 人） ➢ 新規入所者に占める自宅等からの再入所者人数及び割合 ➢ 在宅復帰率（60.7%→41.1%→12.1%） ➢ 退所者数（人/月）（13.5→9.0→5.8/入所定員 100 人）（死亡退所除く） ➢ 死亡退所者数（人/月）（1.0→0.7→0.7/入所定員 100 人） 	図表 8、9 図表 10 図表 16 図表 16 図表 20 図表 22 図表 18 図表 18
概要 4	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 強化型→加算型→従来型の順に数値の高い項目 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 在宅復帰者数（人/月）（8.2→3.7→0.7/入所定員 100 人） （入所期間 1 か月超で、在宅生活の継続見込み（要介護 1～3 は 1 月以上、要介護 4・5 は 14 日以上）を確認できている者） ➢ 入所前後訪問指導加算の算定施設割合 ➢ 退所前・後訪問指導/退所時指導/退所時情報提供/退所前連携の加算算定+入所期間 1 か月未満の退所者への退所前後の連携に関する取組や複数名訪問をしている施設の割合 ➢ 看取りへの対応（死亡退所者数に占める割合） 	図表 18 図表 59 図表 61 図表 63 図表 70

	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 地域リハ活動支援事業／地域ケア会議／介護事業所等へ訪問・派遣／地域住民活動（介護教育・健康教室・訪問派遣・認知症カフェ等の集いの場・民生委員等と連携） 	図表 71
概要 5	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 新規入所者に占める病院等からの再入所者割合は従来型・加算型・強化型の順に多く、1月当たり人数は2.4人・2.4人・2.3人（／入所定員100人）と同程度であった ✓ 退所者に占める死亡割合は強化型・加算型・従来型の順に6.8%・7.1%・10.3%であり、過去1年当たりの死亡退所者数11.2人・8.3人・8.0人／入所定員100人。 ✓ ターミナルケア加算についての設問に回答した施設における死亡退所者数は、強化型、加算型、従来型の順に13.2人・10.2人・11.3人／入所定員100人、ターミナルケア加算の算定人数は9.5人・7.1人・6.6人／入所定員100人、アドバンス・ケア・プランニング（ACP）実施人数11.1人・7.4人・7.1人／入所定員100人であった ✓ 入所者の重症者割合（要介護4・5割合）・喀痰吸引及び経管栄養実施割合に3類型において大きな差は認められなかった 	<p>図表 19</p> <p>図表 32</p> <p>図表 70</p> <p>図表 23, 24, 25</p>
概要 6	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ベッド稼働率は、強化型85.6%・加算型88.2%・従来型90.4%であり、回転率は、強化型16.7%・加算型10.9%・従来型7.2%であり、従来型の83.6%が回転率10%以下、26.4%が回転率5%以下であった 	図表 26, 27
概要 7	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 過去1年間の新規入所者数（／入所定員100人） <ul style="list-style-type: none"> ➤ 強化型164.4人（入所前居所：病院75.8人（46.1%）／自宅70.0人（42.6%） <ul style="list-style-type: none"> →うち要介護4・5：62.2人（病院33.6人／自宅21.5人） →うち認知症Ⅲb・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ：28.2人（病院13.8人／自宅10.7人） ➤ 加算型116.9人（入所前居所：病院68.0人（58.2%）／自宅37.5人（32.1%） <ul style="list-style-type: none"> →うち要介護4・5：42.2人（病院28.2人／自宅10.0人） →うち認知症Ⅲb・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ：18.0人（病院11.6人／自宅4.5人） ➤ 従来型75.5人（入所前居所：病院52.3人（69.2%）／自宅16.8人（22.3%） <ul style="list-style-type: none"> →うち要介護4・5：29.9人（病院23.5人／自宅4.1人） →うち認知症Ⅲb・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ：15.2人（病院11.7人／自宅2.3人） 	図表 28, 30, 31
概要 8	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 過去1年間の退所者数（／入所定員100人） <ul style="list-style-type: none"> ➤ 強化型166.1人（退所後居所：病院37.7人（22.7%）／自宅76.0人（45.7%） <ul style="list-style-type: none"> →うち自宅等：96.7人（58.2%） →うち死亡退所：11.2人（6.8%） ➤ 加算型116.7人（退所後居所：病院43.5人（37.3%）／自宅36.5人（31.3%） <ul style="list-style-type: none"> →うち自宅等：47.3人（40.5%） →うち死亡退所：8.3人（7.1%） ➤ 従来型77.8人（退所後居所：病院45.6人（58.5%）／自宅11.0人（14.1%） <ul style="list-style-type: none"> →うち自宅等：13.6人（17.4%） →うち死亡退所：8.0人（10.3%） 	図表 32, 34
概要 9	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 過去1年間の自宅等への退所者の入所前居所（／入所定員100人） <ul style="list-style-type: none"> ➤ 強化型：医療機関33.7人（34.6%）／自宅等59.6人（61.2%） ➤ 加算型：医療機関20.5人（41.9%）／自宅等25.5人（52.1%） ➤ 従来型：医療機関6.5人（43.1%）／自宅等7.2人（48.3%） 	図表 40

	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 退所者のうち、入所期間1か月以内に退所した割合は、強化型7.2%・加算型8.4%・従来型11.6%であり、在宅復帰を目指したリハビリや特養等への入所調整が主たる利用目的であった 	図表 35, 36
概要 10	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 1年間の肺炎による退所者数は10.6人/入所定員100人であり、退所者(104.1名/入所定員100人)に占める割合10.2%、医療機関退所者の23.9%であり、そのうち誤嚥性肺炎による退所者数は5.2人/入所定員100人であり、医療機関退所者数の11.8%であり、3類型に大きな差は認められなかった ✓ 1週間以内の短期入院により再入所となった人数(入所定員100人あたり)(医療機関への退所者に占める割合)は、強化型2.0人(5.3%)・加算型3.0人(6.8%)・従来型4.0人(8.5%)であり、専門的な検査入院や胃瘻の造設・交換が主な理由であった 	図表 37 図表 39
概要 11	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 入所から1年以上経過している人数(入所定員100人)は、強化型21.4人・加算型34.5人・従来型50.0人であり、在宅の介護力が期待できない者が多かった ✓ 退所困難理由は、家族の希望、特養の入所待ち、認知症重度が主な理由であった ✓ 従来型では、入所期間1年以上の利用者が入所者全体の半数以上を占める施設が64.7%であった 	図表 52 図表 53 図表 55

本研究事業においては、強化型、加算型、従来型の発揮している役割の差異が明らかとなった。強化型群、加算型群、従来型群の順に、数値が高い項目は、リハビリ専門職配置数、支援相談員配置数、入所前後訪問指導・退所前後訪問指導・退所時指導、看取り対応、地域貢献活動の実施等であった。また、要介護度4・5、認知症日常生活自立度Ⅲb・Ⅳ・Mの重度者の受け入れ人数についても、病院から自宅からの両者共に強化型群、加算型群、従来型群の順に多く、医療機関から入所し自宅等へ復帰した人数についても同様の結果であった。また、年間のベッド稼働率について調査を実施したが、それぞれの平均値は、強化型群85.6%、加算型群88.2%、従来型群90.4%であり、在宅復帰率の高い群ほどベッド稼働率が低い一方で、従来型群においても平均的に1割のベッドが空床化していることが明らかとなり、現状の課題であることが認識された。

全体像として、強化型は、在宅療養支援の取り組みも充実している一方で、従来型は、在宅療養支援への取り組みが乏しく、今後の課題と認識されると共に、在宅療養支援機能を強化することにより、在宅復帰機能が高まることも期待される結果となった。

総括として、今後の老健施設の在り方として、在宅療養支援機能を充実することにより在宅復帰を強化した施設類型と一定の在宅復帰機能を有する在宅療養支援を併せ持つ施設類型を今後確立していくことが必要であると考えられる。

2. 老健施設の将来像

この度の介護保険法改正及び本研究事業の結果を踏まえ、平成30年度介護報酬改定がなされ、今後の老健施設としての役割がますます問われることとなった。遅くとも平成33年度(2021年度)介護報酬改定までには、老健施設として機能を発揮していなければ存在意義が問われることになる。従って、現行の強化型でもなく加算型でもなく、全体の約55%を占める従来型の老健施設をあるべき姿に如何に誘導するかも平成30年度介護報酬改定の課題であった。具体的には、老健施設があるべき姿を目指すに当たり、クリアすることが望ましいハードルを設定し、総合評価することとなった。

21. 介護老人保健施設 ①在宅復帰・在宅療養支援機能に対する評価 (続き)

算定要件等					
	超強化型 在宅復帰・在宅療養支援機能加算(Ⅱ)	在宅強化型	加算型 在宅復帰・在宅療養支援機能加算(Ⅰ)	基本型	その他型 (左記以外)
在宅復帰・在宅療養支援等指標(最高値:90)	70以上	60以上	40以上	20以上	
退所時指導等	要件あり	要件あり	要件あり	要件あり	左記の要件を満たさない
リハビリテーションマネジメント	要件あり	要件あり	要件あり	要件あり	
地域貢献活動	要件あり	要件あり	要件あり	要件なし	
充実したリハ	要件あり	要件あり	要件なし	要件なし	

在宅復帰・在宅療養支援等指標 :					評価項目	算定要件
下記評価項目(①~⑩)について、項目に応じた値を足し合わせた値(最高値:90)					退所時指導等	a: 退所時指導 入所者の退所時に、当該入所者及びその家族等に対して、退所後の療養上の指導を行っていること。 b: 退所後の状況確認 入所者の退所後30日※以内に、その居宅を訪問し、又は指定居宅介護支援事業者から情報提供を受けることにより、在宅における生活が1月※以上継続する見込みであることを確認し、記録していること。
①在宅復帰率	50%超 20	30%超 10	30%以下 0			
②ベッド回転率	10%以上 20	5%以上 10	5%未満 0			
③入所前後訪問指導割合	30%以上 10	10%以上 5	10%未満 0			
④退所前後訪問指導割合	30%以上 10	10%以上 5	10%未満 0			
⑤居宅サービスの実施数	3サ-ビス 5	2サ-ビス 3	1サ-ビス 2	0サ-ビス 0		
⑥リハ専門職の配置割合	5以上 5	3以上 3	3未満 0			
⑦支援相談員の配置割合	3以上 5	2以上 3	2未満 0			
⑧要介護4又は5の割合	50%以上 5	35%以上 3	35%未満 0			
⑨喀痰吸引の実施割合	10%以上 5	5%以上 3	5%未満 0			
⑩経管栄養の実施割合	10%以上 5	5%以上 3	5%未満 0			
					リハビリテーション	入所者の心身の諸機能の維持回復を図り、日常生活の自立を助けるため、理学療法、作業療法その他必要なリハビリテーションを計画的に行い、適宜その評価を行っていること。
					地域貢献活動	地域に貢献する活動を行っていること。
					充実したリハ	少なくとも週3回程度以上のリハビリテーションを実施していること。

※要介護4・5については、2週間。 222

第158回介護給付費分科会資料より抜粋

在宅復帰・在宅療養支援機能に対する評価	
平成30年1月26日 第158回介護給付費分科会資料参照(別紙1-3 指定施設サービス等に要する費用の額の算定に関する基準)	
①	算定日が属する月の前六月間において、退所者のうち、在宅において介護を受けることとなったもの(当該施設における入所期間が一月間を超えていた退所者に限る。)の占める割合が百分の五十を超える場合は二十、百分の五十以下であり、かつ百分の三十を超える場合は十、百分の三十以下である場合は零となる数
②	三十・四を当該施設の平均所在日数で除して得た数が百分の十以上である場合は二十、百分の五以上である場合は十、百分の五未満である場合は零となる
③	算定日が属する月の前三月間において、入所者のうち、入所期間が一月を超えると見込まれる者の入所予定前三十日以内又は入所後七日以内に当該者が退所後の生活することが見込まれる居宅を訪問し、退所を目的とした施設サービス計画の策定及び診療方針の決定(退所後にその居宅ではなく、他の福祉施設等に入所する場合であって、当該者の同意を得て、当該社会福祉施設等を訪問し、退所を目的とした施設サービス計画の策定及び診療方針の決定を行った場合を含む。)を行った者の占める割合が百分の三十以上である場合は十、百分の三十未満であり、かつ、百分の十以上である場合は五、百分の十未満である場合は零となる数。
④	算定日が属する月の前三月間において、入所者のうち、入所期間が一月を超えると見込まれる者の退所前三十日以内又は退所後三十日以内に当該者が退所後生活することが見込まれる居宅を訪問し、当該者及びその家族等に対して退所後の療養上の指導を行った者(退所後にその居宅ではなく、他の社会福祉施設等に入所する場合であって、当該者の同意を得て、当該社会福祉施設等を訪問し、連絡調整、情報提供等を行った場合を含む。)の占める割合が百分の三十以上である場合は十、百分の三十未満であり、かつ、百分の十以上である場合は五、百分の十未満である場合は零となる数。
⑤	法第八条第五項に規定する訪問リハビリテーション、法第八条項に規定する通所リハビリテーション及び法第八条第十項に規定する短期入所療養介護について、当該施設(当該施設に併設する病院、診療所、介護老人保健施設及び介護医療院を含む。)において全てのサービスを実施している場合は

	五、いずれか二種類のサービスを実施している場合は三、いずれか一種類のサービスを実施している場合は二、いずれも実施していない場合は零となる数。
⑥	当該施設において、常勤換算法で算定したリハビリテーションを担当する理学療法士、作業療法士又は言語聴覚士の数を入所者の数で除した数に百を乗じた数が五以上である場合は五、五未満であり、かつ、三以上である場合は三、三未満である場合は零となる数。
⑦	当該施設において、常勤換算法で算定した支援相談員の数を入所者の数で除した数に百を乗じた数が三以上である場合は五、三未満であり、かつ、二以上である場合は三、二未満である場合は零となる数。
⑧	算定日が属する月の前三月間における入所者のうち、要介護状態区分が要介護四又は要介護五の者の占める割合が百分の五十以上である場合は五、百分の五十未満であり、かつ、百分の三十五以上である場合は三、百分の三十五未満である場合は零となる数。
⑨	算定日が属する月の前三月間における入所者のうち、喀痰吸引が実施された者の占める割合が百分の十以上である場合は五、百分の十未満であり、かつ、百分の五以上である場合は三、百分の五未満である場合は零となる数。
⑩	算定日が属する月の前三月間における入所者のうち、経管栄養が実施された者の占める割合が百分の十以上である場合は五、百分の十未満であり、かつ、百分の五以上である場合は三、百分の五未満である場合は零となる数。

新たに基本報酬を評価する 10 項目の在宅復帰・在宅療養支援等指標とそれぞれの項目に応じた値は、①在宅復帰率:20、②ベッド回転率:20、③入所前後訪問指導割合:10、④退所前後訪問指導割合:10、⑤居宅サービスの実施数:5、⑥リハ専門職の配置割合:5、⑦支援相談員の配置割合:5、⑧要介護度 4 又は 5 の割合:5、⑨喀痰吸引の実施割合:5、⑩経管栄養の実施割合:5 であり、項目に応じた値の合計は 90 となる。10 項目評価の合計値により、70 以上:超強化型、60 以上:在宅強化型、40 以上:加算型、20 以上:基本型に類型化されるが、「退所時指導」「退所後の状況確認」及び「リハビリテーションマネジメント」は 4 つの類型全てに要件化、「地域貢献活動」は加算型以上に要件化、「充実したリハ」は在宅強化型以上に要件化されている。評価項目合計値 20 未満等いずれの要件も満たさない場合は、その他型の類型となり、基本報酬が適正化されるだけでなく、各種加算も算定不可となる厳しい取り扱いとなる。

上記の 10 項目のうち、③④⑤⑥⑦は施設側の自助努力でコントロール可能な指標であり、仮に、①②の評価を全く満たさなくとも、在宅療養支援の取り組みにより基本型を最低限として、加算型を目指すことが可能な仕組みとなっている。在宅強化型以上の要件である「充実したリハ」は週 3 回程度以上の個別リハの実施が求められる見込みであり、要件の中ではハードルが高いが、評価項目のリハ専門職の配置を満たすことにより本要件をクリア出来る。基本報酬の変動は、従来型老健施設から基本型にて+3 単位・加算型にて+37 単位、強化型老健施設から在宅強化型にて+6 単位・超強化型にて+52 単位となり、稼働状況が同等であれば、老健施設の取り組み努力により増収が見込める。また、これらの在宅復帰・在宅療養支援等指標 10 項目の要件を満たすことにより、在宅復帰率や回転率が高まることも期待される。来るべき 3 年後の次回報酬改定に向けて、在宅療養支援と在宅復帰の機能をより発揮することにより、出来る限り上位の類型を目指すことが方策となる。

今後の老健施設の在るべき姿として、平成 30 年度介護報酬改定における基本型は、老健施設の担う役割を考慮すると経過的な過渡期にあるとも考えられ、将来的には、一定の在宅復帰機能を有する在宅療養支援機能の充実した「在宅療養支援型」と充実した在宅療養支援機能を有することにより在宅復帰機能を強化した「在宅復帰型」を確立していく方策も考えられる。今後、在

宅復帰と在宅療養支援の役割をバランス良く充実し、地域包括ケアシステムの構築に資する社会資源として、地域貢献の役割を担うことが老健施設の重要な評価指標となるであろう。

資料編

1. 単純集計表

■施設票

問1(1) 開設年

有効度数	1,504
欠損値	25
平均値	1,998.5
標準偏差	7.5
25パーセンタイル	1994
50パーセンタイル	1997
75パーセンタイル	2002

問1(2) 開設主体

	度数	パーセント	有効パーセント
1. 医療法人	1,049	68.6	68.9
2. 市区町村、広域連合、一部事務組合	67	4.4	4.4
3. 社会福祉法人	291	19.0	19.1
4. その他	116	7.6	7.6
無回答	6	0.4	
合計	1,529	100.0	100.0

問1(3) 介護報酬上の届出

	度数	パーセント	有効パーセント
1. 在宅強化型	239	15.6	15.7
2. 療養型・療養強化型	62	4.1	4.1
3. 1～2以外(従来型)	1,217	79.6	80.2
無回答	11	0.7	
合計	1,529	100.0	100.0

問1(4) 【問1(3)で3. 1～2以外(従来型)と回答した場合】在宅復帰・在宅療養支援機能加算の届出の有無

	度数	パーセント	有効パーセント
1. 有	450	37.0	36.7
2. 無	745	61.2	63.3
無回答	22	1.8	
対象外	312		
合計	1,529	100.0	100.0

問1(5) 入所定員数

有効度数	1,529
欠損値	0
平均値	91.3
標準偏差	27.7
合計	139,592
25パーセンタイル	80.0
50パーセンタイル	100.0
75パーセンタイル	100.0

問1(6) 実施しているサービス(複数回答)

	度数	パーセント	有効パーセント
1. 短期入所療養介護	1,351	88.4	88.6
2. 通所リハビリテーション	1,425	93.2	93.4
3. 訪問リハビリテーション	434	28.4	28.5
4. 1～3いずれもなし	24	1.6	1.6
無回答	4	0.3	
合計	1,529	100.0	100.0

問1(6) 通所リハビリテーション

	定員数	利用者実人数	延べ利用者数
有効度数	1,299	1,299	1,299
欠損値	230	230	230
平均値	41.6	93.2	729.1
標準偏差	23.6	95.2	493.7
合計	53,982	121,098	947,155
25パーセンタイル	29.00	49.00	411.00
50パーセンタイル	40.0	78.0	644.0
75パーセンタイル	50.0	112.0	906.0

問1(6) 訪問リハビリテーション

	利用者実人数	延べ利用者数
有効度数	406	406
欠損値	1,123	1,123
平均値	15.3	109.9
標準偏差	26.4	192.7
合計	6,224	44,600
25パーセンタイル	0.0	0.0
50パーセンタイル	4.5	30.5
75パーセンタイル	21.0	144.0

問1(7) 利用者実人数

有効度数	1,232
欠損値	297
平均値	12.3
標準偏差	26.5
合計	15,164
25パーセンタイル	0.0
50パーセンタイル	0.0
75パーセンタイル	11.0

問1(8) 病院または診療所の併設状況

	度数	パーセント	有効パーセント
1. 病院併設	511	33.4	33.6
2. 診療所併設	231	15.1	15.2
3. 無	780	51.0	51.2
無回答	7	0.5	
合計	1,529	100.0	100.0

問1(9)【病院もしくは診療所を併設している場合】併設の医療機関で実施しているサービス(複数回答)

	度数	パーセント	有効パーセント
1. 医療機関でのリハビリテーション	490	66.0	67.3
a. 介護保険	106	14.3	14.6
b. 介護保険	429	57.8	58.9
2. 訪問リハビリテーション	242	32.6	33.2
a. 介護保険	188	25.3	25.8
b. 介護保険	111	15.0	15.2
3. 訪問看護	317	42.7	43.5
a. 介護保険	216	29.1	29.7
b. 介護保険	261	35.2	35.9
4. 1～3いずれもなし	148	19.9	20.3
無回答	14	1.9	
対象外	787		
合計	1,529	100.0	100.0

問2(1) 管理医師の専門家(複数回答)

	度数	パーセント	有効パーセント
1. 内科(神経・腎臓を除く)	844	55.2	56.3
2. 小児科	73	4.8	4.9
3. 皮膚科	37	2.4	2.5
4. 神経科(精神科)	85	5.6	5.7
5. 外科(脳神経・整形・形成外科を除く)	335	21.9	22.3
6. 整形外科	119	7.8	7.9
7. 産婦人科	89	5.8	5.9
8. 眼科	18	1.2	1.2
9. 耳鼻咽喉科	36	2.4	2.4
10. 泌尿器科	59	3.9	3.9
11. 脳神経外科	71	4.6	4.7
12. 神経内科	52	3.4	3.5
13. 老年科	18	1.2	1.2
14. 腎臓内科(人工透析)	28	1.8	1.9
15. 放射線科	41	2.7	2.7
16. 麻酔科	55	3.6	3.7
17. 病理	5	0.3	0.3
18. 臨床検査	8	0.5	0.5
19. 救急科	7	0.5	0.5
20. 形成外科	17	1.1	1.1
21. リハビリテーション科	62	4.1	4.1
22. 総合診療科	33	2.2	2.2
23. その他	65	4.3	4.3
無回答	29	1.9	
合計	1,529	100.0	100.0

問2(2) 管理医師のこれまでの研修会等の受講実績(複数回答)

	度数	パーセント	有効パーセント
1. 老人保健施設管理医師総合診療研修会	132	8.6	9.3
2. 全老健主催の医師研修会	221	14.5	15.6
3. 老健医療研究会	102	6.7	7.2
4. 認知症サポート医養成研修	213	13.9	15.1
5. 4以外の、認知症短期集中リハビリテーション実施加算を算定するための研修会	641	41.9	45.3
6. かかりつけ医機能研修制度 応用研修	77	5.0	5.4
7. 地域包括診療加算・地域包括診療料に係る かかりつけ医研修会	63	4.1	4.5
8. 上記1～7の研修会はいずれも受講していない	223	14.6	15.8
9. わからない	319	20.9	22.6
無回答	115	7.5	
合計	1,529	100.0	100.0

問3 職員数

	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	看護職員	介護職員	介護支援専門員	支援相談員
有効度数	1,341	1,341	1,341	1,341	1,341	1,341	1,341
欠損値	188	188	188	188	188	188	188
平均値	2.1	1.5	0.3	10.6	30.3	1.8	1.8
標準偏差	1.4	1.2	0.5	3.5	10.5	1.4	0.9
合計	2,842	2,049	401	14,266	40,659	2,400	2,356
25パーセンタイル	1.0	0.7	0.0	8.7	24.0	1.0	1.0
50パーセンタイル	2.0	1.1	0.0	10.4	29.5	1.2	1.8
75パーセンタイル	3.0	2.0	0.5	12.0	35.6	2.0	2.0

問4 ①新規入所者数

	平成28年(2016年)						
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
有効度数	918	918	918	918	918	918	918
欠損値	611	611	611	611	611	611	611
平均値	8.2	7.9	7.6	8.0	8.0	8.6	8.6
標準偏差	5.5	4.9	4.6	5.1	5.1	5.3	5.3
合計	7,521	7,266	6,953	7,309	7,319	7,924	
25パーセンタイル	4.0	5.0	4.0	4.0	4.0	5.0	5.0
50パーセンタイル	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	8.0	8.0
75パーセンタイル	11.0	10.0	10.0	10.0	11.0	11.0	11.0

問4 ①新規入所者数

	平成29年(2017年)					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
有効度数	918	918	918	918	918	918
欠損値	611	611	611	611	611	611
平均値	7.4	7.4	8.4	7.9	8.2	8.4
標準偏差	4.6	4.9	5.2	4.9	5.0	5.3
合計	6,798	6,766	7,669	7,294	7,530	7,746
25パーセンタイル	4.0	4.0	5.0	4.0	5.0	5.0
50パーセンタイル	7.0	7.0	8.0	7.0	7.0	7.0
75パーセンタイル	10.0	10.0	11.0	11.0	11.0	11.0

問4 ②うち再入所者(病院等からの再入所)

	平成28年(2016年)					
	7月	8月	9月	10月	11月	12月
有効度数	918	918	918	918	918	918
欠損値	611	611	611	611	611	611
平均値	2.2	2.3	2.3	2.3	2.2	2.3
標準偏差	2.4	2.5	2.5	2.6	2.5	2.4
合計	2,014	2,118	2,120	2,143	2,024	2,124
25パーセンタイル	0.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
50パーセンタイル	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
75パーセンタイル	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0

問4 ②うち再入所者(病院等からの再入所)

	平成29年(2017年)					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
有効度数	918	918	918	918	918	918
欠損値	611	611	611	611	611	611
平均値	2.1	2.2	2.3	2.1	2.2	2.3
標準偏差	2.2	2.4	2.6	2.3	2.4	2.5
合計	1,942	1,987	2,143	1,888	2,036	2,071
25パーセンタイル	1.0	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0
50パーセンタイル	2.0	2.0	2.0	1.0	2.0	2.0
75パーセンタイル	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0

問4 ③うち再入所者(自宅等からの再入所)

	平成28年(2016年)					
	7月	8月	9月	10月	11月	12月
有効度数	918	918	918	918	918	918
欠損値	611	611	611	611	611	611
平均値	2.0	1.4	1.2	1.5	1.7	2.0
標準偏差	3.2	2.3	1.9	2.4	2.6	3.0
合計	1,868	1,330	1,120	1,372	1,559	1,867
25パーセンタイル	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
50パーセンタイル	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0	1.0
75パーセンタイル	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	3.0

問4 ③うち再入所者(自宅等からの再入所)

	平成29年(2017年)					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
有効度数	918	918	918	918	918	918
欠損値	611	611	611	611	611	611
平均値	1.6	1.1	1.3	1.3	1.4	1.7
標準偏差	2.5	1.9	2.2	2.3	2.2	2.6
合計	1,503	986	1,182	1,183	1,293	1,517
25パーセンタイル	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
50パーセンタイル	1.0	0.0	0.0	0.0	0.5	1.0
75パーセンタイル	2.0	1.0	2.0	2.0	2.0	2.0

問4 ④退所者数(死亡退所者を含む)

	平成28年(2016年)					
	7月	8月	9月	10月	11月	12月
有効度数	918	918	918	918	918	918
欠損値	611	611	611	611	611	611
平均値	7.7	7.8	8.2	8.3	7.7	7.9
標準偏差	4.8	4.8	5.3	5.3	4.8	4.9
合計	7,056	7,115	7,518	7,659	7,026	7,292
25パーセンタイル	4.0	4.0	4.0	5.0	4.0	4.0
50パーセンタイル	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0
75パーセンタイル	10.0	10.0	11.0	11.0	10.0	10.0

問4 ④退所者数(死亡退所者を含む)

	平成29年(2017年)					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
有効度数	918	918	918	918	918	918
欠損値	611	611	611	611	611	611
平均値	7.4	7.3	8.7	8.8	8.6	8.0
標準偏差	4.4	4.7	5.6	5.5	5.3	5.0
合計	6,750	6,685	7,975	8,059	7,867	7,326
25パーセンタイル	4.0	4.0	5.0	5.0	5.0	4.0
50パーセンタイル	7.0	6.0	8.0	8.0	7.0	7.0
75パーセンタイル	10.0	10.0	12.0	12.0	11.3	11.0

問4 ⑤うち死亡退所

	平成28年(2016年)					
	7月	8月	9月	10月	11月	12月
有効度数	918	918	918	918	918	918
欠損値	611	611	611	611	611	611
平均値	0.6	0.6	0.6	0.7	0.7	0.7
標準偏差	1.1	1.0	1.1	1.0	1.0	1.2
合計	569	558	596	599	609	683
25パーセンタイル	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
50パーセンタイル	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
75パーセンタイル	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0

問4 ⑤うち死亡退所

	平成29年(2017年)					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
有効度数	918	918	918	918	918	918
欠損値	611	611	611	611	611	611
平均値	0.8	0.7	0.8	0.7	0.7	0.7
標準偏差	1.3	1.1	1.2	1.1	1.1	1.1
合計	763	674	691	620	606	610
25パーセンタイル	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
50パーセンタイル	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
75パーセンタイル	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0

問4 ⑥うち自宅等へ退所した人数

	平成28年(2016年)					
	7月	8月	9月	10月	11月	12月
有効度数	918	918	918	918	918	918
欠損値	611	611	611	611	611	611
平均値	2.6	2.5	3.2	3.3	2.6	2.6
標準偏差	3.0	3.0	3.7	3.7	3.0	3.0
合計	2,424	2,331	2,923	2,995	2,356	2,353
25パーセンタイル	0.0	0.0	1.0	0.8	0.0	0.0
50パーセンタイル	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
75パーセンタイル	4.0	4.0	5.0	5.0	4.0	4.0

問4 ⑥うち自宅等へ退所した人数

	平成29年(2017年)					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
有効度数	918	918	918	918	918	918
欠損値	611	611	611	611	611	611
平均値	2.0	2.2	3.3	3.6	3.3	3.0
標準偏差	2.6	2.8	3.9	3.8	3.6	3.3
合計	1,845	2,023	3,042	3,287	3,018	2,712
25パーセンタイル	0.0	0.0	0.8	1.0	1.0	0.0
50パーセンタイル	1.0	1.0	2.0	2.0	2.0	2.0
75パーセンタイル	3.0	3.0	5.0	5.0	5.0	4.3

問4 ⑦うち入所期間が1か月超で、在宅生活の継続見込を確認できている者

	平成28年(2016年)					
	7月	8月	9月	10月	11月	12月
有効度数	918	918	918	918	918	918
欠損値	611	611	611	611	611	611
平均値	2.3	2.2	2.8	2.9	2.3	2.2
標準偏差	2.9	2.8	3.5	3.5	2.8	2.9
合計	2,132	2,034	2,609	2,647	2,076	2,059
25パーセンタイル	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
50パーセンタイル	1.0	1.0	2.0	2.0	1.0	1.0
75パーセンタイル	4.0	3.0	4.0	4.0	3.0	3.0

問4 ⑦うち入所期間が1か月超で、在宅生活の継続見込を確認できている者

	平成29年(2017年)					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
有効度数	918	918	918	918	918	918
欠損値	611	611	611	611	611	611
平均値	1.7	1.9	3.0	3.2	2.9	2.6
標準偏差	2.5	2.6	3.7	3.7	3.4	3.1
合計	1,606	1,764	2,732	2,976	2,703	2,399
25パーセンタイル	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
50パーセンタイル	1.0	1.0	2.0	2.0	2.0	2.0
75パーセンタイル	3.0	3.0	5.0	5.0	5.0	4.0

問4 ⑧入所延べ日数

	平成28年(2016年)					
	7月	8月	9月	10月	11月	12月
有効度数	918	918	918	918	918	918
欠損値	611	611	611	611	611	611
平均値	2,531.4	2,545.3	2,459.4	2,519.3	2,444.7	2,544.5
標準偏差	788.6	785.2	764.5	790.5	769.5	789.3
合計	2,323,816	2,336,588	2,257,757	2,312,674	2,244,202	2,335,841
25パーセンタイル	2,109.0	2,131.3	2,033.3	2,097.3	2,046.3	2,111.5
50パーセンタイル	2,609.0	2,617.0	2,534.5	2,584.5	2,523.0	2,626.5
75パーセンタイル	2,899.3	2,908.3	2,816.0	2,903.3	2,795.3	2,903.8

問4 ⑧入所延べ日数

	平成29年(2017年)					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
有効度数	918	918	918	918	918	918
欠損値	611	611	611	611	611	611
平均値	2,548.8	2,318.3	2,560.7	2,457.4	2,522.8	2,447.1
標準偏差	782.8	717.0	791.0	766.4	795.6	768.3
合計	2,339,839	2,128,208	2,350,746	2,255,882	2,315,903	2,246,436
25パーセンタイル	2,099.5	1,925.5	2,138.8	2,041.8	2,076.8	2,027.3
50パーセンタイル	2,638.0	2,402.5	2,654.0	2,541.0	2,597.0	2,521.5
75パーセンタイル	2,913.3	2,635.3	2,920.3	2,798.0	2,893.3	2,802.5

問4 ⑨うち要介護4・5の入所者の入所延べ日数

	平成28年(2016年)					
	7月	8月	9月	10月	11月	12月
有効度数	918	918	918	918	918	918
欠損値	611	611	611	611	611	611
平均値	1,141.0	1,145.5	1,113.1	1,144.8	1,106.3	1,138.9
標準偏差	513.2	511.7	499.2	513.1	498.9	515.7
合計	1,047,474	1,051,570	1,021,788	1,050,924	1,015,593	1,045,479
25パーセンタイル	794.5	807.8	778.8	806.0	766.3	787.3
50パーセンタイル	1,095.5	1,108.5	1,061.5	1,097.5	1,070.0	1,091.5
75パーセンタイル	1,403.0	1,423.0	1,381.5	1,417.0	1,354.3	1,395.0

問4 ⑨うち要介護4・5の入所者の入所延べ日数

	平成29年(2017年)					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
有効度数	918	918	918	918	918	918
欠損値	611	611	611	611	611	611
平均値	1,131.8	1,022.6	1,131.2	1,089.2	1,120.2	1,094.1
標準偏差	515.1	468.9	514.3	495.5	513.9	498.6
合計	1,039,012	938,733	1,038,416	999,893	1,028,359	1,004,355
25パーセンタイル	799.8	708.5	798.3	769.8	783.0	774.3
50パーセンタイル	1,087.0	966.5	1,078.0	1,033.0	1,069.0	1,053.0
75パーセンタイル	1,396.0	1,252.3	1,385.5	1,350.5	1,381.3	1,353.3

問4 ⑩うち喀痰吸引実施者の入所延べ日数

	平成28年(2016年)					
	7月	8月	9月	10月	11月	12月
有効度数	918	918	918	918	918	918
欠損値	611	611	611	611	611	611
平均値	118.3	119.6	114.3	117.8	114.2	119.1
標準偏差	190.6	194.4	182.4	185.9	179.1	212.8
合計	108,636	109,838	104,909	108,108	104,836	109,327
25パーセンタイル	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
50パーセンタイル	62.0	62.0	60.0	62.0	60.0	62.0
75パーセンタイル	155.0	155.0	150.0	155.0	150.0	155.0

問4 ⑩うち喀痰吸引実施者の入所延べ日数

	平成29年(2017年)					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
有効度数	918	918	918	918	918	918
欠損値	611	611	611	611	611	611
平均値	115.9	104.4	110.6	110.2	108.6	106.1
標準偏差	183.5	169.1	174.4	179.4	168.4	166.3
合計	106,360	95,882	101,505	101,183	99,701	97,381
25パーセンタイル	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
50パーセンタイル	62.0	56.0	62.0	60.0	62.0	60.0
75パーセンタイル	155.0	140.0	155.0	146.3	142.3	146.0

問4 ⑪うち経管栄養実施者の入所延べ日数

	平成28年(2016年)					
	7月	8月	9月	10月	11月	12月
有効度数	918	918	918	918	918	918
欠損値	611	611	611	611	611	611
平均値	161.9	162.1	157.6	161.8	156.7	160.6
標準偏差	247.2	247.5	240.3	245.7	239.7	246.1
合計	148,591	148,823	144,647	148,543	143,877	147,450
25パーセンタイル	30.8	30.8	30.0	31.0	27.5	31.0
50パーセンタイル	93.0	93.0	90.5	93.0	90.0	93.0
75パーセンタイル	217.0	217.0	210.0	217.0	210.0	217.0

問4 ⑪うち経管栄養実施者の入所延べ日数

	平成29年(2017年)					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
有効度数	918	918	918	918	918	918
欠損値	611	611	611	611	611	611
平均値	159.9	145.2	159.2	153.6	156.5	152.6
標準偏差	246.2	229.1	246.7	242.1	244.4	240.4
合計	146,785	133,304	146,161	141,030	143,654	140,105
25パーセンタイル	31.0	28.0	30.8	30.0	31.0	30.0
50パーセンタイル	93.0	84.0	93.0	90.0	93.0	90.0
75パーセンタイル	217.0	196.0	217.0	210.0	215.0	209.3

問5 入所前の居所別新規入所者数

	医療機関							②有床診療所
	①病院	i) 急性期病床	ii) 地域包括ケア病棟(病床)	iii) 回復期リハビリテーション病棟	iv) 療養病床(介護療養病床を含む)	v) 精神病床	vi) その他の病床	
有効度数	1,302	1,302	1,302	1,302	1,302	1,302	1,302	1,302
欠損値	227	227	227	227	227	227	227	227
平均値	55.6	25.8	5.6	6.5	5.4	1.7	2.6	1.7
標準偏差	35.4	30.3	13.1	10.4	12.0	3.9	11.7	8.0
合計	72,358	33,580	7,285	8,496	6,977	2,187	3,401	2,193
25パーセンタイル	32.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
50パーセンタイル	49.0	18.0	0.0	2.0	1.0	0.0	0.0	0.0
75パーセンタイル	71.3	38.0	4.0	9.0	5.0	2.0	0.0	0.0

	他の介護保険施設		自宅等					⑩その他
	③他の老人保健施設	④特別養護老人ホーム	⑤自宅	⑥認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	⑦サービス付き高齢者向け住宅	⑧有料老人ホーム	⑨養護老人ホーム・軽費老人ホーム	
有効度数	1,302	1,302	1,302	1,302	1,302	1,302	1,302	1,302
欠損値	227	227	227	227	227	227	227	227
平均値	2.0	0.6	28.8	0.6	0.9	1.5	0.2	1.9
標準偏差	4.5	3.1	27.6	2.2	3.7	5.4	0.7	5.8
合計	2,560	747	37,476	837	1,123	1,888	266	2,521
25パーセンタイル	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
50パーセンタイル	1.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
75パーセンタイル	2.0	0.0	39.0	0.0	0.0	1.0	0.0	1.0

問5 入所前の居所別入所時点の状態(要介護度が4・5の者)

	医療機関		他の介護保険施設		⑤自宅	自宅等		⑧有料老人ホーム	⑨養護老人ホーム・軽費老人ホーム	⑩その他
	①病院	②有床診療所	③他の老人保健施設	④特別養護老人ホーム		⑥認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	⑦サービス付き高齢者向け住宅			
有効度数	1,302	1,302	1,302	1,302	1,302	1,302	1,302	1,302	1,302	1,302
欠損値	227	227	227	227	227	227	227	227	227	227
平均値	24.5	0.8	0.7	0.3	7.9	0.2	0.3	0.5	0.0	0.7
標準偏差	20.8	4.4	1.8	1.4	10.7	1.1	1.5	2.5	0.2	2.5
合計	31,886	1,038	871	341	10,331	324	359	644	52	852
25パーセンタイル	10.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
50パーセンタイル	21.0	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
75パーセンタイル	34.0	0.0	1.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問5 入所前の居所別入所時点の状態像(認知症高齢者の日常生活自立度のランクⅢb、Ⅳ、Ⅴに該当する者)

	医療機関		他の介護保険施設		⑤ 自宅	⑥ 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	自宅等		⑨ 養護老人ホーム・軽費老人ホーム	⑩ その他
	① 病院	② 有床診療所	③ 他の老人保健施設	④ 特別養護老人ホーム			⑦ サービス付き高齢者向け住宅	⑧ 有料老人ホーム		
有効度数	1,302	1,302	1,302	1,302	1,302	1,302	1,302	1,302	1,302	1,302
欠損値	227	227	227	227	227	227	227	227	227	227
平均値	11.1	0.4	0.3	0.1	3.9	0.2	0.1	0.3	0.0	0.3
標準偏差	13.1	2.3	1.0	0.9	7.5	1.1	0.8	1.6	0.2	1.4
合計	14,484	494	398	158	5,096	278	172	348	37	425
25パーセンタイル	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
50パーセンタイル	7.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
75パーセンタイル	16.0	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問6(1) 退所先の居所別人数

	① 病院						② 有床診療所		⑩ 死亡	⑪ その他
	i) 急性期病床	ii) 地域包括ケア病棟(病床)	iii) 回復期リハビリテーション病棟	iv) 療養病床(介護療養病床を含む)	v) 精神病床	vi) その他の病床	③ 有床診療所	④ 有床診療所		
有効度数	1,521	1,521	1,521	1,521	1,521	1,521	1,521	1,521	1,521	
欠損値	8	8	8	8	8	8	8	8	8	
平均値	39.9	26.6	0.9	0.3	2.7	1.0	2.0	1.0	1.0	
標準偏差	27.0	26.3	5.0	2.6	8.2	2.8	11.1	6.5	6.5	
合計	60,634	40,507	1,310	525	4,147	1,454	3,084	1,587	1,587	
25パーセンタイル	22	4	0	0	0	0	0	0	0	
50パーセンタイル	35	22	0	0	0	0	0	0	0	
75パーセンタイル	52	41	0	0	1	1	0	0	0	

	③ 有床診療所	④ 有床診療所	⑤ 自宅	⑥ 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	⑦ サービス付き高齢者向け住宅	⑧ 有料老人ホーム	⑨ 養護老人ホーム・軽費老人ホーム	⑩ 死亡	⑪ その他
	有効度数	1,521	1,521	1,521	1,521	1,521	1,521	1,521	1,521
欠損値	8	8	8	8	8	8	8	8	8
平均値	1.9	9.1	26.6	1.7	1.8	3.3	0.5	8.0	1.3
標準偏差	4.2	8.7	29.8	3.5	5.9	7.3	2.2	9.0	6.8
合計	2,843	13,774	40,439	2,565	2,786	5,044	828	12,215	2,034
25パーセンタイル	0.0	2.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0
50パーセンタイル	1.0	7.0	17.0	0.0	0.0	1.0	0.0	5.0	0.0
75パーセンタイル	2.0	13.0	38.0	2.0	1.0	4.0	0.0	13.0	0.0

問6(2) 退所者の入所期間別人数

	① 1~13日(2週間未満)	② 14日~1月以内(2週間以上1月以内)	③ 1月を超えて入所していた者
有効度数	1,478	1,478	1,478
欠損値	51	51	51
平均値	3.6	5.1	83.0
標準偏差	4.7	6.7	57.9
合計	5,299	7,486	122,627
25パーセンタイル	1	1	47
50パーセンタイル	2	3	73
75パーセンタイル	5	7	108

問6(3) 入所期間が1月以内で退所に至った者の入所当初の主たる利用目的

	① 在宅復帰を目指したりリハビリを行うため	② 在宅復帰に向けて居宅サービス等を調整するため	③ レスパイトを行うため	④ 特養等への入所調整のため	⑤ 認知症に対応したりリハビリ・ケアを行うため	⑥ 看取りを行うため	⑦ その他
有効度数	1,160	1,160	1,160	1,160	1,160	1,160	1,160
欠損値	369	369	369	369	369	369	369
平均値	2.4	0.4	1.0	2.2	0.5	0.6	2.3
標準偏差	4.8	1.3	2.9	3.9	2.0	2.4	5.1
合計	2,738	474	1,158	2,608	525	649	2,621
25パーセンタイル	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
50パーセンタイル	1.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0
75パーセンタイル	3.0	0.0	1.0	3.0	0.0	0.0	2.0

問7(1) 医療機関へ退所した方のうち、主たる傷病名が肺炎であった者

	肺炎による退所者数	うち、誤嚥性肺炎による退所者数
有効度数	1,294	1,294
欠損値	235	235
平均値	9.6	4.7
標準偏差	9.7	6.4
合計	12,445	6,132
25パーセンタイル	3.0	1.0
50パーセンタイル	7.0	3.0
75パーセンタイル	13.0	6.0

問7(2) 入院期間中に限らず、過去に誤嚥性肺炎を発生した回数

	誤嚥性肺炎は 初発	誤嚥性肺炎は 2回目以上	回数は不明
有効度数	974	1,005	1,093
欠損値	555	524	436
平均値	1.4	2.3	2.1
標準偏差	2.5	4.2	4.9
合計	1,394	2,330	2,345
25パーセンタイル	0.0	0.0	0.0
50パーセンタイル	0.0	1.0	0.0
75パーセンタイル	2.0	3.0	3.0

問7(3) 医療機関へ退所した方のうち、主たる傷病名が骨折であった者

有効度数	1,398
欠損値	131
平均値	2.4
標準偏差	2.4
合計	3,411
25パーセンタイル	1.0
50パーセンタイル	2.0
75パーセンタイル	4.0

問7(4) 骨折の部位別の人数

	上肢	下肢	その他
有効度数	1,398	1,398	1,398
欠損値	131	131	131
平均値	0.2	2.1	0.2
標準偏差	0.7	2.0	0.6
合計	302	2,891	264
25パーセンタイル	0.0	1.0	0.0
50パーセンタイル	0.0	2.0	0.0
75パーセンタイル	0.0	3.0	0.0

問7(5) 医療機関へ退所した方のうち、医療機関への入院期間が1週間以内の短期入院で再入所した者

有効度数	1,389
欠損値	140
平均値	3.1
標準偏差	6.5
合計	4,281
25パーセンタイル	0.0
50パーセンタイル	1.0
75パーセンタイル	3.0

問7(6) (5)の利用者について、1週間以内の短期入院となった主な理由

	① 医療機関 で行う必要の ある専門的な 検査入院	② 糖尿病等 の教育入院	③ 悪性腫瘍 に対する化学 療法・ホルモン 療法等	④ 胃ろうの造 設、交換等	⑤ 認知症の 専門治療	⑥ その他
有効度数	1,389	1,389	1,389	1,389	1,389	1,389
欠損値	140	140	140	140	140	140
平均値	1.3	0.0	0.1	0.8	0.0	0.8
標準偏差	4.4	0.3	0.5	3.7	0.2	2.3
合計	1,843	22	90	1,084	15	1,158
25パーセンタイル	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
50パーセンタイル	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
75パーセンタイル	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0

問8 自宅等へ退所した方の入所前の居所別人数

	① 医療機関	② 介護保険 施設	③ 自宅等	④ その他
有効度数	1,421	1,421	1,421	1,421
欠損値	108	108	108	108
平均値	14.1	1.3	19.4	0.8
標準偏差	17.1	4.3	24.6	3.0
合計	19,992	1,907	27,539	1,090
25パーセンタイル	2.0	0.0	3.0	0.0
50パーセンタイル	8.0	0.0	10.0	0.0
75パーセンタイル	20.0	1.0	26.0	0.0

問9(1) 利用者数

有効度数	1,521
欠損値	8
平均値	81.5
標準偏差	26.5
合計	123,976
25パーセンタイル	67
50パーセンタイル	84
75パーセンタイル	94

問9(2) 入所者の要介護度別人数

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中
有効度数	1,516	1,516	1,516	1,516	1,516	1,516
欠損値	13	13	13	13	13	13
平均値	9.4	15.2	19.9	21.7	15.2	0.1
標準偏差	6.4	7.3	8.5	9.1	9.1	0.6
合計	14,269	23,036	30,139	32,918	23,014	217
25パーセンタイル	5.0	10.0	15.0	16.0	9.0	0.0
50パーセンタイル	8.0	15.0	19.0	21.0	14.0	0.0
75パーセンタイル	13.0	20.0	25.0	27.0	20.0	0.0

問9(3) 入所者の認知症高齢者の日常生活自立度別人数

	自立	I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV	M	不明
有効度数	1,442	1,442	1,442	1,442	1,442	1,442	1,442	1,442	1,442
欠損値	87	87	87	87	87	87	87	87	87
平均値	2.5	7.0	10.2	17.2	23.7	8.1	8.5	1.5	1.8
標準偏差	4.0	6.2	8.6	12.1	15.4	7.5	9.2	4.0	9.0
合計	3,652	10,022	14,646	24,809	34,182	11,660	12,298	2,181	2,646
25パーセンタイル	0.0	2.0	4.0	8.0	12.0	3.0	3.0	0.0	0.0
50パーセンタイル	1.0	6.0	8.0	15.0	21.0	6.0	6.0	0.0	0.0
75パーセンタイル	3.0	10.0	14.0	23.0	32.0	11.0	12.0	1.0	0.0

問9(4) 入所者の入所時の主病名別人数

	1. 高血圧	2. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	3. 心不全	4. 糖尿病	5. 誤嚥性肺炎	6. 肺炎(誤嚥性肺炎以外)	7. 呼吸器の病気(肺炎以外)	8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気	9. 腎臓・前立腺の病気	10. 骨折
有効度数	1,442	1,442	1,442	1,442	1,442	1,442	1,442	1,442	1,442	1,442
欠損値	87	87	87	87	87	87	87	87	87	87
平均値	4.6	17.6	5.0	4.0	1.0	0.9	0.8	1.4	1.6	8.7
標準偏差	7.0	11.3	5.0	4.6	2.0	1.7	1.3	1.7	3.6	7.8
合計	6,642	25,362	7,231	5,826	1,444	1,300	1,192	2,030	2,308	12,481
25パーセンタイル	0.0	10.0	2.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0
50パーセンタイル	2.0	16.0	4.0	3.0	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0	7.0
75パーセンタイル	6.0	23.0	7.0	5.0	1.0	1.0	1.0	2.0	2.0	13.0

	11. 骨折以外の筋骨格系の病気	12. 外傷	13. 悪性新生物	14. うつ病・精神疾患	15. 認知症	16. パーキンソン病	17. その他	18. 不明
有効度数	1,442	1,442	1,442	1,442	1,442	1,442	1,442	1,442
欠損値	87	87	87	87	87	87	87	87
平均値	3.2	0.3	1.2	2.1	22.0	1.6	4.9	0.6
標準偏差	3.6	0.7	2.1	3.3	17.4	1.7	6.1	4.4
合計	4,571	366	1,666	3,097	31,753	2,256	7,013	814
25パーセンタイル	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	1.0	0.0
50パーセンタイル	2.0	0.0	0.0	1.0	18.0	1.0	3.0	0.0
75パーセンタイル	5.0	0.0	2.0	3.0	30.0	2.0	7.0	0.0

問9(5) 医療処置を実施している者の人数

	1. 胃ろう、腸ろうによる栄養管理	2. 経鼻経管栄養	3. 中心静脈栄養の管理	4. カテーテル(尿道留置カテーテル・コンドームカテーテル)	5. ストーマ(人工肛門・人工膀胱)の管理	6. 喀痰吸引	7. ネブライザー	8. 酸素療法(酸素吸入)	9. 気管切開のケア	10. 人工呼吸器の管理
有効度数	1,428	1,428	1,428	1,428	1,428	1,428	1,428	1,428	1,428	1,428
欠損値	101	101	101	101	101	101	101	101	101	101
平均値	4.2	1.3	0.0	3.4	0.7	3.6	0.3	0.6	0.1	0.0
標準偏差	5.2	3.5	0.3	3.9	0.9	5.1	1.0	1.3	0.5	0.1
合計	5,988	1,821	35	4,876	1,058	5,140	373	891	142	15
25パーセンタイル	1.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
50パーセンタイル	3.0	0.0	0.0	2.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0
75パーセンタイル	6.0	1.0	0.0	5.0	1.0	5.0	0.0	1.0	0.0	0.0

	11. 注射	12. 点滴	13. 簡易血糖測定	14. インスリン注射	15. 創傷処置	16. 褥瘡の処置	17. 透析(在宅自己腹膜灌流含む)	18. 導尿	19. 疼痛管理(麻薬は使用しない)	20. 疼痛管理(麻薬使用)
有効度数	1,428	1,428	1,428	1,428	1,428	1,428	1,428	1,428	1,428	1,428
欠損値	101	101	101	101	101	101	101	101	101	101
平均値	0.3	1.4	3.9	1.6	3.4	2.2	0.4	0.3	1.7	0.1
標準偏差	1.5	3.6	5.5	1.9	6.1	2.5	3.2	1.0	4.4	0.7
合計	358	1,963	5,531	2,334	4,798	3,193	567	357	2,398	113
25パーセンタイル	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
50パーセンタイル	0.0	0.0	1.0	1.0	1.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0
75パーセンタイル	0.0	2.0	6.0	2.0	4.0	3.0	0.0	0.0	1.0	0.0

	21. 洗腸	22. 排便	23. 持続モニター測定(血圧、心拍、酸素飽和度等)	24. その他	25. 実施していない
有効度数	1,428	1,428	1,428	1,428	1,428
欠損値	101	101	101	101	101
平均値	4.1	4.0	0.3	1.4	14.2
標準偏差	9.4	7.9	4.1	7.7	25.9
合計	5,926	5,662	490	2,003	20,215
25パーセンタイル	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
50パーセンタイル	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0
75パーセンタイル	4.0	5.0	0.0	0.0	21.8

問10(1) 入所から1年以上が経過している者の人数

有効度数	1,345
欠損値	184
平均値	36.3
標準偏差	21.6
合計	48,777
25パーセンタイル	20.0
50パーセンタイル	35.0
75パーセンタイル	50.0

問10(2) 在宅の介護力別の人数

	① 同居家族による介護力は期待できる	② 同居家族はいるが介護力は期待できない	③ 同居家族はいない(独居)が、親族などの介護力が期待できる	④ 同居家族はおらず(独居)、介護力が期待できない
有効度数	1,345	1,345	1,345	1,345
欠損値	184	184	184	184
平均値	2.4	20.8	1.3	11.3
標準偏差	4.8	15.6	3.4	9.6
合計	3,184	27,995	1,717	15,155
25パーセンタイル	0.0	9.0	0.0	4.0
50パーセンタイル	0.0	18.0	0.0	9.0
75パーセンタイル	3.0	30.0	1.0	16.0

問10(3) 退所が困難である理由

	① 認知症が重度である	② 自宅等では療養困難な医療処置を必要とする	③ 自宅等では療養困難な精神疾患を有する	④ 特養の入所待ちをしている	⑤ 在宅生活を支える介護サービスが乏しい	⑥ 家族の希望	⑦ その他
有効度数	1,345	1,345	1,345	1,345	1,345	1,345	1,345
欠損値	184	184	184	184	184	184	184
平均値	8.9	2.4	1.2	11.3	2.2	12.0	1.9
標準偏差	11.8	5.5	3.0	13.1	7.1	15.7	4.7
合計	12,037	3,249	1,557	15,194	2,934	16,145	2,543
25パーセンタイル	1.0	0.0	0.0	2.0	0.0	1.0	0.0
50パーセンタイル	5.0	0.0	0.0	7.0	0.0	6.0	0.0
75パーセンタイル	13.0	2.0	1.0	17.0	1.0	17.0	2.0

問11(1) 利用者の入所前後の居所との連携状況(複数回答)

	度数	パーセント	有効パーセント
1. 医療機関の医師と施設の管理医師の間で情報共有・引継を行っている	998	65.3	68.3
2. 医療機関の看護職員と施設の看護職員の間で情報共有・引継を行っている	1,039	68.0	71.1
3. 医療機関のリハ専門職(P.T・O.T・S.T)と施設のリハ専門職の間で情報共有・引継を行っている	934	61.1	63.9
4. 医療機関の医療ソーシャルワーカーなどと施設の支援相談員・介護支援専門員などの間で情報共有・引継を行っている	1,414	92.5	96.8
5. かかりつけ医と施設の管理医師の間で情報共有・引継を行っている	903	59.1	61.8
6. 居宅ケアマネジャーと施設の支援相談員・介護支援専門員などの間で情報共有・引継を行っている	1,414	92.5	96.8
7. その他	41	2.7	2.8
8. 1～7はいずれもなし	8	0.5	0.5
無回答	68	4.4	
合計	1,529	100.0	100.0

問11(2) ①入所前後訪問指導加算(I)の算定有無

	度数	パーセント	有効パーセント
1. 有	218	14.3	14.7
2. 無	1,261	82.5	85.3
無回答	50	3.3	
合計	1,529	100.0	100.0

問11(2) ②入所前後訪問指導加算(II)の算定有無

	度数	パーセント	有効パーセント
1. 有	171	11.2	11.6
2. 無	1,297	84.8	88.4
無回答	61	4.0	
合計	1,529	100.0	100.0

問11(2) 入所前後訪問指導加算を算定している人数

	①入所前後訪問指導加算(I)	②入所前後訪問指導加算(II)
有効度数	200	157
欠損値	1,329	1,372
平均値	2.9	2.9
標準偏差	3.5	2.5
合計	573	452
25パーセンタイル	1.0	1.0
50パーセンタイル	2.0	2.0
75パーセンタイル	3.0	4.0

問12(1) ①退所前訪問指導加算の算定有無

	度数	パーセント	有効パーセント
1. 有	604	39.5	40.8
2. 無	875	57.2	59.2
無回答	50	3.3	
合計	1,529	100.0	100.0

問12(1) ②退所後訪問指導加算の算定有無

	度数	パーセント	有効パーセント
1. 有	285	18.6	19.5
2. 無	1,173	76.7	80.5
無回答	71	4.6	
合計	1,529	100.0	100.0

問12(1) ③退所時指導加算の算定有無

	度数	パーセント	有効パーセント
1. 有	928	60.7	61.9
2. 無	570	37.3	38.1
無回答	31	2.0	
合計	1,529	100.0	100.0

問12(1) ④退所時情報提供加算の算定有無

	度数	パーセント	有効パーセント
1. 有	937	61.3	62.7
2. 無	557	36.4	37.3
無回答	35	2.3	
合計	1,529	100.0	100.0

問12(1) ⑤退所前連携加算の算定有無

	度数	パーセント	有効パーセント
1. 有	899	58.8	60.2
2. 無	595	38.9	39.8
無回答	35	2.3	
合計	1,529	100.0	100.0

問12(1) ⑥老人訪問看護指示加算の算定有無

	度数	パーセント	有効パーセント
1. 有	94	6.1	6.6
2. 無	1,338	87.5	93.4
無回答	97	6.3	
合計	1,529	100.0	100.0

問12(1) 退所時指導等加算を算定している人数

	① 退所前訪問指導加算	② 退所後訪問指導加算	③ 退所時指導加算	④ 退所時情報提供加算	⑤ 退所前連携加算	⑥ 老人訪問看護指示加算
有効度数	583	272	888	897	866	87
欠損値	946	1,257	641	632	663	1,442
平均値	2.5	2.8	4.3	4.4	4.2	1.4
標準偏差	3.2	2.6	5.9	6.0	5.5	1.0
合計	1,437	761	3,818	3,940	3,640	125
25パーセンタイル	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
50パーセンタイル	2.0	2.0	3.0	3.0	3.0	1.0
75パーセンタイル	3.0	4.0	5.0	5.0	5.0	1.0

問12(2) 退所時指導等加算の算定要件に該当しない場合や算定要件を超えての訪問・指導の状況(複数回答)

	度数	パーセント	有効パーセント
1. 退所前訪問指導加算の要件と同様の訪問・指導を行っている	223	14.6	16.0
2. 退所後訪問指導加算の要件と同様の訪問・指導を行っている	99	6.5	7.1
3. 退所時指導加算の要件と同様の指導を行っている	484	31.7	34.8
4. 退所時情報提供加算の要件と同様の紹介・情報提供を行っている	684	44.7	49.2
5. 退所前連携加算の要件と同様の連携・調整を行っている	575	37.6	41.4
6. 退所後30日以内に2回(療養型老健は3回)以上の居宅等への訪問・指導を行っている	32	2.1	2.3
7. 退所後31日以降に居宅等への訪問・指導を行っている	47	3.1	3.4
8. 退所時指導等加算の訪問時に、複数名(2職種以上)で訪問・指導を行っている	451	29.5	32.4
9. その他	31	2.0	2.2
10. 1~7はいずれもなし	434	28.4	31.2
無回答	139	9.1	
合計	1,529	100.0	100.0

問13(1) 認知症専門棟の有無

	度数	パーセント	有効パーセント
1. 有	497	32.5	32.8
2. 無	1,018	66.6	67.2
無回答	14	0.9	
合計	1,529	100.0	100.0

問13(1) 認知症専門棟の病床数

有効度数	478
欠損値	1,051
平均値	40.6
標準偏差	12.9
合計	19,387
25パーセンタイル	31.8
50パーセンタイル	40.0
75パーセンタイル	49.0

問13(2) ①認知症専門ケア加算(I又はII)の算定有無

	度数	パーセント	有効パーセント
1. 有	164	10.7	11.4
2. 無	1,275	83.4	88.6
無回答	90	5.9	
合計	1,529	100.0	100.0

問13(2) ②認知症行動・心理症状緊急対応加算の算定有無

	度数	パーセント	有効パーセント
1. 有	9	0.6	0.6
2. 無	1,424	93.1	99.4
無回答	96	6.3	
合計	1,529	100.0	100.0

問13(2) 認知症ケアに関する加算算定日数

	①認知症専門ケア加算(I又はII)	②認知症行動・心理症状緊急対応加算(延べ日数)
有効度数	143	6
欠損値	1,386	1523
平均値	778.3	585.2
標準偏差	678.2	1,065.8
合計	111,296	3,511
25パーセンタイル	30.0	7.0
50パーセンタイル	827.0	10.5
75パーセンタイル	1,187.0	1,278.0

問13(3) 在宅生活が困難と判断されるような、認知症の周辺症状(①暴行)

	度数	パーセント	有効パーセント
1. 有	542	35.4	41.4
2. 無	768	50.2	58.6
無回答	219	14.3	
合計	1,529	100.0	100.0

問13(3) 在宅生活が困難と判断されるような、認知症の周辺症状(②徘徊)

	度数	パーセント	有効パーセント
1. いる	1,024	67.0	76.5
2. いない	314	20.5	23.5
無回答	191	12.5	
合計	1,529	100.0	100.0

問13(3) 在宅生活が困難と判断されるような、認知症の周辺症状(③不潔行為)

	度数	パーセント	有効パーセント
1. いる	885	57.9	67.6
2. いない	425	27.8	32.4
無回答	219	14.3	
合計	1,529	100.0	100.0

問13(3) 在宅生活が困難と判断されるような、認知症の周辺症状(④妄想)

	度数	パーセント	有効パーセント
1. いる	913	59.7	70.1
2. いない	389	25.4	29.9
無回答	227	14.8	
合計	1,529	100.0	100.0

問13(3) 在宅生活が困難と判断されるような、認知症の周辺症状(⑤睡眠障害(昼夜逆転))

	度数	パーセント	有効パーセント
1. いる	923	60.4	70.7
2. いない	383	25.0	29.3
無回答	223	14.6	
合計	1,529	100.0	100.0

問13(3) 在宅生活が困難と判断されるような、認知症の周辺症状(⑥その他)

	度数	パーセント	有効パーセント
1. いる	364	23.8	33.5
2. いない	724	47.4	66.5
無回答	441	28.8	
合計	1,529	100.0	100.0

問13(3) 在宅生活が困難と判断されるような、認知症の周辺症状が著しい利用者数

	①暴行	②徘徊	③不潔行為	④妄想	⑤睡眠障害 (昼夜逆転)	⑥その他
有効度数	526	975	845	865	877	352
欠損値	1,003	554	684	664	652	1,177
平均値	2.5	4.4	4.1	5.0	4.1	6.3
標準偏差	2.2	4.5	4.0	5.3	4.0	9.2
合計	1,331	4,280	3,475	4,292	3,602	2,200
25パーセンタイル	1.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
50パーセンタイル	2.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
75パーセンタイル	3.0	5.0	5.0	6.0	5.0	7.0

問14(1) 看取り対応状況

	度数	パーセント	有効パーセント
1. 対応している	1,079	70.6	71.3
2. 対応していない	435	28.4	28.7
無回答	15	1.0	
合計	1,529	100.0	100.0

問14(2) 1年間の死亡退所者数とそのうちの看取り対応した人数

	死亡退所者数	うち、看取り (予期された死 亡)対応した人 数
有効度数	952	908
欠損値	577	621
平均値	10.7	8.2
標準偏差	9.3	7.9
合計	10,162	7,460
25パーセンタイル	4.0	3.0
50パーセンタイル	8.0	6.0
75パーセンタイル	14.0	11.0

問14(3) 1年間のターミナルケア加算を算定した人数

有効度数	952
欠損値	577
平均値	6.9
標準偏差	7.4
合計	6,598
25パーセンタイル	1.0
50パーセンタイル	5.0
75パーセンタイル	10.0

問14(4) 1年間の「人生の最終段階における医療・介護」に取り組まれた実績人数

	① 利用者の意思を最大限反映するために利用者・家族と事前の話し合いを行った	② 死が近づき気持ちが揺れる利用者・家族へのきめ細やかな対応をとった
有効度数	952	952
欠損値	577	577
平均値	7.8	7.0
標準偏差	14.4	7.4
合計	7,413	6,647
25パーセンタイル	0.3	2.0
50パーセンタイル	4.0	5.0
75パーセンタイル	10.0	10.0

問15(1) 地域リハビリテーション活動支援事業の一環としての自治体への関与有無

	度数	パーセント	有効パーセント
1. 有	408	26.7	27.8
2. 無	1,060	69.3	72.2
無回答	61	4.0	
合計	1,529	100.0	100.0

問15(2) 地域ケア会議等への職員の関与有無

	度数	パーセント	有効パーセント
1. 有	577	37.7	39.7
2. 無	875	57.2	60.3
無回答	77	5.0	
合計	1,529	100.0	100.0

問15(3) 地域の介護事業所等への職員の訪問・派遣有無

	度数	パーセント	有効パーセント
1. 有	172	11.2	11.9
2. 無	1,276	83.5	88.1
無回答	81	5.3	
合計	1,529	100.0	100.0

問15(4) 地域住民が運営している集いの場への職員の訪問・派遣有無

	度数	パーセント	有効パーセント
1. 有	318	20.8	21.7
2. 無	1,145	74.9	78.3
無回答	66	4.3	
合計	1,529	100.0	100.0

問15(5) 地域住民に対する健康教室の開催有無

	度数	パーセント	有効パーセント
1. 有	465	30.4	31.7
2. 無	1,003	65.6	68.3
無回答	61	4.0	
合計	1,529	100.0	100.0

問15(6) 認知症カフェなどの地域住民が集うカフェの運営・設置有無

	度数	パーセント	有効パーセント
1. 有	143	9.4	9.7
2. 無	1,327	86.8	90.3
無回答	59	3.9	
合計	1,529	100.0	100.0

問15(7) 在宅の家族介護者への介護教育などの支援有無

	度数	パーセント	有効パーセント
1. 有	515	33.7	35.2
2. 無	946	61.9	64.8
無回答	68	4.4	
合計	1,529	100.0	100.0

問15(8) 民生委員・ボランティアとの連携・協働有無

	度数	パーセント	有効パーセント
1. 有	914	59.8	62.1
2. 無	558	36.5	37.9
無回答	57	3.7	
合計	1,529	100.0	100.0

問15(2) 地域ケア会議等への職員の関与延べ人数

有効度数	492
欠損値	1,037
平均値	5.9
標準偏差	7.5
合計	2,891
25パーセンタイル	2.0
50パーセンタイル	3.0
75パーセンタイル	7.0

問15(3) 地域の介護事業所等への職員の訪問・派遣訪問回数

有効度数	130
欠損値	1,399
平均値	7.0
標準偏差	13.0
合計	908
25パーセンタイル	2.0
50パーセンタイル	3.0
75パーセンタイル	6.0

問15(4) 地域住民が運営している集いの場への職員の訪問・派遣訪問回数

有効度数	270
欠損値	1,259
平均値	7.6
標準偏差	14.7
合計	2,053
25パーセンタイル	2.0
50パーセンタイル	3.0
75パーセンタイル	9.3

問15(5) 地域住民に対する健康教室の開催実施日数

有効度数	402
欠損値	1,127
平均値	10.2
標準偏差	23.6
合計	4,108
25パーセンタイル	1.0
50パーセンタイル	3.0
75パーセンタイル	8.3

問15(6) 認知症カフェなどの地域住民が集うカフェの運営・設置実施日数

有効度数	122
欠損値	1,407
平均値	10.0
標準偏差	13.5
合計	1,221
25パーセンタイル	3.0
50パーセンタイル	6.0
75パーセンタイル	12.0

問16(1) 施設運営事業収益状況

	施設運営事業 収益計(介護 報酬収益)	うち入所事業 収益(利用者 負担分を含む)	うち通所リハ ビリテーション 事業収益(利 用者負担分を 含む)	うち短期入所 療養介護事業 収益(利用者 負担分を含む)
有効度数	1,057	1,051	1,045	996
欠損値	472	478	484	533
平均値	498,586.3	378,056.2	80,489.3	22,438.2
標準偏差	171,159.2	133,434.6	59,710.4	28,906.8
合計	527,005,671	397,337,116	84,111,287	22,348,408
25パーセンタイル	394,114.0	303,981.0	41,637.0	4,633.5
50パーセンタイル	493,757.0	385,858.0	72,022.0	13,155.0
75パーセンタイル	582,079.5	433,573.0	107,104.0	28,627.3

問16(2) 施設運営事業費用状況

	施設運営事業 等費用計	うち減価償却 費
有効度数	1,058	1,058
欠損値	471	471
平均値	474,559.4	24,803.1
標準偏差	166,435.0	30,944.3
合計	502,083,869	26,241,682
25パーセンタイル	371,427.8	13,962.5
50パーセンタイル	466,374.0	20,941.5
75パーセンタイル	557,127.3	29,441.5

問16(3) 税引き前利益(損失)状況

有効度数	1,058
欠損値	471
平均値	23,077.6
標準偏差	52,011.4
合計	24,416,052
25パーセンタイル	525.5
50パーセンタイル	18,560.5
75パーセンタイル	44,499.5

■退所者票

問1 入所期間

有効度数	11,044
欠損値	236
平均値	299.9
標準偏差	503.0
合計	3,311,927
25パーセンタイル	56.0
50パーセンタイル	116.0
75パーセンタイル	314.0

問2 入所前の居所

	度数	パーセント	有効パーセント
1. 病院(急性期病床)	3,688	32.7	32.9
2. 病院(地域包括ケア病棟・病床)	727	6.4	6.5
3. 病院(回復期リハビリテーション病棟)	911	8.1	8.1
4. 病院(療養病床(介護療養病床を含む))	700	6.2	6.2
5. 病院(精神病床)	257	2.3	2.3
6. 病院(その他の病床)	480	4.3	4.3
7. 有床診療所	177	1.6	1.6
8. 他の老健施設	303	2.7	2.7
9. 特別養護老人ホーム	69	0.6	0.6
10. 自宅	3,285	29.1	29.3
11. 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	74	0.7	0.7
12. サービス付き高齢者向け住宅	107	0.9	1.0
13. 有料老人ホーム	153	1.4	1.4
14. 養護老人ホーム・軽費老人ホーム	27	0.2	0.2
15. その他	261	2.3	2.3
無回答	61	0.5	
合計	11,280	100.0	100.0

問3 【再入所の確認】前回退所してから今回入所するまでの期間

	度数	パーセント	有効パーセント
1. 再入所ではない(過去に入所の経験はない)	6,239	55.3	55.8
2. 1～13日以内の再入所	977	8.7	8.7
3. 14日～1か月以内の再入所	1,075	9.5	9.6
4. 1か月～3か月以内の再入所	1,565	13.9	14.0
5. 3か月を超える期間があった再入所	1,317	11.7	11.8
無回答	107	0.9	
合計	11,280	100.0	100.0

問4 【問2で選択肢1～7・問3で選択肢2～5の場合】医療機関からの入所回数

	度数	パーセント	有効パーセント
1. この方は、医療機関からの入所は1回目	499	17.4	18.4
2. この方は、医療機関からの入所は2回目以上	2,211	77.1	81.6
無回答	156	5.4	
対象外	8,414		
合計	11,280	100.0	100.0

問5 主たる入所理由

	度数	パーセント	有効パーセント
1. 在宅復帰を目指したりハビリを行うため	3,506	31.1	32.0
2. 在宅復帰に向けて居宅サービス等を調整するため	489	4.3	4.5
3. レスパイトを行うため	1,346	11.9	12.3
4. 特養等への入所調整のため	3,085	27.3	28.2
5. 認知症に対応したりハビリ・ケアを行うため	837	7.4	7.6
6. 看取りを行うため	314	2.8	2.9
7. その他	1,378	12.2	12.6
無回答	325	2.9	
合計	11,280	100.0	100.0

問6 要介護度(退所時)

	度数	パーセント	有効パーセント
1. 要介護1	1,225	10.9	10.9
2. 要介護2	1,980	17.6	17.6
3. 要介護3	2,694	23.9	24.0
4. 要介護4	3,184	28.2	28.3
5. 要介護5	2,138	19.0	19.0
6. 申請中	20	0.2	0.2
無回答	39	0.3	
合計	11,280	100.0	100.0

問7 認知症高齢者の日常生活自立度(退所時)

	度数	パーセント	有効パーセント
1. 自立	483	4.3	4.4
2. I	1,172	10.4	10.8
3. II a	1,533	13.6	14.1
4. II b	2,159	19.1	19.8
5. III a	2,966	26.3	27.3
6. III b	986	8.7	9.1
7. IV	1,046	9.3	9.6
8. M	209	1.9	1.9
9. 不明	328	2.9	3.0
無回答	398	3.5	
合計	11,280	100.0	100.0

問8 入所時の傷病名(複数回答)

	度数	パーセント	有効パーセント
1. 高血圧	3,170	28.1	29.1
2. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	3,396	30.1	31.2
3. 心不全	1,762	15.6	16.2
4. 糖尿病	1,519	13.5	13.9
5. 誤嚥性肺炎	511	4.5	4.7
6. 肺炎(誤嚥性肺炎以外)	519	4.6	4.8
7. 呼吸器の病気(肺炎以外)	491	4.4	4.5
8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気	845	7.5	7.8
9. 腎臓・前立腺の病気	942	8.4	8.7
10. 骨折	2,372	21.0	21.8
11. 骨折以外の筋骨格系の病気	1,177	10.4	10.8
12. 外傷	92	0.8	0.8
13. 悪性新生物	597	5.3	5.5
14. うつ病・精神疾患	560	5.0	5.1
15. 認知症	4,288	38.0	39.4
16. パーキンソン病	402	3.6	3.7
17. その他	2,063	18.3	18.9
18. 不明	96	0.9	0.9
無回答	391	3.5	
合計	11,280	100.0	100.0

問8 入所時の傷病名(主たる傷病)

	度数	パーセント	有効パーセント
1. 高血圧	342	3.0	3.5
2. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	2,072	18.4	21.2
3. 心不全	671	5.9	6.9
4. 糖尿病	384	3.4	3.9
5. 誤嚥性肺炎	210	1.9	2.2
6. 肺炎(誤嚥性肺炎以外)	195	1.7	2.0
7. 呼吸器の病気(肺炎以外)	131	1.2	1.3
8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気	234	2.1	2.4
9. 腎臓・前立腺の病気	270	2.4	2.8
10. 骨折	1,190	10.5	12.2
11. 骨折以外の筋骨格系の病気	417	3.7	4.3
12. 外傷	34	0.3	0.3
13. 悪性新生物	233	2.1	2.4
14. うつ病・精神疾患	222	2.0	2.3
15. 認知症	2,209	19.6	22.7
16. パーキンソン病	213	1.9	2.2
17. その他	656	5.8	6.7
18. 不明	68	0.6	0.7
無回答	1,529	13.6	
合計	11,280	100.0	100.0

問9 退所時の医療的ケアの実施状況(複数回答)

	度数	パーセント	有効パーセント
1. 胃ろう、腸ろうによる栄養管理	565	5.0	5.7
2. 経鼻経管栄養	143	1.3	1.4
3. 中心静脈栄養の管理	18	0.2	0.2
4. カテーテル(尿道留置カテーテル・コンドームカテーテル)	492	4.4	4.9
5. ストーマ(人工肛門・人工膀胱)の管理	108	1.0	1.1
6. 喀痰吸引	785	7.0	7.9
7. ネブライザー	59	0.5	0.6
8. 酸素療法(酸素吸入)	800	7.1	8.0
9. 気管切開のケア	8	0.1	0.1
10. 人工呼吸器の管理	9	0.1	0.1
11. 注射	89	0.8	0.9
12. 点滴	1,353	12.0	13.6
13. 簡易血糖測定	253	2.2	2.5
14. インスリン注射	236	2.1	2.4
15. 創傷処置	221	2.0	2.2
16. 褥瘡の処置	221	2.0	2.2
17. 透析(在宅自己腹膜灌流含む)	78	0.7	0.8
18. 導尿	49	0.4	0.5
19. 疼痛管理(麻薬は使用しない)	217	1.9	2.2
20. 疼痛管理(麻薬使用)	17	0.2	0.2
21. 洗腸	365	3.2	3.7
22. 排便	309	2.7	3.1
23. 持続モニター測定(血圧、心拍、酸素飽和度等)	304	2.7	3.1
24. その他	445	3.9	4.5
25. 実施していない	5,671	50.3	57.0
無回答	1,323	11.7	
合計	11,280	100.0	100.0

問10 退所先

	度数	パーセント	有効パーセント
1. 病院(急性期病床)	3,523	31.2	31.4
2. 病院(地域包括ケア病棟・病床)	137	1.2	1.2
3. 病院(回復期リハビリテーション病棟)	42	0.4	0.4
4. 病院(療養病床(介護療養病床を含む))	355	3.1	3.2
5. 病院(精神病床)	135	1.2	1.2
6. 病院(その他の病床)	311	2.8	2.8
7. 有床診療所	105	0.9	0.9
8. 他の老健施設	268	2.4	2.4
9. 特別養護老人ホーム	1,163	10.3	10.4
10. 自宅	3,164	28.0	28.2
11. 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	226	2.0	2.0
12. サービス付き高齢者向け住宅	243	2.2	2.2
13. 有料老人ホーム	460	4.1	4.1
14. 養護老人ホーム・軽費老人ホーム	75	0.7	0.7
15. 死亡	909	8.1	8.1
16. その他	107	0.9	1.0
無回答	57	0.5	
合計	11,280	100.0	100.0

問11 【退所先が施設・自宅等・その他の場合】退所時の在宅介護力

	度数	パーセント	有効パーセント
1. 同居家族による介護力が期待できる	1,812	31.8	34.5
2. 同居家族はいるが介護力は期待できない	2,131	37.3	40.5
21. 同居家族はいるが介護力は期待できない(高齢のため)	683	12.0	13.0
22. 同居家族はいるが介護力は期待できない(病気のため)	244	4.3	4.6
23. 同居家族はいるが介護力は期待できない(育児中のため)	35	0.6	0.7
24. 同居家族はいるが介護力は期待できない(仕事のため)	920	16.1	17.5
25. 同居家族はいるが介護力は期待できない(虐待・ネグレクトのため)	34	0.6	0.6
26. 同居家族はいるが介護力は期待できない(その他の理由)	208	3.6	4.0
3. 同居家族はいない(独居)が、親族などの介護力が期待できる(近居など)	472	8.3	9.0
4. 同居家族はおらず(独居)、介護力が期待できない(介護力不明も含む)	843	14.8	16.0
無回答	448	7.9	
対象外	5,574		
合計	11,280	100.0	100.0

問12 【退所先が施設・自宅等・その他の場合】退所に向けた加算算定の有無(複数回答)

	度数	パーセント	有効パーセント
1. 入所前後訪問指導加算(I)	239	4.2	6.4
2. 入所前後訪問指導加算(II)	231	4.0	6.2
3. 退所前訪問指導加算	1,142	20.0	30.6
4. 退所後訪問指導加算	637	11.2	17.1
5. 退所時指導加算	2,963	51.9	79.4
6. 退所時情報提供加算	3,095	54.2	82.9
7. 退所前連携加算	2,781	48.7	74.5
8. 老人訪問看護指示加算	85	1.5	2.3
無回答	1,972	34.6	
対象外	5,574		
合計	11,280	100.0	100.0

問13 【退所先が施設・自宅等・その他の場合】退所後に利用を予定したリハビリ(複数回答)

	度数	パーセント	有効パーセント
1. 訪問リハビリ	117	2.1	7.7
2. 通所リハビリ	1,363	23.9	89.6
3. 外来リハビリ	20	0.4	1.3
4. 訪問看護におけるリハビリ	88	1.5	5.8
無回答	4,185	73.3	
対象外	5,574		
合計	11,280	100.0	100.0

問14 【退所先が施設・自宅等・その他の場合】かかりつけ医との連携

	度数	パーセント	有効パーセント
1. 老健の医師が対面にて情報提供を行った	131	2.3	2.6
2. 書面のみで情報提供を行った	4,335	76.0	85.0
3. その他の連携を行った	74	1.3	1.5
4. かかりつけ医が併設クリニックである等、そもそも連携されている	386	6.8	7.6
5. かかりつけ医との連携は行っていない	173	3.0	3.4
無回答	607	10.6	
対象外	5,574		
合計	11,280	100.0	100.0

問15 【退所先が医療機関の場合】入院退所の理由となった主たる傷病名(複数回答)

	度数	パーセント	有効パーセント
1. 高血圧	68	1.5	1.6
2. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	325	7.1	7.5
3. 心不全	429	9.3	9.9
4. 糖尿病	103	2.2	2.4
5. 誤嚥性肺炎	472	10.2	10.9
6. 肺炎(誤嚥性肺炎以外)	714	15.5	16.5
7. 呼吸器の病気(肺炎以外)	167	3.6	3.9
8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気	390	8.5	9.0
9. 腎臓・前立腺の病気	260	5.6	6.0
10. 骨折	299	6.5	6.9
11. 骨折以外の筋骨格系の病気	59	1.3	1.4
12. 外傷	28	0.6	0.6
13. 悪性新生物	180	3.9	4.2
14. うつ病・精神疾患	90	2.0	2.1
15. 認知症	178	3.9	4.1
16. パーキンソン病	26	0.6	0.6
17. その他	1,186	25.7	27.4
18. 不明	92	2.0	2.1
無回答	284	6.2	
対象外	6,672		
合計	11,280	100.0	100.0

問15 【退所先が医療機関の場合】入院退所の理由となった主たる傷病名(主たる傷病)

	度数	パーセント	有効パーセント
1. 高血圧	12	0.3	0.3
2. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	260	5.6	6.2
3. 心不全	330	7.2	7.9
4. 糖尿病	54	1.2	1.3
5. 誤嚥性肺炎	428	9.3	10.2
6. 肺炎(誤嚥性肺炎以外)	635	13.8	15.1
7. 呼吸器の病気(肺炎以外)	121	2.6	2.9
8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気	352	7.6	8.4
9. 腎臓・前立腺の病気	203	4.4	4.8
10. 骨折	273	5.9	6.5
11. 骨折以外の筋骨格系の病気	45	1.0	1.1
12. 外傷	21	0.5	0.5
13. 悪性新生物	157	3.4	3.7
14. うつ病・精神疾患	68	1.5	1.6
15. 認知症	78	1.7	1.9
16. パーキンソン病	13	0.3	0.3
17. その他	1,052	22.8	25.1
18. 不明	90	2.0	2.1
無回答	416	9.0	
対象外	6,672		
合計	11,280	100.0	100.0

問16 【退所先が医療機関の場合】施設内で対応できなかった理由(複数回答)

	度数	パーセント	有効パーセント
1. 検査が必要	1,856	40.3	43.6
2. 手術が必要	433	9.4	10.2
3. 治療・処置に必要な機材・設備がない	1,551	33.7	36.4
4. 医薬品代が高額	219	4.8	5.1
5. 専門医の治療が必要	2,404	52.2	56.5
6. 十分な職員がいない	119	2.6	2.8
7. 家族の希望	720	15.6	16.9
8. その他	102	2.2	2.4
無回答	350	7.6	
対象外	6,672		
合計	11,280	100.0	100.0

2. 実施要綱・調査票

全老健第 29-131 号
平成 29 年 7 月 18 日

会 員 各 位

公益社団法人全国老人保健施設協会
会長 東 憲太郎
(公印省略)
介護老人保健施設における在宅復帰・在宅療養支援
機能の強化へ向けて ～在宅復帰阻害要因の検討と
在宅復帰機能の強化策～ 調査研究事業班
班長 江澤 和彦

「介護老人保健施設における在宅復帰・在宅療養支援
機能の強化」に向けた調査へのご協力について(お願い)

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は当協会の事業・運営に格別のご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当会では平成 29 年度老人保健事業推進費等補助金(老人保健健康増進等事業分)の交付を受け、介護老人保健施設(以下、老健施設)が地域の社会資源としてその役割・機能を十二分に発揮する方策を検討する目的で調査研究事業班を設置し、標記の緊急調査を実施することと致しました。

既に御周知のとおり、平成 30 年度の介護報酬・診療報酬同時改定は、2025 年へ向けての非常に重要な分水嶺であり、今後の老健施設の在り方を示すターニングポイントとなります。本調査は、老健施設における入所者の在宅復帰の阻害要因等を分析し、利用者の個別特性に基づく評価方法を提案すること等を目的として実施致します。現在、老健施設全体の約半数に留まっている在宅強化型・加算型の機能を改めて分析し、会員施設が在宅復帰・在宅療養支援の役割を如何なく発揮できることを主眼としております。

会員施設の皆様には大変なご負担をお掛けすることとなり、誠に申し訳ございませんが、老健施設が地域包括ケアの中核拠点として輝くために、「データに基づく議論」が欠かせません。そのためにも、より多くのご回答を頂くことが極めて重要な指標となることをご理解頂ければ幸いです。

本調査の重要性に鑑み、特段のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

本件問合わせ先：
公益社団法人全国老人保健施設協会事務局
業務部業務第一課
TEL.03-3432-4165 FAX.03-3432-4172

公益社団法人全国老人保健施設協会 平成 29 年度老人保健事業推進費等補助金事業
「介護老人保健施設における在宅復帰・在宅療養支援機能の強化」に向けた調査

調査実施要綱

当会では平成 29 年度老人保健事業推進費等補助金(老人保健健康増進等事業分)の交付を受け、介護老人保健施設(以下、老健施設)が地域の社会資源としてその役割・機能を十二分に発揮する方策を検討する目的で調査研究事業班を設置し、標記の緊急調査を実施することと致しました。

会員施設の皆様には大変なご負担をお掛けすることとなり、誠に申し訳ございませんが、本調査研究事業の趣旨をご賢察のうえ、調査へのご協力を賜りますよう、何卒、宜しくお願い申し上げます。

1. 事業の目的と主な調査内容

本調査は、現在、老健施設全体の約半数に留まっている在宅強化型・加算型の機能を改めて分析し、会員施設が在宅復帰・在宅療養支援の役割を如何なく発揮できることを主眼とし、老健施設における入所者の在宅復帰の阻害要因等を分析し、利用者の個別特性に基づく評価方法を提案すること等を目的として実施致します。

2. 調査対象施設

全老健に加盟されている全会員施設にお送りしています。

3. お送りした調査票類と回答期限

- | | |
|--------------------|-----|
| (1) 実施要綱および調査票(本紙) | 1 部 |
| (2) 返信用封筒 | 1 部 |

【調査票の回答期限と返送方法】

平成 29 年 8 月 21 日(月)迄に、同封の返信用封筒にてご返送下さい。

返送先：公益社団法人全国老人保健施設協会
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 6F

※ 調査票類に不足等がある場合はコピーしていただくか、全老健ホームページの「会員専用ページ」(<http://www.roken.or.jp/member/>)からダウンロードをお願いします。

4. 調査について

本調査により得られたデータは、当協会および厚生労働省で基礎データとして活用させていただく可能性があります。その場合であっても、個別の回答が特定できるような情報は一切公表いたしません。

<貴施設の状況についてご回答いただきたい項目 (A4版の調査用紙)>

- ・ A4版の調査票(両面に調査項目があります)は、貴施設の状況についてご記入をお願いします。
- ・ 選択肢のある設問は、該当する数字/アルファベットに○をつけてください。

<退所者の個別状況についてご回答いただきたい項目 (A3版の調査用紙)>

- ・ 最終ページに綴じられているA3版の調査票(裏表に記入欄があります)は、平成29年6月中に貴施設を退所された入所利用者全員(短期入所は除く)についてご記入をお願いします。
- ・ 表裏に各 10 名ずつご記入いただけますが、記入欄が足りない場合は、お手数でも調査票をコピーしてご記入をお願いします。なお、記入対象となる利用者への同意書取り付けは必要ありません。

5. その他

- 本調査により得られた調査結果は、当協会が他の調査を実施する上での基礎データとして活用させて頂くことも想定しております。あくまでも基礎データとしての活用の為、分析・解析の際に使用するだけであり、個人や個別の施設が特定できるような情報は一切公表されることはありません。
- 調査票等は、全老健ホームページ <http://www.roken.or.jp/member/> からダウンロード可能です。(ユーザー名/パスワードは不要です。)
- 本調査にご協力いただけない場合であっても、いかなる不利益も発生致しません。

(注) 提出期限厳守のお願い

上記の各書類の提出につきましては、可能な限り期限を厳守して頂きますよう、ご協力をお願い申し上げます。

ただし、締切を過ぎてお送りいただいた調査票についても、今後の基礎データとして可能な限り活用させて頂きたく存じますので、締切に間に合わなかった場合でも調査にご協力下さいますよう、何卒、宜しくお願い申し上げます。

6. 本調査に関するお問合せ先

公益社団法人全国老人保健施設協会

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 6F

TEL. 03-3432-4165 FAX. 03-3432-4172

メールアドレス: research@roken.or.jp

担当: 業務部 業務第一課 高野(タカノ)、宝田(タカラダ)

平成 29 年度老人保健健康増進等事業

「介護老人保健施設における在宅復帰・在宅療養支援機能の強化」に向けた調査
【施設票】

◎この調査は公益社団法人全国老人保健施設協会が実施する調査です。

◎ご回答の数字が「0」の場合は、空欄のままとせず、「0」とご記入ください。

◎選択肢のある設問は、該当する数字/アルファベットに○をつけてください。

都道府県		施設名	
施設 TEL		調査票記入者	

I. 貴施設の基本情報

問1 平成 29 年 6 月 30 日現在の貴施設の基本情報についてご記入ください。

1) 開設年	西暦 () 年
2) 開設主体	1 医療法人 2 市区町村、広域連合、一部事務組合 3 社会福祉法人 4 その他 ()
3) 介護報酬上の届出	1 在宅強化型 2 療養型・療養強化型 3 1～2以外(従来型)
4) 在宅復帰・在宅療養支援機能加算の届出の有無	1 有 2 無
5) 入所定員	() 人
6) 貴施設で実施しているサービス(複数回答可) および定員・利用者数※1(6月中) ・実施しているサービスの番号に○を付けてください。 ・実施しているサービスが2～3の場合は、利用者人数等 についてもご記入下さい。	1 短期入所療養介護 2 通所リハビリテーション ⇒ 定員 () 人 利用者実人数 () 人/月 延べ利用者数 () 人/月 3 訪問リハビリテーション ⇒ 利用者実人数 () 人/月 延べ利用者数 () 人/月 4 1～3はいずれもなし
7) 貴施設に通所リハビリテーションがある場合、平成 29 年 6 月の「リハビリテーションマネジメント加算(Ⅱ)」の算定人数	利用者実人数のうち () 人 (リハマネⅡを算定した利用者の頭数をご記入下さい)
8) 貴施設の病院または診療所の併設状況	1 病院併設 2 診療所併設 3 無(⇒問2へ進んでください)
9) 併設の医療機関で実施しているサービス(複数回答可) ・選択肢1～3を選択する場合は、a.介護保険 b.医療保険のいずれに該当するかもご回答ください。	1 医療機関でのリハビリテーション (a.介護保険 b.医療保険) 2 訪問リハビリテーション(a.介護保険 b.医療保険) 3 訪問看護(a.介護保険 b.医療保険) 4 1～3はいずれもなし

※1：利用者実人数は利用者の頭数を、延べ利用者数は利用者の積算数を指します。

例) 10 名の方が、1 か月間に 12 日ずつ利用した場合、利用者実人数 10 人、延べ利用者数 120 人となります。

裏面に続く

問4 貴施設の在宅復帰率・ベッド回転率・重度者を算出するために必要な過去1年間の実績（ショートステイを除く）についてお伺いします。

	単位	平成28年(2016年)					
		7月	8月	9月	10月	11月	12月
①新規入所者数	人						
② ①のうち再入所者(病院等からの再入所 ^{※1})	人						
③ ①のうち再入所者(自宅等からの再入所 ^{※1})	人						
④退所者数(死亡退所者を含む)	人						
⑤ ④のうち死亡退所	人						
⑥ ④のうち自宅等へ退所した人数 ^{※2}	人						
⑦ ⑥のうち入所期間が1か月超で、在宅生活の継続見込を確認できている者 ^{※3}	人						
⑧入所延べ日数 ^{※4}	日						
⑨ ⑧のうち要介護4・5の入所者の入所延べ日数 ^{※4}	日						
⑩ ⑧のうち喀痰吸引実施者の入所延べ日数 ^{※4}	日						
⑪ ⑧のうち経管栄養実施者の入所延べ日数 ^{※4}	日						
	単位	平成29年(2017年)					
		1月	2月	3月	4月	5月	6月
①新規入所者数	人						
② ①のうち再入所者(病院等からの再入所 ^{※1})	人						
③ ①のうち再入所者(自宅等からの再入所 ^{※1})	人						
④退所者数	人						
⑤ ④のうち死亡退所	人						
⑥ ④のうち在宅へ退所した人数 ^{※2}	人						
⑦ ⑥のうち入所期間が1か月超で、在宅生活の継続見込を確認できている者 ^{※3}	人						
⑧入所延べ日数 ^{※4}	日						
⑨ ⑧のうち要介護4・5の入所者の入所延べ日数 ^{※4}	日						
⑩ ⑧のうち喀痰吸引実施者の入所延べ日数 ^{※4}	日						
⑪ ⑧のうち経管栄養実施者の入所延べ日数 ^{※4}	日						

※1:「再入所」とは、過去に貴施設に入所したことのある者(ショートステイの利用を除く)が、再度貴施設に入所する場合を指します。「病院等からの再入所」は「貴施設⇒病院・診療所⇒貴施設」という経緯で入所した者を、「病院以外からの再入所」は「貴施設⇒自宅等⇒貴施設」という経緯で入所した者を指します。

※2:「自宅等」とは自宅、その他自宅に類する住まいである有料老人ホーム、認知症高齢者グループホーム及びサービス付高齢者向け住宅等を指します。

※3:「在宅」における生活が、要介護1～3の者は1月以上、要介護4・5の者は14日以上継続する見込みであることが確認された者に限ります。

※4:「入所延べ日数」とは、入所者の入所日数を足し上げたものです。例えば、100名の入所者が全員30日間入所した場合、30日+30日+…+30日=延べ3,000日と計算されます。

裏面に続く

Ⅱ. 過去1年間の新規入所者について

問5 平成28年7月～平成29年6月の1年間に入所した方（ショートステイを除く）について入所前の居所別にご回答ください。

（調査対象期間に入退所を繰り返した場合には、各入所の毎に新規入所者として計上してください。）

入所前の居所		新規 入所者数	入所時点の状態像	
			要介護度が 4・5の者	認知症高齢者の 日常生活自立度 のランクⅢb、Ⅳ、 Mに該当する者
医療 機関	①病院	人	⇒	人
	i)急性期病床※ ¹	人		
	ii)地域包括ケア病棟（病床）	人		
	iii)回復期リハビリテーション病棟	人		
	iv)療養病床（介護療養病床を含む）	人		
	v)精神病床	人		
	vi)その他の病床	人		
	②有床診療所	人	⇒	人
他の 介護 施設	③他の老人保健施設	人	⇒	人
	④特別養護老人ホーム	人	⇒	人
自宅 等	⑤自宅	人	⇒	人
	⑥認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	人	⇒	人
	⑦サービス付き高齢者向け住宅	人	⇒	人
	⑧有料老人ホーム	人	⇒	人
	⑨養護老人ホーム・軽費老人ホーム	人	⇒	人
	⑩その他	人	⇒	人

※1：ここでの急性期病床とは、一般病床のうち、地域包括ケア病棟（病床）・回復期リハビリテーション病棟・障害者病棟を除くものとします。

Ⅲ. 過去1年間の退所者について

問6 平成28年7月～平成29年6月の1年間に退所した方（ショートステイを除く）について、退所先の居所別にご回答ください。（調査対象期間に入退所を繰り返した場合には、各退所の毎に計上してください。）

1) 退所者の退所先別人数			
①病院	人	③他の老人保健施設	人
i)急性期病床※1	人	④特別養護老人ホーム	人
ii)地域包括ケア病棟（病床）	人	⑤自宅	人
iii)回復期リハビリテーション病棟	人	⑥認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	人
iv)療養病床（介護療養病床を含む）	人	⑦サービス付き高齢者向け住宅	人
v)精神病床	人	⑧有料老人ホーム	人
vi)その他の病床	人	⑨養護老人ホーム・軽費老人ホーム	人
②有床診療所	人	⑩死亡	人
		⑪その他	人

※1：ここでの急性期病床とは、一般病床のうち、地域包括ケア病棟（病床）・回復期リハビリテーション病棟・障害者病棟を除くものとします。

2) 退所者（死亡退所を含む、ショートステイを除く）の入所期間別人数		
①1～13日（2週間未満）	②14日～1月以内（2週間以上1月以内）	③1月を超えて入所していた者
人	人	人

3) 【2）で①②に回答がある場合】 入所期間が1月以内で退所に至った者（ショートステイを除く）の入所当初の主たる利用目的 （最もあてはまる1つ）	①在宅復帰を目指したりハビリを行うため	人
	②在宅復帰に向けて居宅サービス等を調整するため	人
	③レスパイトを行うため	人
	④特養等への入所調整のため	人
	⑤認知症に対応したりハビリ・ケアを行うため	人
	⑥看取りを行うため	人
	⑦その他	人
	(⑦その他の内容)	

裏面に続く

問7 平成28年7月～平成29年6月の1年間に医療機関へ退所した方についてお伺いします。

1) 医療機関へ退所した方のうち、主たる傷病名が肺炎であった者	肺炎による退所者数 () 人 ⇒うち、誤嚥性肺炎による退所者数 () 人	
2) 入所期間中に限らず、過去に誤嚥性肺炎を発症した回数 (過去に誤嚥性肺炎の既往がある方は、わかる範囲で振り返ってご回答ください。)	誤嚥性肺炎は初発	人
	誤嚥性肺炎は2回目以上	人
	回数は不明	人
3) 医療機関へ退所した方のうち、主たる傷病名が骨折であった者	骨折による退所者数 () 人	
4) 骨折の部位別の人数 (上下肢骨折等、複数部位にまたがる場合はそれぞれの項目に計上してください。)	上肢	人
	下肢	人
	その他	人
5) 医療機関へ退所した方のうち、医療機関への入院期間が1週間以内の短期入院で貴施設に再入所した者	医療機関への入院により退所し、 1週間以内の短期入院により再入所となった人数 () 人	
6) 5)の利用者について、1週間以内の短期入院となった主な理由(左記①～⑥のいずれか1つに振り分けてください) (複数の理由が該当する場合は、最大の理由1つを選択してください。)	①医療機関で行う必要のある専門的な検査入院	人
	②糖尿病等の教育入院	人
	③悪性腫瘍に対する化学療法・ホルモン療法等	人
	④胃ろうの造設、交換等	人
	⑤認知症の専門治療	人
	⑥その他	人
	(その他の内容)	

問8 平成28年7月～平成29年6月の1年間に自宅等^{※1}へ退所した方についてお伺いします。

自宅等へ退所した方の入所前の居所をご回答ください。			
①医療機関	人	③自宅等 ^{※1}	人
②介護保険施設	人	④その他	人

※1:「自宅等」とは自宅、その他自宅に類する住まいである有料老人ホーム、認知症高齢者グループホーム及びサービス付高齢者向け住宅等を指します。

IV. 現在の入所者について

問9 平成29年6月30日24時時点の貴施設の利用者数（ショートステイを除く）とその内訳についてご記入ください。

1) 利用者数（実人数）									人
2) 入所者の要介護度別人数									
要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中				
人	人	人	人	人	人				
3) 入所者の認知症高齢者の日常生活自立度別人数									
自立	I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV	M	不明	
人	人	人	人	人	人	人	人	人	
4) 6月30日時点の入所者の入所時の主病名 ^{*1} 別人数									
※1：利用者1名につき主病名1つとし、以下1.~18.のいずれかに振り分けてください									
1. 高血圧	人			10. 骨折	人				
2. 脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	人			11. 骨折以外の筋骨格系の病気	人				
3. 心不全	人			12. 外傷	人				
4. 糖尿病	人			13. 悪性新生物	人				
5. 誤嚥性肺炎	人			14. うつ病・精神疾患	人				
6. 肺炎（誤嚥性肺炎以外）	人			15. 認知症	人				
7. 呼吸器の病気（肺炎以外）	人			16. パーキンソン病	人				
8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気	人			17. その他	人				
9. 腎臓・前立腺の病気	人			18. 不明	人				
5) 6月30日時点で医療処置を実施している者 ^{*2} の人数									
※2：医療区分2・3からの抜粋項目についてお伺いしております。複数の状態にあてはまる場合は、当てはまる状態すべてにカウントしてください。									
1. 胃ろう、腸ろうによる栄養管理	人			14. インスリン注射	人				
2. 経鼻経管栄養	人			15. 創傷処置	人				
3. 中心静脈栄養の管理	人			16. 褥瘡の処置	人				
4. カテーテル（尿道留置カテーテル・コッド・カテーテル）	人			17. 透析（在宅自己腹膜灌流含む）	人				
5. ストマ（人工肛門・人工膀胱）の管理	人			18. 導尿	人				
6. 喀痰吸引	人			19. 疼痛管理（麻薬は使用しない）	人				
7. ネブライザー	人			20. 疼痛管理（麻薬使用）	人				
8. 酸素療法（酸素吸入）	人			21. 浣腸	人				
9. 気管切開のケア	人			22. 摘便	人				
10. 人工呼吸器の管理	人			23. 持続モニター測定（血圧、心拍、酸素飽和度等）	人				
11. 注射	人			24. その他	人				
12. 点滴	人			25. 実施していない	人				
13. 簡易血糖測定	人								

裏面に続く

問 10 平成 29 年 6 月 30 日 24 時時点の貴施設の入所者（ショートステイを除く）のうち、1 年以上の長期入所者の方についてお伺いします。

1) 入所から 1 年以上が経過している者の人数	平成 29 年 6 月 30 日 24 時時点の入所者（ショートを除く）のうち入所から 1 年以上が経過している入所者数（ _____ ）人
--------------------------	--



2) 在宅の介護力別の人数			
①同居家族による介護力は期待できる	人	③同居家族はいない（独居）が、親族などの介護力が期待できる（近居など）	人
②同居家族はいるが介護力は期待できない	人	④同居家族はおらず（独居）、介護力が期待できない（介護力不明も含む）	人

3) 退所が困難である理由		
①認知症が重度である	人	②療養困難な医療処置の具体的内容
②自宅等では療養困難な医療処置を必要とする（右欄に具体的内容もご記入下さい）	人	
③自宅等では療養困難な精神疾患を有する	人	
④特養の入所待ちをしている	人	
⑤在宅生活を支える介護サービスが乏しい	人	⑦その他の具体的内容
⑥家族の希望	人	
⑦その他（右欄に具体的にご記入下さい）	人	

4) 在宅復帰の見込みが立たない事例や在宅復帰を阻害する要因の具体例を、可能な範囲で教えてください。（自由記述）

5) 【在宅強化型・加算型でない施設】
 介護報酬上の在宅強化型を届出たり、在宅復帰・在宅療養支援機能加算の算定をすることが困難な場合、その具体的な理由を教えてください。（自由記述）

V. 貴施設における取組等

問 11 利用者の入所前後の関係者との連携についてお伺いします。

1) 利用者の入所前後に入所前の居所との連携を普段から行っていますか。 (複数回答可)	【医療機関からの入所の場合】	
	1 医療機関の <u>医師</u> と施設の管理医師の間で情報共有・引継を行っている 2 医療機関の <u>看護職員</u> と施設の看護職員の間で情報共有・引継を行っている 3 医療機関の <u>リハ専門職</u> (PT・OT・ST)と施設のリハ専門職の間で情報共有・引継を行っている 4 医療機関の <u>医療ソーシャルワーカー</u> などと施設の支援相談員・介護支援専門員などの間で情報共有・引継を行っている	
	【在宅からの入所の場合】	
	5 <u>かかりつけ医</u> と施設の管理医師の間で情報共有・引継を行っている 6 <u>居宅ケアマネジャー</u> と施設の支援相談員・介護支援専門員などの間で情報共有・引継を行っている	
	【その他】	
	7 その他(具体的に:) 8 1～7はいずれもなし	
2) 入所前後訪問指導加算を算定していますか。 (平成29年6月の加算の算定状況) ・「算定人数」は、加算算定した入所者の頭数をご記入下さい	①入所前後訪問指導加算(I)	1 有 ⇒算定人数()人 2 無
	②入所前後訪問指導加算(II)	1 有 ⇒算定人数()人 2 無

問 12 利用者の退所前後の関係者との連携についてお伺いします。

1) 退所時指導等加算を算定していますか。 (平成29年6月の加算の算定状況) ・「算定人数」は、加算算定した入所者の頭数をご記入下さい	①退所前訪問指導加算※1	1 有 ⇒算定人数()人 2 無
	②退所後訪問指導加算	1 有 ⇒算定人数()人 2 無
	③退所時指導加算	1 有 ⇒算定人数()人 2 無
	④退所時情報提供加算	1 有 ⇒算定人数()人 2 無
	⑤退所前連携加算	1 有 ⇒算定人数()人 2 無
	⑥老人訪問看護指示加算	1 有 ⇒算定人数()人 2 無

※1:療養型老健において、同一の利用者に2回算定した場合も、1人として計上してください。

2) 退所時指導等加算の算定要件に該当しない場合や、算定要件を超えての訪問・指導を普段から行っていますか。 (複数回答可)	【入所期間が1月に満たない入所者に対する取組】	
	1 退所前訪問指導加算の要件と同様の訪問・指導を行っている 2 退所後訪問指導加算の要件と同様の訪問・指導を行っている 3 退所時指導加算の要件と同様の指導を行っている 4 退所時情報提供加算の要件と同様の紹介・情報提供を行っている 5 退所前連携加算の要件と同様の連携・調整を行っている	
	【加算の算定要件を超える取組】	
	6 退所後30日以内に2回(療養型老健は3回)以上の居宅等への訪問・指導を行っている 7 退所後31日以降に居宅等への訪問・指導を行っている 8 退所時指導等加算の訪問時に、複数名(2職種以上)で訪問・指導を行っている	
	【その他】	
	9 その他(具体的に:) 10 1～9はいずれもなし	

裏面に続く

問 13 認知症のある方の受け入れについてお伺いします。

1) 貴施設には認知症専門棟はありますか？	1 有 ⇒ () 床	2 無	
2) 認知症ケアに関する左記の加算を算定していますか。 (平成29年6月の加算の算定状況)	① 認知症専門ケア加算 (I 又は II)	1 有 ⇒ 算定日数 () 日	2 無
	② 認知症行動・心理症状緊急対応加算	1 有 ⇒ 算定延べ日数 () 日	2 無 (2 人に対し各3日ずつ算定した場合は、延べ6日となります。)
3) このままでは在宅生活が困難と判断されるような、認知症の周辺症状が著しい利用者は、現在何名いますか。	① 暴行	1 いる ⇒ () 人	2 いない
	② 徘徊	1 いる ⇒ () 人	2 いない
	③ 不潔行為	1 いる ⇒ () 人	2 いない
	④ 妄想	1 いる ⇒ () 人	2 いない
	⑤ 睡眠障害 (昼夜逆転)	1 いる ⇒ () 人	2 いない
	⑥ その他	1 いる ⇒ () 人	2 いない

問 14 人生の最終段階における医療・介護への取り組みについてご記入ください。

1) 貴施設では看取りに対応していますか。	1 対応している ⇒ 2) 3) 4) をご回答ください 2 対応していない ⇒ 問 15 にお進みください	
2) 平成 28 年 7 月～平成 29 年 6 月の 1 年間の死亡退所者数と、そのうちの看取り (予期された死亡) 対応した人数	死亡退所者数 () 人 ⇒ うち、看取り (予期された死亡) 対応した人数 () 人	
3) 平成 28 年 7 月～平成 29 年 6 月の 1 年間のターミナルケア加算を算定した人数をご回答ください。	ターミナルケア加算算定人数 () 人 (1 人の方について 10 日間算定した場合でも、1 人とご回答ください。)	
4) 平成 28 年 7 月～平成 29 年 6 月の 1 年間の「人生の最終段階における医療・介護」に取り組まれた実績についてお伺いします。	① 利用者の意思を最大限反映するために利用者・家族と事前の話し合い (アドバンス・ケア・プランニング (ACP ^{※1})) を行った。	実施人数 人
	② 死が近づき気持ちが揺れる利用者・家族への決め細やかな対応をとった。	人

※1: ACP とは、アドバンス・ケア・プランニング (Advance Care Planning、前もって医療やケアについて計画すること) の略称であり、人生の最終段階の医療と介護について、(話し合いの時期は人生の最終段階に限ることなく、) 患者・家族と医療従事者があらかじめ話し合う自発的なプロセスのことです。

裏面に続く

問 15 貴施設では平成 28 年度（平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月の間）に、以下に挙げるような、地域への貢献活動（地域リハビリテーション活動支援事業等）を実施されましたか。

1) 地域リハビリテーション活動支援事業の一環としての自治体への関与（リハビリ専門職の地域支援事業への派遣など）	1 有	2 無
2) 地域ケア会議等への職員の関与（委員として参加したなど）	1 有 ⇒延べ人数（ ）人	2 無
3) 地域の介護事業所等への職員の訪問・派遣（自法人以外の事業所への助言等のため）	1 有 ⇒訪問回数（ ）回	2 無
4) 地域住民が運営している通いの場（体操クラブなど）への職員の訪問・派遣（指導者として参画したなど）	1 有 ⇒訪問回数（ ）回	2 無
5) 地域住民に対する健康教室（介護予防・健康づくり）の開催	1 有 ⇒実施日数（ ）日	2 無
6) 認知症カフェなどの地域住民が集うカフェの運営・設置	1 有 ⇒実施日数（ ）日	2 無
7) 在宅の家族介護者への介護教育などの支援	1 有	2 無
8) 民生委員・ボランティアとの連携・協働	1 有	2 無

問 16 平成 28 年度の経営の状況についてご記入ください。

- ・平成 28 年度決算のとりまとめが間に合わなければ、平成 27 年度決算についてご記入ください。
- ・老健施設で実施しているショートや通所リハ・訪問リハ等の損益は含めて構いませんが、医療機関などの損益は含めないようにしてください。

1) 施設運営事業収益	施設運営事業収益計（介護報酬収益）	千円
	※介護職員処遇改善加算による収入を含む事業収益	
	うち入所事業収益（利用者負担分を含む）	千円
	うち通所リハビリテーション事業収益（利用者負担分を含む）	千円
	うち短期入所療養介護事業収益（利用者負担分を含む）	千円
2) 施設運営事業費用	施設運営事業等費用計	千円
	うち減価償却費	千円
3) 税引き前利益（損失）		千円
4) 回答した会計年度	平成（ ）年（ ）月～平成（ ）年（ ）月の（ ）か月分	

施設調査票の調査項目は以上です。引き続き、退所者の個別状況に関する調査票へのご記入をお願いいたします。調査へのご協力を御礼申し上げます。

この調査票は 2017年6月に退所された方全員についてご回答ください(6月中に複数回入退所した場合は、それぞれの退所ごとに1人とカウントしてください。□ショートステイを退所した方は含みません)。

● 問8・9・12・13・15・16は複数回答可、それ以外の設問は最もあてはまる選択肢を1つ選んでください。

● 問1~問10は対象者全員についてご記入ください。 問11~問14は退所先が施設・自宅等の場合、問15~問16は退所先が医療機関の方についてご記入ください。

No.	【全員】										【退所先が施設・自宅等】				【退所先が医療機関】			
	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10	問11	問12	問13	問14	問15	問15-2	問16	
	入所期間	入所前の居所	利用を 除く)	【問2で選択肢1,2,3,4の 場合】 医療機関からの入所回数	【問2で選択肢1,2,3,4の 場合】 医療機関からの入所回数	要介護度(退所時)	日常生活自立度 (退所時)	認知症患者の 日常生活自立度 (退所時)	退所時の傷病名 (複数回答可)	退所時の医療的ケアの 実施状況 (複数回答可)	退所先	退所時の在宅介護力	退所に向けた加算算定 の有無 (複数回答可)	退所後に利用を予定 したりハビリ (複数回答可)	かかりつけ医との連携	入院退所の理由となっ た主たる傷病名 (複数回答可)	感染症が原因の場合、 具体的な疾患名	施設内で対応できな かった理由 (複数回答可)
●日	1. 病院 (急性期病床※) 2. 病院 (地域包括ケア 病棟・病床) 3. 病院 (回復期リハビリ テーション病棟) 4. 病院 (療養病床(介護療 養病床を含む)) 5. 病院 (精神病床) 6. 病院 (その他の病床) 7. 有床診療所 8. 他の老健施設 9. 特別養護老人ホーム 10. 自宅 11. 認知症対応型共 同生活介護(グループ ホーム) 12. サービス付き 高齢者向け住宅 13. 有料老人ホーム 14. 養護老人ホーム・ 軽養老人ホーム 15. その他	1. 再入所ではない (過去に入所の 経験はない) 2. 1~13日以内 の再入所 3. 14日~1か月 以内の再入所 4. 1か月~3か月 以内の再入所 5. 3か月を越え る期間があ いた再入所	1. この方は、 医療機関か らの入所は 1回目 2. この方は、 医療機関か らの入所は 2回目以上	1. 在宅復帰を目 指したりハビ リを行うため 2. 在宅復帰に向 けて居宅サー ビス等を調整 するため 3. レスバイトを 行うため 4. 特養等への入 所調整のため 5. 認知症に対応 したりハビリ・ケ アを行うため 6. 看取りを行う ため 7. その他	1. 要介護1 2. 要介護2 3. 要介護3 4. 要介護4 5. 要介護5 6. 申請中	1. 自立 2. I 3. IIa 4. IIb 5. IIIa 6. IIIb 7. IV 8. M 9. 不明	1. 高血圧 2. 脳卒中(脳出血・ 脳梗塞等) 3. 心不全 4. 糖尿病 5. 誤嚥性肺炎 6. 肺炎(誤嚥性肺 炎以外) 7. 呼吸器の病 気(肺炎以外) 8. 腎臓・肝臓・胆 のうの病気 9. 腎臓・前立腺の 病気 10. 骨折 11. 骨折以外の筋 骨格系の病気 12. 外傷 13. 悪性新生物 14. うつ病・精神疾患 15. 認知症 16. パーキンソン病 17. その他 18. 不明	1. 胃ろう、腸ろうによ る栄養管理 2. 経鼻経管栄養 3. 中心静脈栄養の管理 4. カテーテル(尿導留置カ テーテル・ドームカテー テル)の管理 5. ストマ(人工肛門・人 工膀胱)の管理 6. 喀痰吸引 7. ネブライザー 8. 酸素療法(酸素吸入) 9. 気管切開のケア 10. 人工呼吸器の管理 11. 注射 12. 点滴 13. 脈波血圧測定 14. インスリン注射 15. 創傷処置 16. 褥瘡の処置 17. 遊析(在宅自己腹 膜透析含む) 18. 導尿 19. 疼痛管理(麻薬は 使用しない) 20. 疼痛管理(麻薬使用) 21. 洗眼 22. 換気 23. 持続モニター測定 (血圧、心拍、酸 素飽和度等) 24. その他 25. 実施していない	1. 病院 (急性期病床※) 2. 病院 (地域包括ケア 病棟・病床) 3. 病院 (回復期リハビリ テーション病棟) 4. 病院 (療養病床(介護療 養病床を含む)) 5. 病院 (精神病床) 6. 病院 (その他の病床) 7. 有床診療所 8. 他の老健施設 9. 特別養護老人ホーム 10. 自宅 11. 認知症対応型共 同生活介護(グループ ホーム) 12. サービス付き高 齢者向け住宅 13. 有料老人ホーム 14. 養護老人ホーム・ 軽養老人ホーム 15. その他	1. 同居家族による介護 力が期待できる 2. 同居家族はいるが介 護力が期待でき ない ⇒21. 高齢のため ⇒22. 病気のため ⇒23. 育児中のため ⇒24. 仕事のため ⇒25. 虐待・ネグレ クトのため ⇒26. その他の理由 3. 同居家族はいない (独居)が、親族など の介護力が期待で きる(近居など) 4. 同居家族はおらず (独居)が、親族など の介護力が期待で きない(介護力 不明を含む)	1. 入所前後訪問指 導加算(Ⅰ) 2. 入所前後訪問指 導加算(Ⅱ) 3. 退所前訪問指導 加算 4. 退所後訪問指導 加算 5. 退所時情報提供 加算 6. 退所前連携加算 7. 退所後連携加算 8. 老人訪問看護指 示加算	1. 訪問リハビリ 2. 通所リハビリ 3. 外未リハビリ 4. 訪問看護に おけるリハビリ	1. 老健の医師が 対面にて情報 提供を行った 2. 書面のみで情報 提供を行った 3. その他の連携 を行った 4. かかりつけ医 が併設クリニ ックである等、 そもそも連携 されている 5. かかりつけ医 との連携は行 っていない	1. 高血圧 2. 脳卒中(脳出血・ 脳梗塞等) 3. 心不全 4. 糖尿病 5. 誤嚥性肺炎 6. 肺炎(誤嚥性肺 炎以外) 7. 呼吸器の病 気(肺炎以外) 8. 腎臓・肝臓・胆 のうの病気 9. 腎臓・前立腺の 病気 10. 骨折 11. 骨折以外の筋 骨格系の病気 12. 外傷 13. 悪性新生物 14. うつ病・精神疾患 15. 認知症 16. パーキンソン病 17. その他 18. 不明	①, ⑧, ⑭	100%	1, 7	
別	1/23日	1	2	2	4	5	5	②, ⑬	1, 6, 22	1	-	-	-	-	①, ⑧, ⑭	100%	1, 7	
1	日																	
2	日																	
3	日																	
4	日																	
5	日																	
6	日																	
7	日																	
8	日																	
9	日																	
10	日																	

※ここでの急性期病床とは、一般病棟のうち、地域包括ケア病棟(病床)・回復期リハビリテーション病棟・障害者病棟などを除くものとします。

対象者が10名以上の場合、裏面にご記入ください